志布志町埋蔵文化財発掘調査報告書(24)

県営畑地帯総合土地改良事業曽於東部二期地区(家野工区)に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

家 野 遺 跡

1994年3月

鹿児島県曽於郡志布志町教育委員会

序　文

本町は埋蔵文化財包蔵地が多く、「縄文銀座」と称されるとおり、縄文時代の遺跡を中心に前川、安楽川沿いに200か所以上の「周知の遺跡」があります。

これらの遺跡は、農業基盤整備事業或いは宅地開発等の開発行為により、発掘調査等が実施され、貴重な資料を提供するとともに、遺跡の性格等が解明されつつあります。

本書は、平成４・５年度に実施しました、県営畑地帯総合土地改良事業曽於東部二期地区（家野工区）における、家野遺跡の発掘調査報告書であります。

家野遺跡からは、縄文時代早期から晩期にかけての遺物が出土しており、特に縄文時代後期の資料が充実しています。

ここに、その調査結果を報告書として刊行いたしますが、この報告書が広く文化財保護並びに学術研究の一助となれば幸いです。

発刊にあたり、指導者や作業協力者の皆様、また、調査に御協力いただいた作業員の皆様、並びに関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成６年３月

志布志町教育委員会

例　言

1．この報告書は、平成４・５年度に実施した、県営畑地帯総合土地改良事業曽於東部二期地区（家野工区）に伴う、家野遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2．緊急全面発掘調査は、志布志町教育委員会が調査主体となり実施した。
3．調査における測量・写真撮影は、主に米元・小村が行い、調査の実施にあたっては、県教育庁文化課及び県立埋蔵文化財センターの指導・協力を得て実施した。
4．本書に用いたレベル数値は、すべて海抜高である。
5．遺物番号については、通し番号とし、挿図・図版とも一致している。
6．出土遺物は、志布志町教育委員会で一括保管し、公開展示する予定である。
7．本書の執筆および編集は主に小村が行った。
8．遺跡の調査、遺物の整理にあたり、次の方々に御教示、御協力賜った。
坂元裕樹、杉尾木の実、生重美恵子

報告書抄録

ふりがな	いえのいせき
書名	家野遺跡
副書名	県営畑地帯総合土地改良事業曽於東部二期地区(家野工区)に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	志布志町埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第24集
編著者名	小村美義・米元史郎
編集機関	志布志町教育委員会
所在地	〒899－71　鹿児島県曽於郡志布志町志布志2542番地 0994-72-1111
発行年月日	1994年３月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	市町村コード－遺跡番号 北緯°′″	東経°′″	調査期間	調査面積	調査原因
いえのいせき 家野遺跡	かごしま 鹿児島県 そお 曽於郡 しぶし 志布志町 ちょう　いえの 帖字家野	131°08′59″	68－45 31°30′19″	平成４年 ５月20日～ ９月11日	約1050㎡	農業関連整備に伴う緊急全面発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
家野遺跡	散布地	縄文時代早期 前期 中期 後期 晩期	集石遺構８基	前平式、押型文土器、阿高式系土器、指宿式、市来式、丸尾式、磨消縄文土器、中岳式、黒川式	

本　文　目　次

序文

例言

報告書抄録

目次

第Ⅰ章　発掘調査の経過

第１節　調査に至るまでの経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２節　調査の組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第３節　調査の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第Ⅱ章　発掘調査の概要

第１節　基本土層 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第２節　遺構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第３節　出土土器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第Ⅲ章　まとめにかえて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

図版 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

挿　図　目　次

第１図　遺跡位置図 ・・・・・・・・・・・・3

第２図　調査区域及びトレンチ配置図 ・・・4

第３図　土層柱状図 ・・・・・・・・・・・・5

第４図　南北トレンチ土層断面図 ・・・・・6

第５図　東西トレンチ及びＣ地点土層断面図　7

第６図　集石遺構実測図（1） ・・・・・・8

第７図　集石遺構実測図（2） ・・・・・・9

第８図　１類土器 ・・・・・・・・・・・・11

第９図　２～９類土器 ・・・・・・・・・・12

第10図　10～14類土器 ・・・・・・・・・・13

第11図　15類土器（1） ・・・・・・・・・・14

第12図　15類土器（2） ・・・・・・・・・・15

第13図　15類土器（3） ・・・・・・・・・・16

第14図　15類土器（4） ・・・・・・・・・・17

第15図　15類土器（5） ・・・・・・・・・・18

第16図　16類土器（1） ・・・・・・・・・・19

第17図　16類土器（2） ・・・・・・・・・・20

第18図　16・17類土器 ・・・・・・・・・・21

第19図　17類土器 ・・・・・・・・・・・・22

第20図　18類土器（1） ・・・・・・・・・・23

第21図　18類土器（2） ・・・・・・・・・・24

第22図　18類土器（3） ・・・・・・・・・・25

第23図　19類土器（1） ・・・・・・・・・・26

第24図　19類土器（2） ・・・・・・・・・・27

第25図　19～22類土器 ・・・・・・・・・・28

第26図　22・23類土器 ・・・・・・・・・・29

第27図　24類土器（1）　・・・・・・・・・・30
第28図　24類土器（2）　・・・・・・・・・・31
第29図　25類土器（1）　・・・・・・・・・・33
第30図　25類土器（2）　・・・・・・・・・・34
第31図　25類土器（3）　・・・・・・・・・・35
第32図　25・26類土器　・・・・・・・・・・36
第33図　27類土器（1）　・・・・・・・・・・37
第34図　27類土器（2）　・・・・・・・・・・38
第35図　27類土器（3）　・・・・・・・・・・39
第36図　28・29類土器　・・・・・・・・・・40
第37図　29・30類土器・円盤状土製品　・・41

表　目　次

第１表　円盤状土製品観察表　・・・・・・・・39
第２表　土器観察表（1）　・・・・・・・・・41
第３表　土器観察表（2）　・・・・・・・・・43
第４表　土器観察表（3）　・・・・・・・・・44
第５表　土器観察表（4）　・・・・・・・・・45
第６表　土器観察表（5）　・・・・・・・・・46
第７表　土器観察表（6）　・・・・・・・・・47
第８表　土器観察表（7）　・・・・・・・・・48

図　版　目　次

図版１　①遺跡遠景（北より）　・・・・・・49
②遺跡遠景（北より）
③土層断面図（12トレンチ北壁）
④土層断面図（16トレンチ西壁）
⑤Ａ地区調査風景（北東より）
⑥Ａ地区遺物出土状況（南西より）
⑦Ｂ地区遺物出土状況（北より）
図版２　①Ｃ地区調査風景（東より）　・・・50
②Ｃ地区Ⅲ層遺物出土状況（西より）
③前平式土器出土状況
④阿高式系土器出土状況
⑤１号集石遺構検出状況
⑥６～８号集石遺構検出状況
⑦４号集石遺構検出状況

第Ⅰ章　発掘調査の経過

第１節　調査に至るまでの経過

鹿児島県教育委員会（県文化課)では、県下の市町村教育委員会と連携し、文化財の保存・活用を図るため、各関係機関との間で、事業地区内における文化財の有無及びその取り扱いについて事前に協議し、諸開発との調整を図っている。

この事前協議制に基づき、大隅耕地事務所（以下、耕地事務所）は志布志町帖字田床地内における、県営畑地帯総合土地改良事業曽於東部二期地区（家野工区）計画策定にあたり、実施計画区域内の埋蔵文化財の有無について、志布志町教育委員会（以下、教育委員会）に照会した。

これを受けて教育委員会は、当該事業地区の分布調査を実施した。その結果、当該事業区域内に「家野遺跡」が存在していることが判明した。

このため教育委員会は事業実施前に、遺跡の範囲・性格等の把握を目的とした確認調査（平成４年５月20日から６月20日）を実施した。その結果、縄文時代の遺物等が出土した。

このことを受けた耕地事務所は、設計変更が不可能なことを報告した上で、記録保存を目的とした緊急全面発掘調査を要望した。

これを受けて教育委員会は、平成４年６月22日から９月11日まで緊急全面発掘調査を実施した。緊急全面発掘調査は志布志町教育委員会が主体となり、県教育庁文化課及び県立埋蔵文化財センターの指導・協力を得て実施した。

第２節　調査の組織

１　確認調査・緊急全面発掘調査（平成４年度）

調査主体	志布志町教育委員会		
調査責任者	〃	教育長	徳重俊二
調査調整	〃	社会教育課長	慶田泰輔
調査事務	〃	社会教育課長補佐 兼社会教育係長	井手富男
〃	〃	主査	米元史郎
調査事務	〃	主事補	小村美義
調査担当者	〃	主査	米元史郎
〃	〃	主事補	小村美義

２　整理作業・報告書作成（平成５年度）

調査主体	志布志町教育委員会		
調査責任者	〃	教育長	徳重俊二
調査調整	〃	社会教育課長	慶田泰輔
調査事務	〃	社会教育課長補佐 兼社会教育係長	井手富男
〃	〃	主査	米元史郎
〃	〃	主事補	小村美義
担当者	〃	主事補	小村美義

第３節　調査の経過

１　確認調査（平成４年度）

事業計画区域内の地形等を考慮しながら、合計24か所（一部、拡張トレンチを含む。）のトレンチ（以下、「Ｔ」）を設定し、確認調査を実施した。

その結果、１・７・13・14・20Ｔ以外のトレンチから、縄文時代後・晩期を主体とする遺物・遺構を検出した。確認調査は、平成４年５月20日から同年６月20日まで実施した。

２　緊急全面発掘調査（同年度）

緊急全面発掘調査は、平成４年６月22日から同年９月11日まで行い、事業計画区域内で圃場整備工事により、遺跡の現地保存が不可能な部分について、記録保存を主目的として実施した。

遺跡のほぼ中央の南側にＡ地点、Ａ地点の北東側にＢ地点、さらにＢ地点の東側にＣ地点を設定し、実施した。

３　Ａ地点の調査

Ａ地点は、確認調査の16Ｔ付近の標高86.7mを測る場所で、現況は緩やかな微高地であった。

緊急の全面発掘調査は、まず調査面積・期間の縮小・短縮を主目的とする、８ヶ所の「Ｌ」字型の試掘Ｔの調査から開始した。この試掘Ｔの調査結果を考慮した上で、工事により削平を免れないと思慮される、最低限度の面積について調査を実施した。

全面発掘調査は、北側から南側へ、１・２…、東側から西側へ、Ａ・Ｂ…とし、１－Ａ区、１－Ｂ区、２－Ａ区、２－Ｂ区…と呼称する、10mのグリッドを設定し実施した。

調査の結果、縄文晩期の集石４基、縄文早期の集石３基の遺構とともに、多量の土器等が出土するに至った。

縄文晩期の遺物等は調査区の西側では、遺物包含層が人為的な削平を受けていたことから、東側に集中する傾向がみられた。また、縄文早期の遺物包含層は良好な状態で残存していたが、住居跡等は検出できなかった。

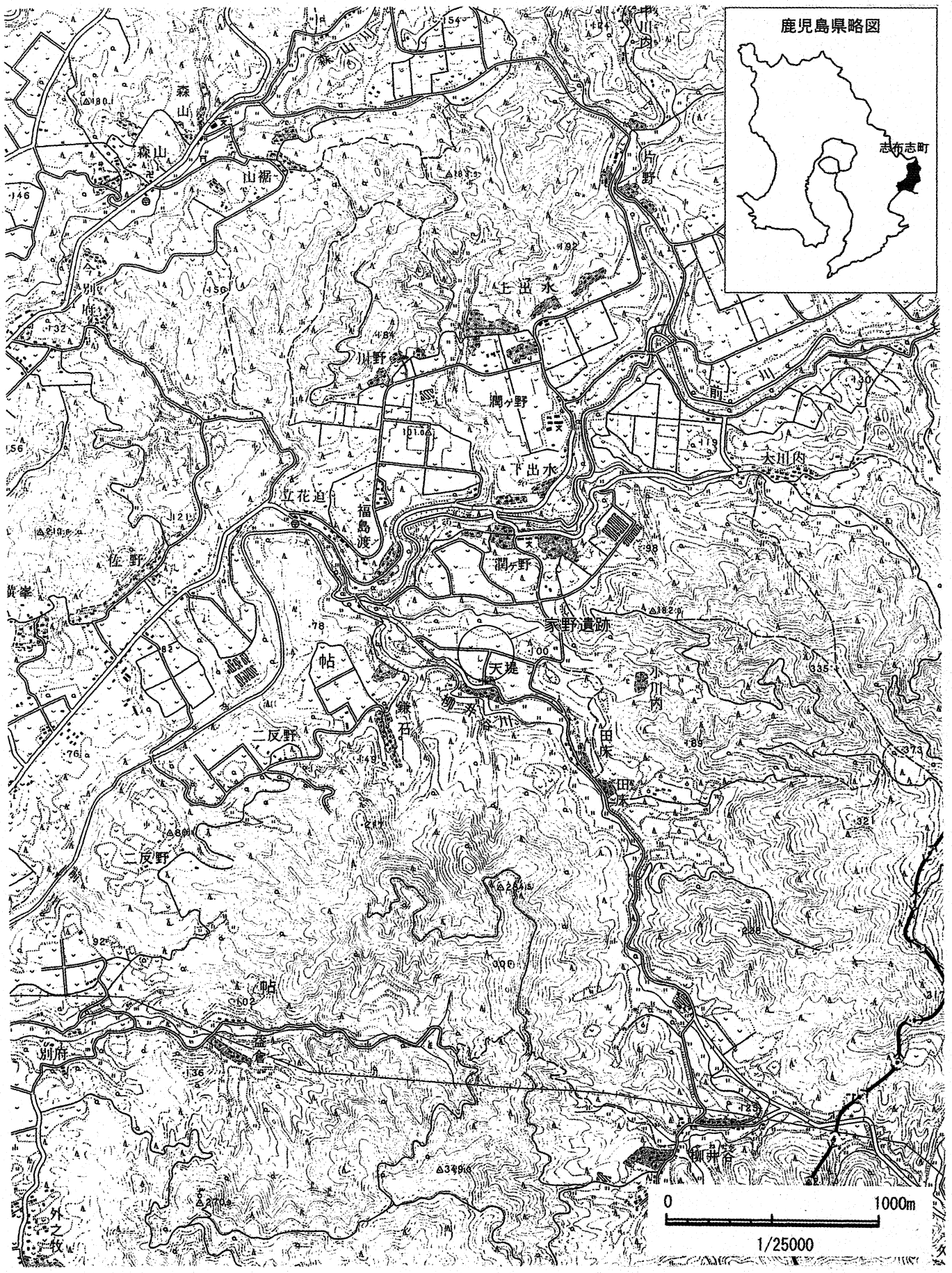
４　Ｂ地点の調査

Ｂ地点は、Ａ地点より標高が低く83.6mを測る場所で、現況は北側から南側への緩傾斜が認められた。縄文後・晩期の遺物包含層が厚く堆積していたことから、Ａ地点の東側から若干の遺物の流れ込みを考慮する必要がある。

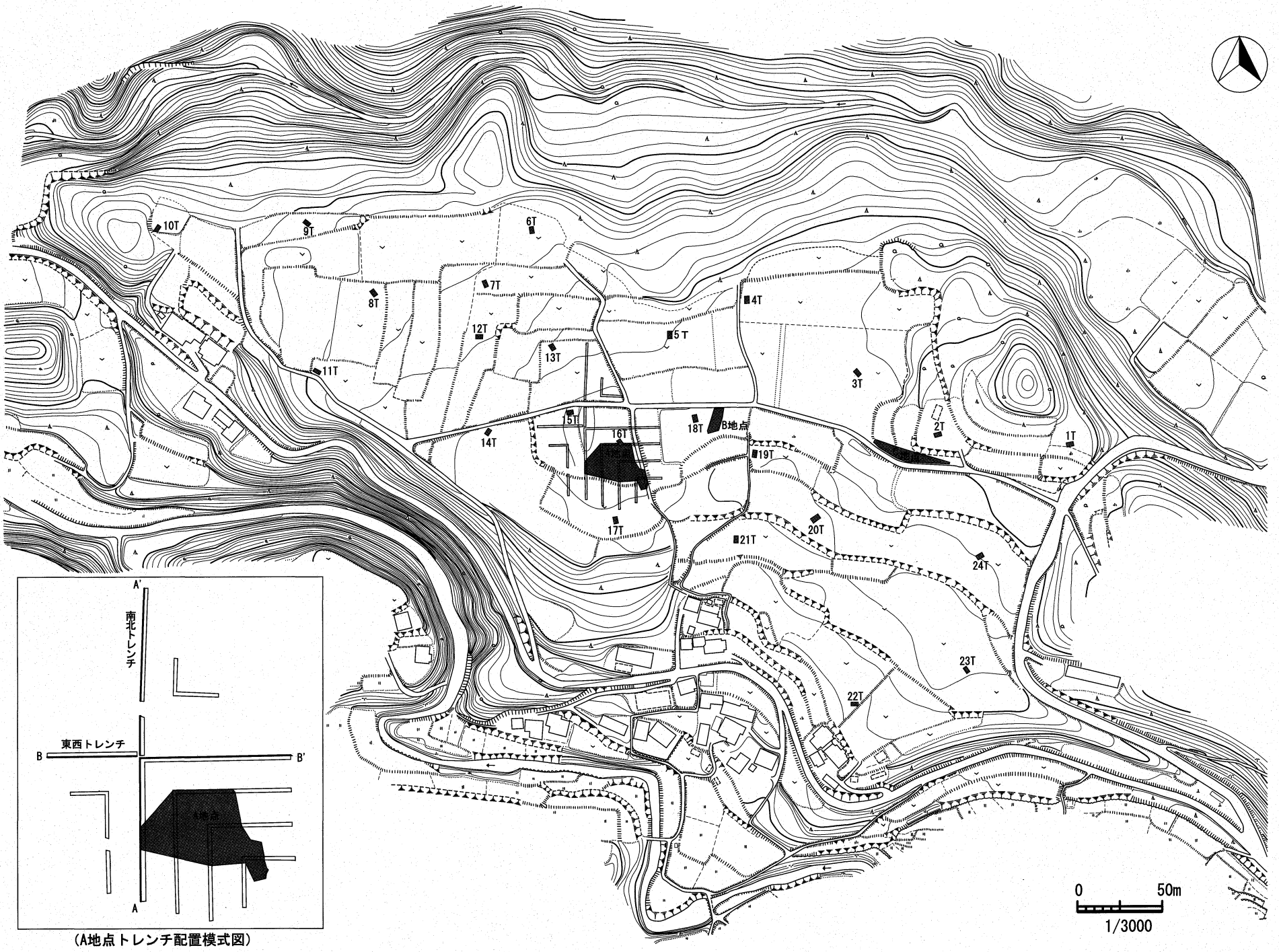
先述のとおり、現況は北側から南側への緩傾斜は認められたが、南側にいくほど遺物出土が希薄となっていった。調査の結果、遺構は検出できなかったが、多量の縄文後期の土器等が出土した。

５　Ｃ地点の調査

Ｃ地点の標高は87.1mを測り、Ａ地点とほぼ同様の高さである。Ｃ地点においてもＢ地点と同様に、縄文後期の遺物包含層がかなり厚く堆積していたため、北側の微高地からの遺物の流れ込みの可能性を考慮する必要がある。調査の結果、遺構は検出できなったが、多量の縄文後期の土器等が出土し、ほぼ完形に復元できる土器も検出した。


鹿児島県略図
志布志町
森山
山裾
今別府
上出水
川野
潤ヶ野
下出水
立花迫
福島渡
潤ヶ野
大川内
佐野
家野遺跡
天堤
帖
鎌石
二反野
田床
二反野
帖
別府
益倉
柳井谷
外之牧
0
1000m
1/25000

第１図　遺跡位置図



（A地点トレンチ配置模式図）

第２図　調査区域及びトレンチ配置図

第Ⅱ章　発掘調査の概要

第１節　基本土層

家野遺跡は、笠祇山塊から西に向って突出する舌状台地である、天堤集落の背後にある家野原台地上に位置する。

Ⅰ層：旧耕作土で、比較的軟質である。色調・硬さ等により、数層に細分される。

Ⅱ層：暗茶褐色土。弥生時代以降の遺物を包含する層である。Ｃ地点を主体として、極少量の遺物が出土している。

Ⅲ層：黄褐色土。縄文時代前～晩期の遺物包含層である。Ｂ・Ｃ地点では非常に厚く堆積しており、流れ込みの可能性も否定できない。

Ⅳ層：暗茶褐色土。ゴマシオ状の火山灰を包含する硬質土層である。霧島起源の「御池」に比定される。

Ⅴ層：茶褐色土。下部に池田起源の黄白色軽石を包含する。場所によっては、硬質となっている所もある。

Ⅵ層：橙色火山灰土。いわゆる「アカホヤ」と呼ばれる層である。下部に砂粒状のパミスが認められる。

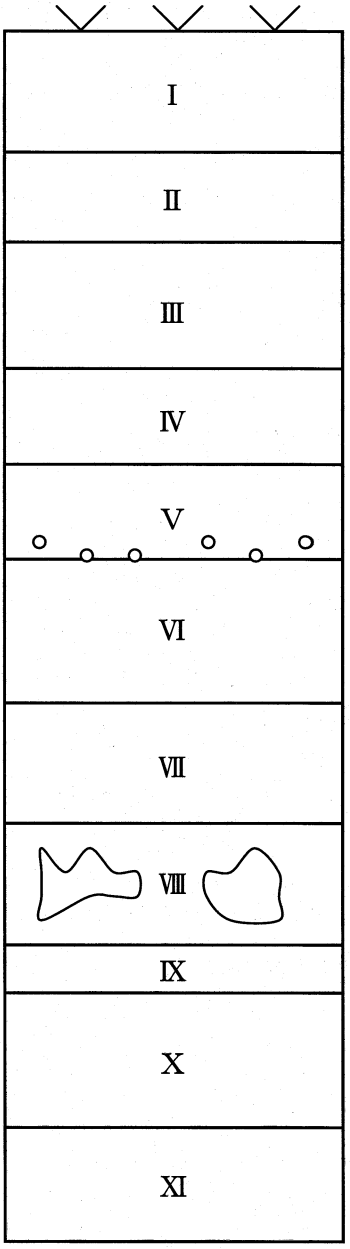
Ⅶ層：暗茶褐色土。縄文時代早期の遺物包含層である。場所によっては色調・硬さ等により数層に細分できる。Ａ地点では多量の遺物が出土している。

Ⅷ層：乳白色硬質土。「薩摩」と呼ばれる層である。場所によっては、色調・硬さ等によりａ・ｂ（ブロック）層に細分できる。

Ⅸ層：暗茶黒褐色土。縄文時代草創期相当層である。場所によっては認められない。

Ⅹ層：茶褐色粘質土。粘質が強い層で、いわゆる「チョコ」と呼ばれている。色調・硬さ等により、数層に細分できる。

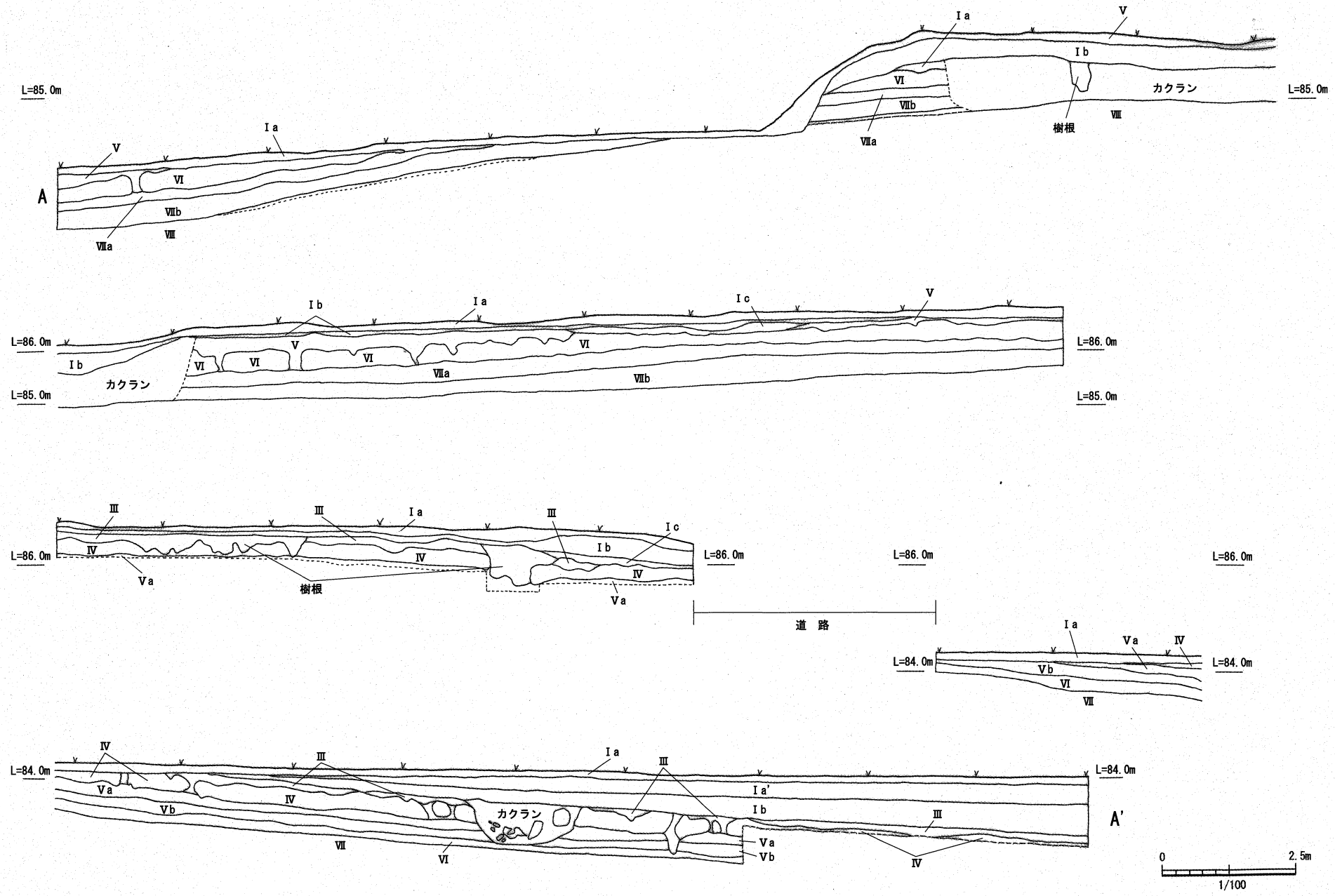
ⅩⅠ層：黄灰色火山灰土。「ヌレシラス」と呼ばれる層で、多量の黄色軽石を包含する場所も認められた。



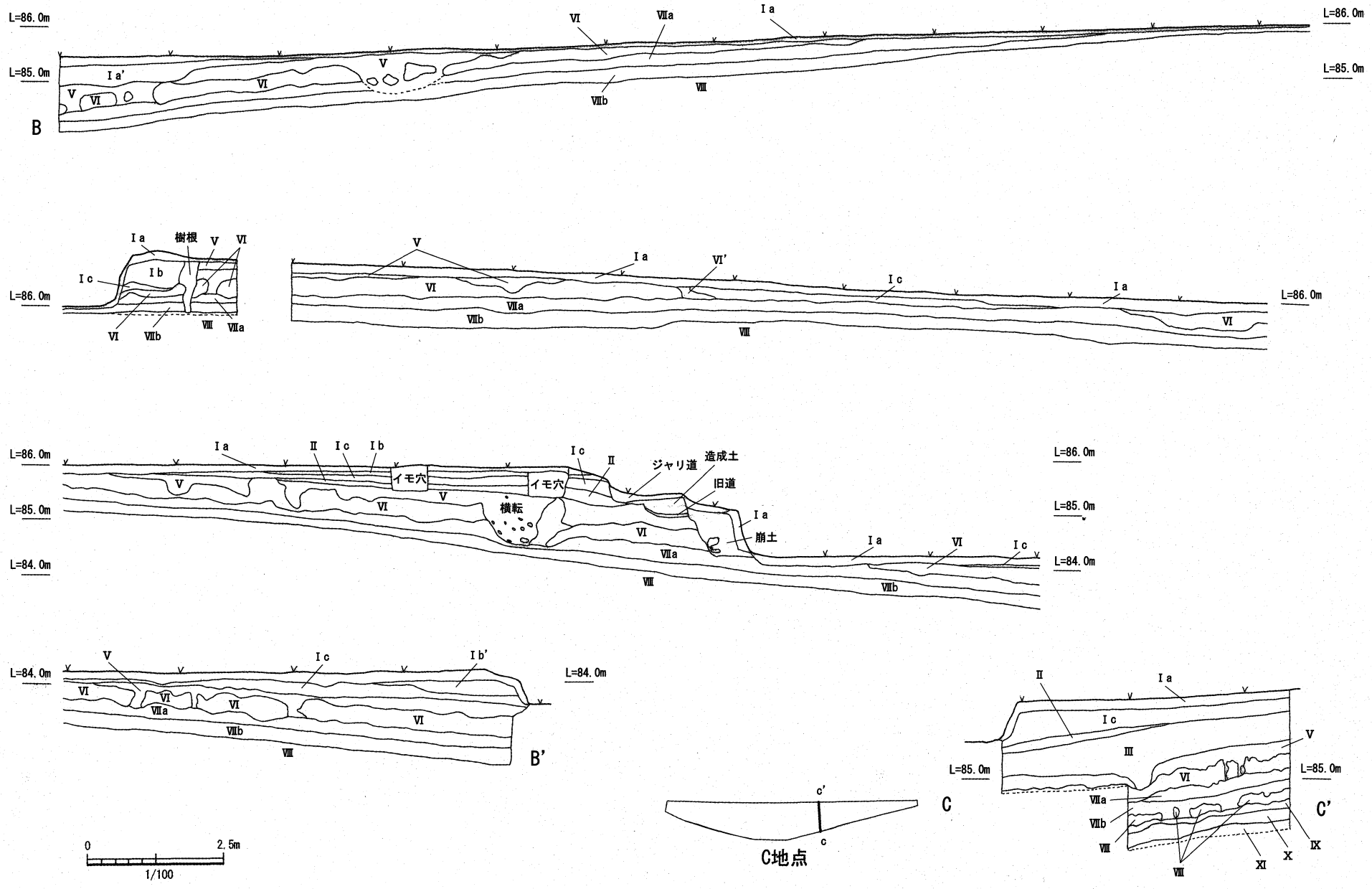
第３図　土層柱状図

第２節　遺構（第６・７図）

家野遺跡からは集石遺構が８基検出された。その検出面から、縄文早期（１～３号）と縄文後～晩期（４～８号）に区分される。そのうち、６～８号は近接した状態で検出された。また、全ての集石遺構で掘り込みは確認できなかった。なお、幾つかの集石遺構については、位置とレベルの記録を怠ったものもあり、反省する次第である。



第４図　南北トレンチ土層断面図



第５図　東西トレンチ及びＣ地点土層断面図

1号集石

A地区7－D区のⅦ層から、56点程の礫が150×110cmの範囲で検出された。90×70cmの範囲でまとまっている箇所とその周囲の散在した礫で構成される。5～15cm程度の大きさの礫が多い。集石の近くからは土器片（1類土器口縁部）が1点出土している。

2号集石

A地区のⅦ層から、44点程の礫が65×50cmの範囲にまとまって検出された。5～10cm程度の大きさの礫が多い。

3号集石

A地区のⅦ層から、60点程の礫が85×80cmの範囲で検出された。中央部がやや散在している。5～10cm程度の礫が多い。集石内からは土器底部片が1点認められた。

4号集石

A地区7－B区のⅢ層から、123点程の礫が130×70cmの範囲で検出された。80×80cmの範囲でまとまっている箇所とその南側に50×40cmの範囲でやや広がった状態の箇所で構成される。10cm程度の大きさの礫が多いが、30cmを超える礫もみられる。集石内では打製石斧・磨製石斧・敲石・石皿など複数の石器が認められた。

5号集石

10トレンチのⅢ層で、140点程の礫が180×170cmの広い範囲に散在した状態で検出された。10cm程度の大きさの礫が多い。

6号集石

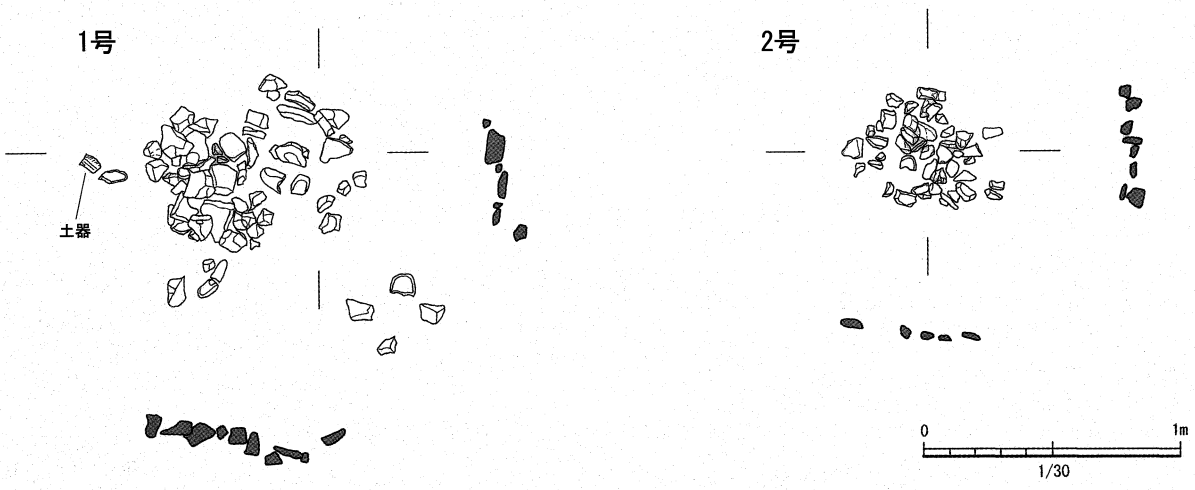
A地区8－B区のⅢ層から、98点程の礫が150×90cmの範囲にまとまって検出された。10～15cm程度の大きさの礫が多い。集石の近くからは打製石斧の完形品が出土している。

7号集石

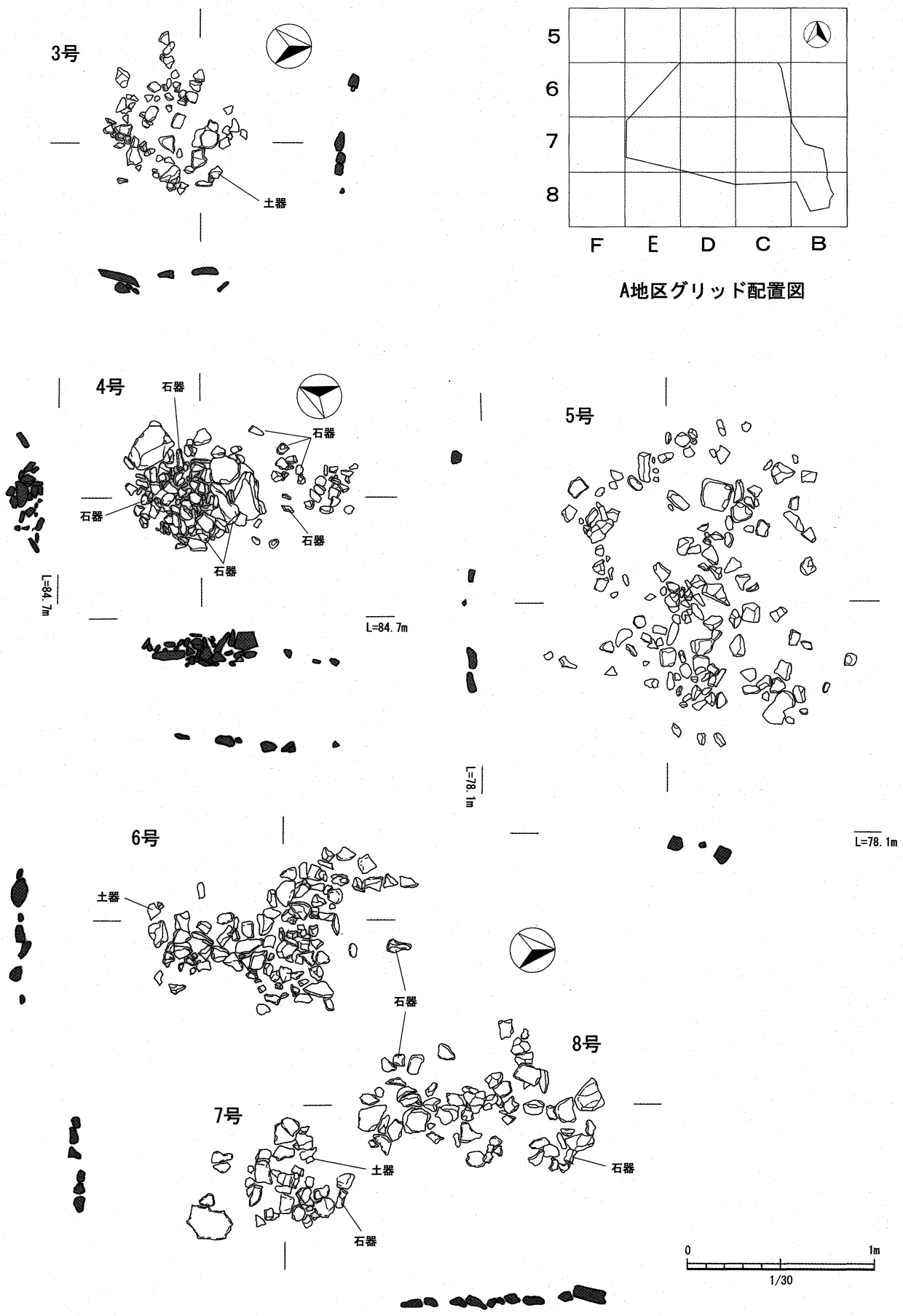
A地区8－B区のⅢ層から、38点程の礫が90×70cmの範囲にまとまって検出された。10cm程度の大きさの礫が多い。集石内からは打製石斧1点と土器片1点が認められた。

8号集石

A地区8－B区のⅢ層から、62点程の礫が140×80cmの範囲にやや広がった状態で検出された。15cm程度の大きさの礫が多い。集石内からは打製石斧が2点認められた。



第6図　集石遺構実測図（1）



第７図　集石遺構実測図（２）

第３節　出土土器

家野遺跡出土の縄文土器は、形態及び文様により１～30類に分類できた。このうち、１～９類土器は早期に、10～13類土器は前～中期後葉に、14～27類土器は中期末～後期に、28・29類土器は晩期にそれぞれ位置づけられる。なお、型式不明の土器を30類土器とした。これら以外に、円盤状土製品が認められる。

出土状況について、早期土器はⅦ層から出土し、主にＡ地点で認められる。前～中期後葉の土器は出土量が少なく、際立った傾向は認められない。出土量が最も多い中期末～後期の土器は、Ｂ・Ｃ地点のⅢ層から出土している。晩期土器はⅢ層から出土し、主にＡ地点で認められる。

各類土器の特徴は以下のとおりである。

１類土器（第８図　１～２）

口唇部に連続する刺突を施し、直行する口縁部の上端に縦位・斜位の貝殻刺突文を施すものである。胴部に目の細かい貝殻条痕を施す。

２類土器（第８図　３～18）

直行する口縁部の上端に刺突文を、胴部に斜位の粗い貝殻条痕をそれぞれ施すものである。口縁部の刺突文には貝殻腹縁によるもの、ヘラ状工具によるもの、幅広のものが認められ、１段だけでなく、２段に施すものもある。円筒形と角筒形がある。

３類土器（第９図　19）

斜位の貝殻条痕の上に貝殻刺突文を加えるものである。口縁部には横位の貝殻刺突文を、胴部には縦位・斜位の貝殻刺突文を施す。

４類土器（第９図　20～23）

口縁部に縦位の貝殻刺突文を施し、胴部に貝殻押引文を施すものである。

５類土器（第９図　24）

３類または４類の底部と考えられるものである。底端部に縦位の短沈線文を巡らせる。

６類土器（第９図　25）

外面に横位の貝殻刺突文を施すものである。

７類土器（第９図　26～28）

外面に短沈線文を羽状に施すものである。口縁部がやや内湾する。内外面ともに丁寧なナデ調整を行う。胎土に金雲母を含むものと石英・長石類を多く含むものの２種類が認められる。

８類土器（第９図　29～34）

回転原体による施文を行うもので、楕円文や山型文、条線文、連点状のもの、撚糸文、縄文などがみられる。口縁部内面にも施文される。

９類土器（第９図　35）

網目撚糸文を施すものである。

10 類土器（第10図　36）

沈線文を幾何学的に施すものである。

11 類土器（第10図　37・38）

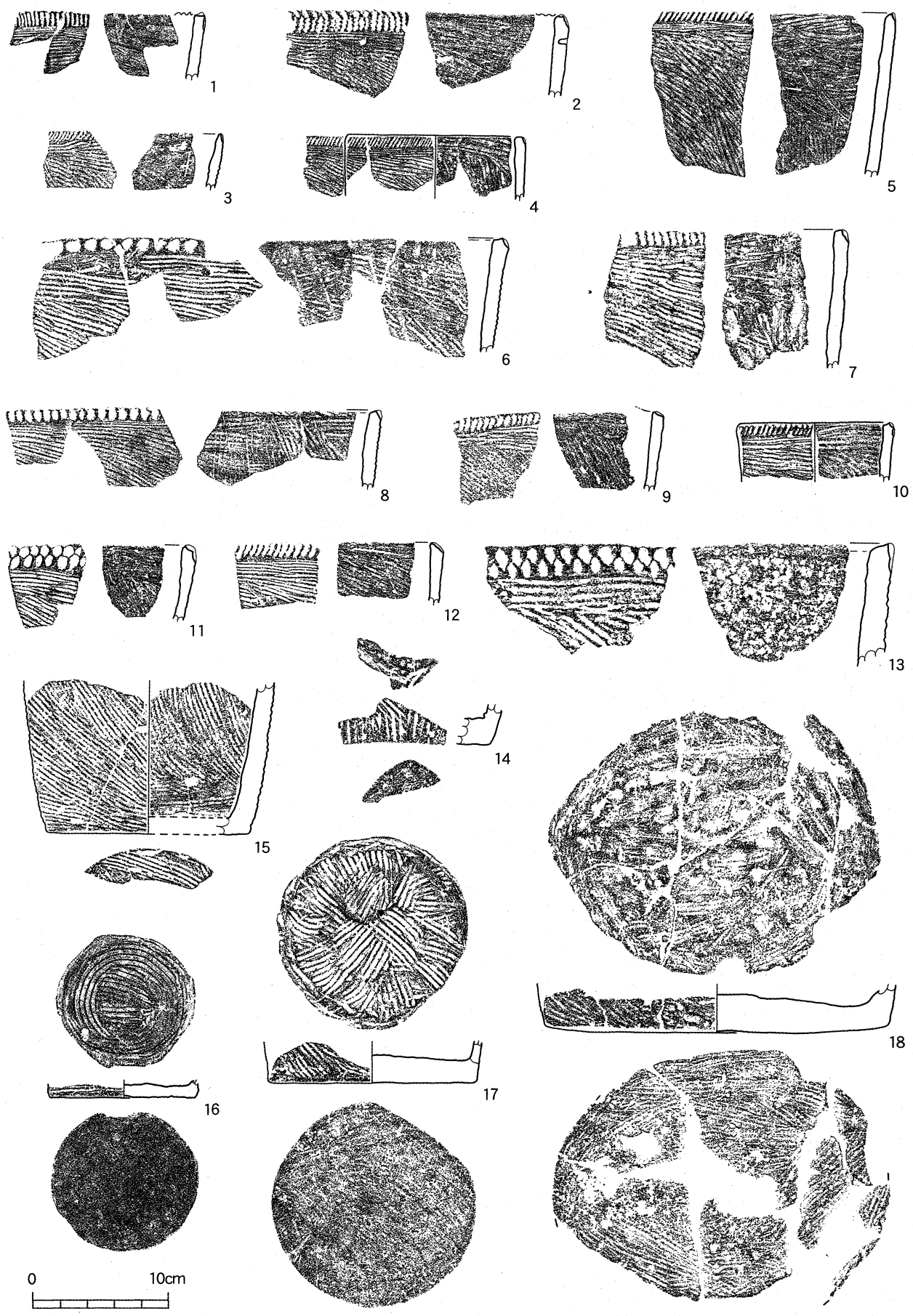
貝殻連点文や突帯文、貝殻刺突文を幾何学的に施すものである。口縁部内面にも施文される。

12 類土器（第10図　39）

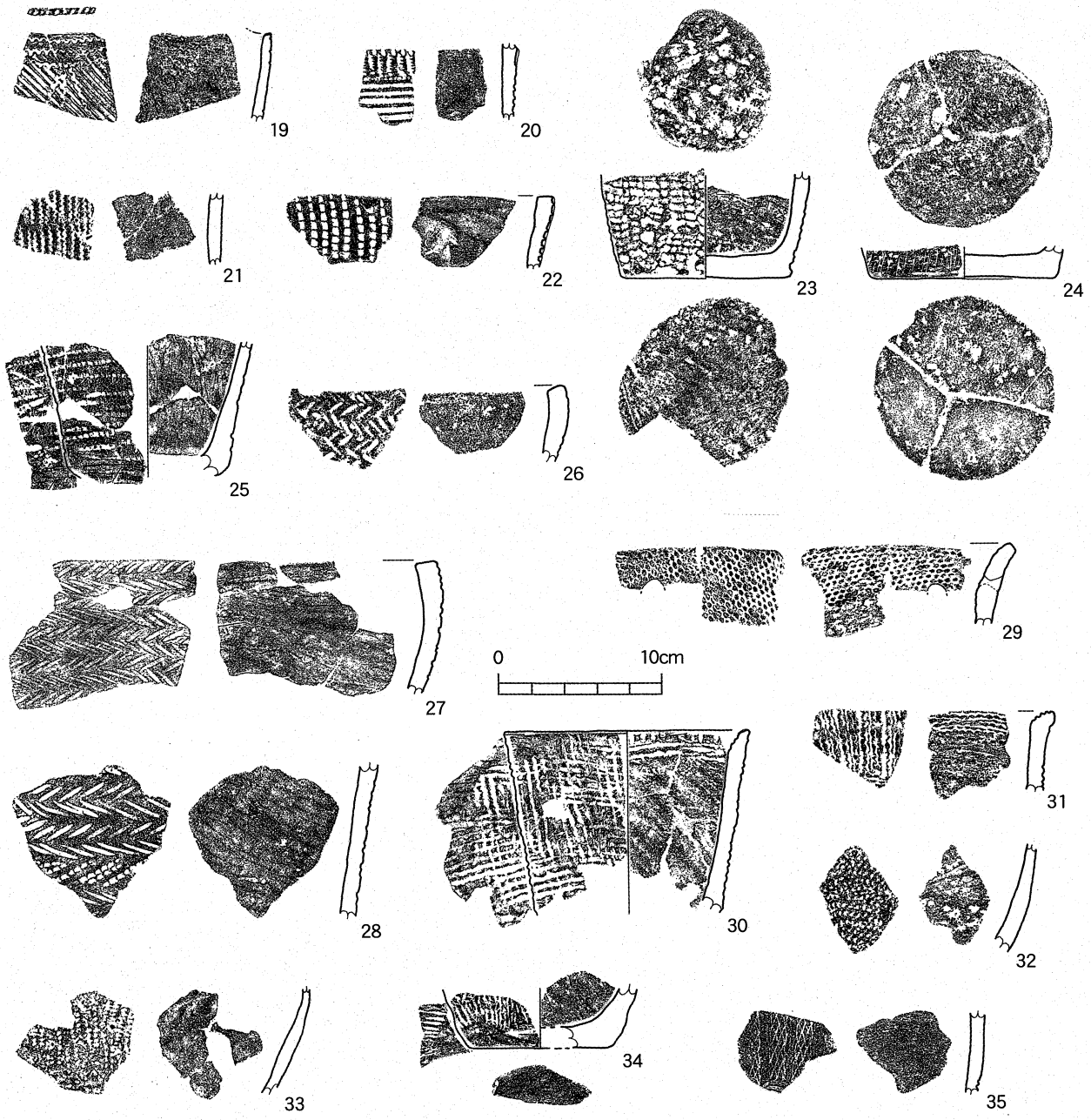
キャリパー形の口縁を呈するものである。口縁部に波状の沈線文を施す。

13 類土器（第10図　40・41）

突帯を曲線状に施し、その突帯上に貝殻刺突文を施すものである。胎土に金雲母を含む。



第８図　１類土器



第９図　２～９類土器

14 類土器（第10図　42）

胴部に篦削文を施すもので、鉢形を呈すると思われる。胎土に滑石を含む。

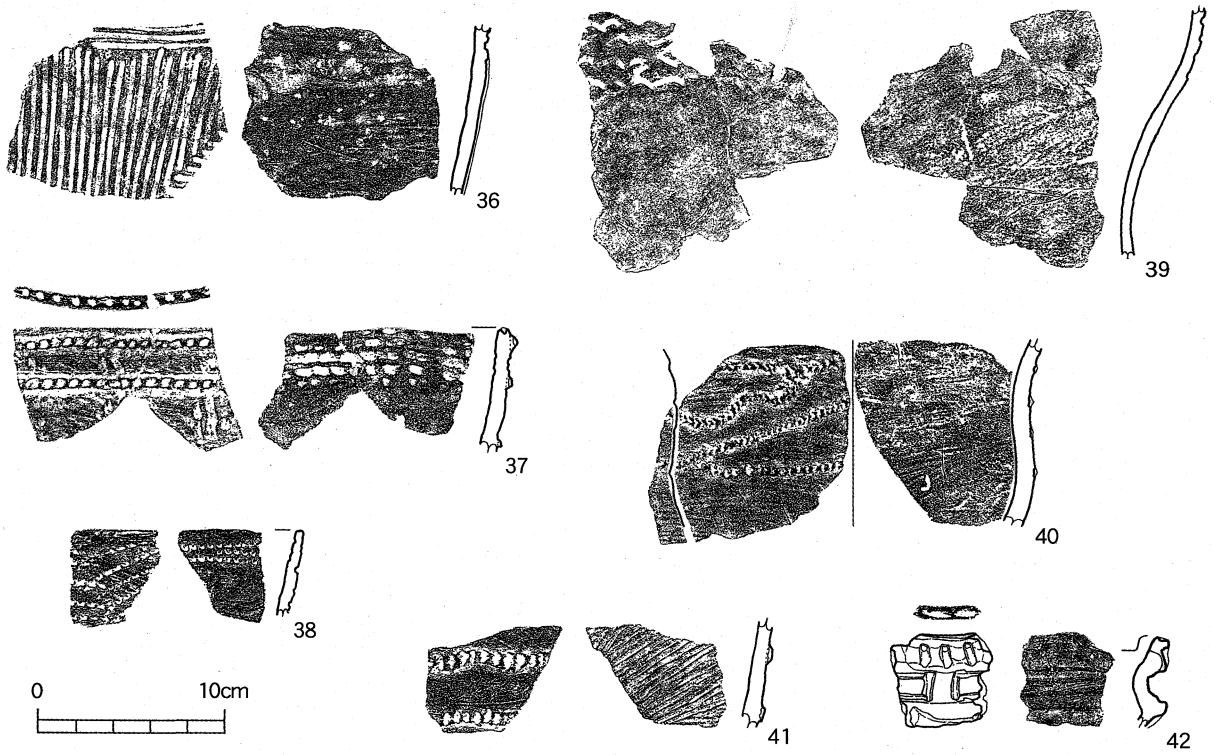
15 類土器（第11～15図　43～82）

外面に凹線文を施すものである。文様や器形により５類に細分した。

a 類（43～48・50～53）：凹線文のみ施すもの。

b 類（54～61）：口縁部上位に凹点文や刺突文を施すもの。

c 類（49・62～68）：口縁部上端に粘土を貼付することにより肥厚させ、そこに凹点文や刺突文を施すもの。



第10図　10～14類土器

d類（69～76）　：口縁部上位に貝殻刺突文を施すもの。器形には、口縁部が直行するものと頸部が締まり、胴部が張るものの２種類が認められる。

e類（77～82）　：口縁端部外面に刻みを施すもの。器形にはｄ類同様、２種類ある。

16類土器（第16～18図　83～131）

外面に細形凹線文、または沈線文を施すものである。胎土に金雲母を含むものが多い。器形や文様により、９類に細分した。

a類（83～93）　：口唇部に沈線文を施すもの。連点文を付加するものもある。また、口縁部が肥厚し、そこに円文や連点文を施すものもある。

b類（94～98）　：口縁部が内湾または内反するもの。口縁部上端に円文や連点文を施す。

c類（99・100）　：突帯を施すもので、突帯上に円形刺突文を施す。

d類（101～114）：口縁部が外反するもの。

e類（115～117）：口縁部上端に貝殻刺突文や刺突文を施すもの。

f類（118～122）：口縁部が直行またはやや内湾するもの。

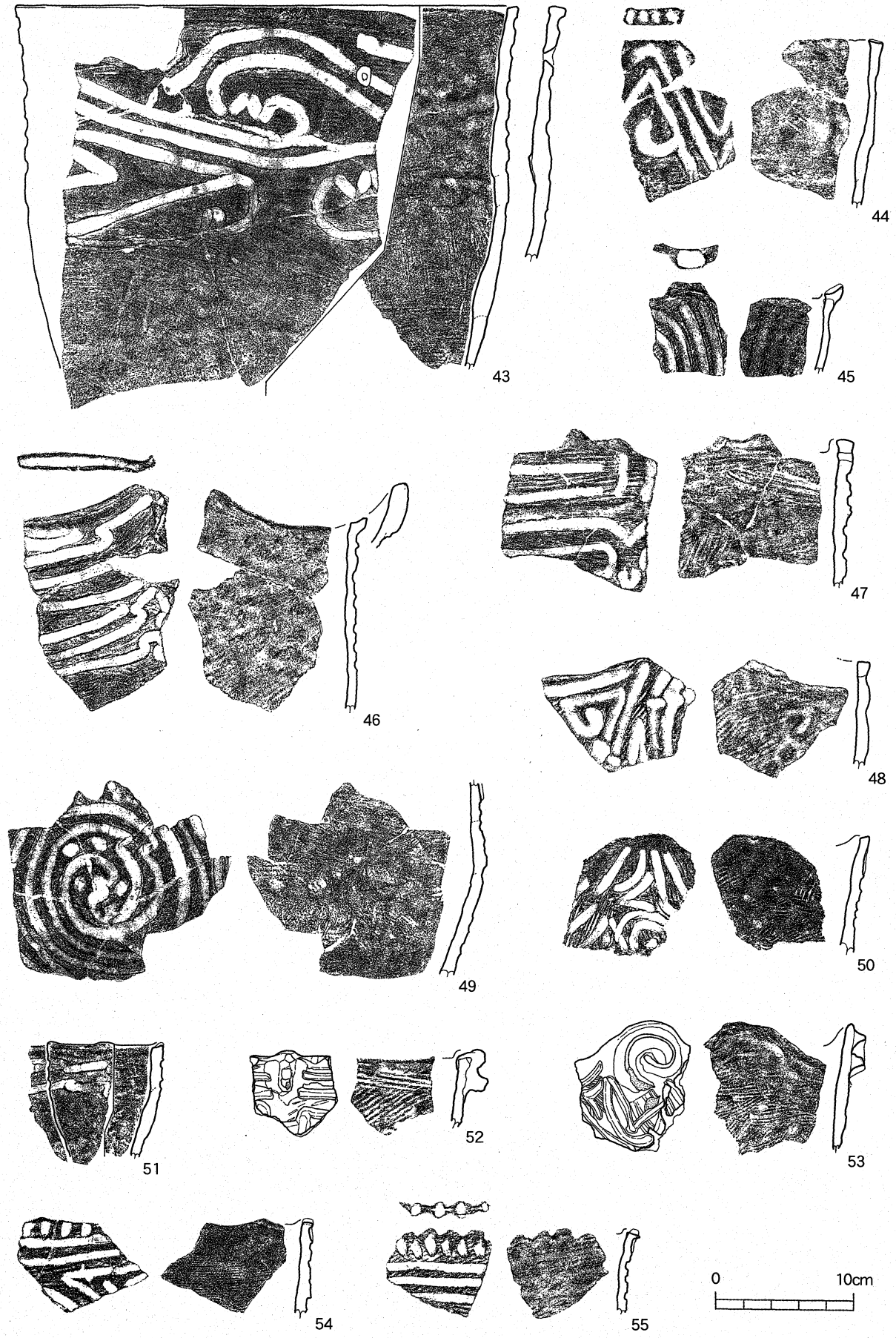
g類（123～127）：文様が口縁部の上位に集約されているもの。

h類（128～130）：突起や把手などの装飾がみられるものを一括した。

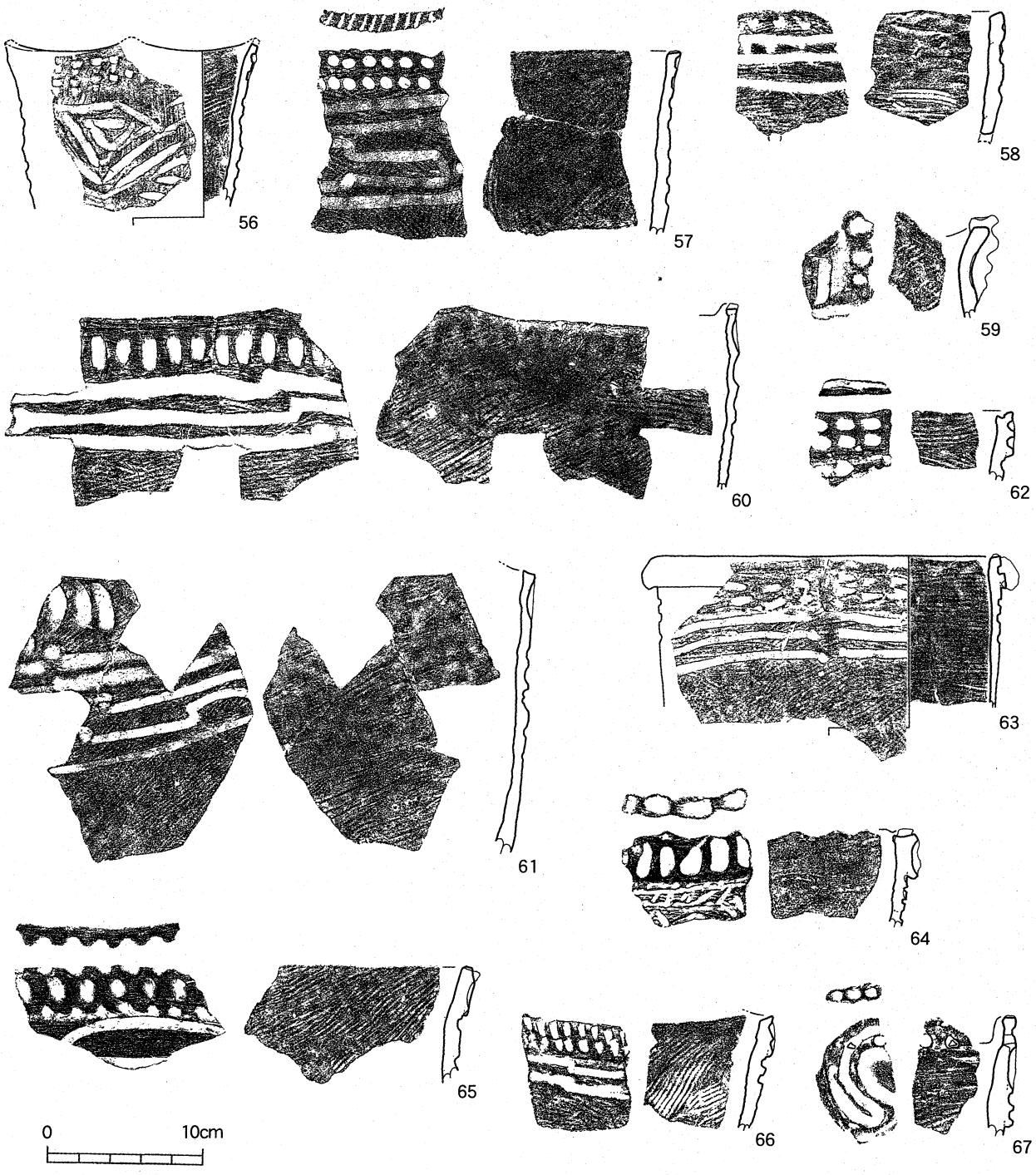
i類（131）　：内外面に粘土を貼付した補修痕がみられる胴部である。焼成前に入ったヒビを粘土で撫でつけることにより補修を行ったと考えられる。その補修により、外面文様が消されている。

17類土器（第18・19図　132～147）

凹線文や沈線文間に貝殻刺突文や連点文を施すものである。胎土に金雲母を含むものが多い。



第11図　15類土器（1）

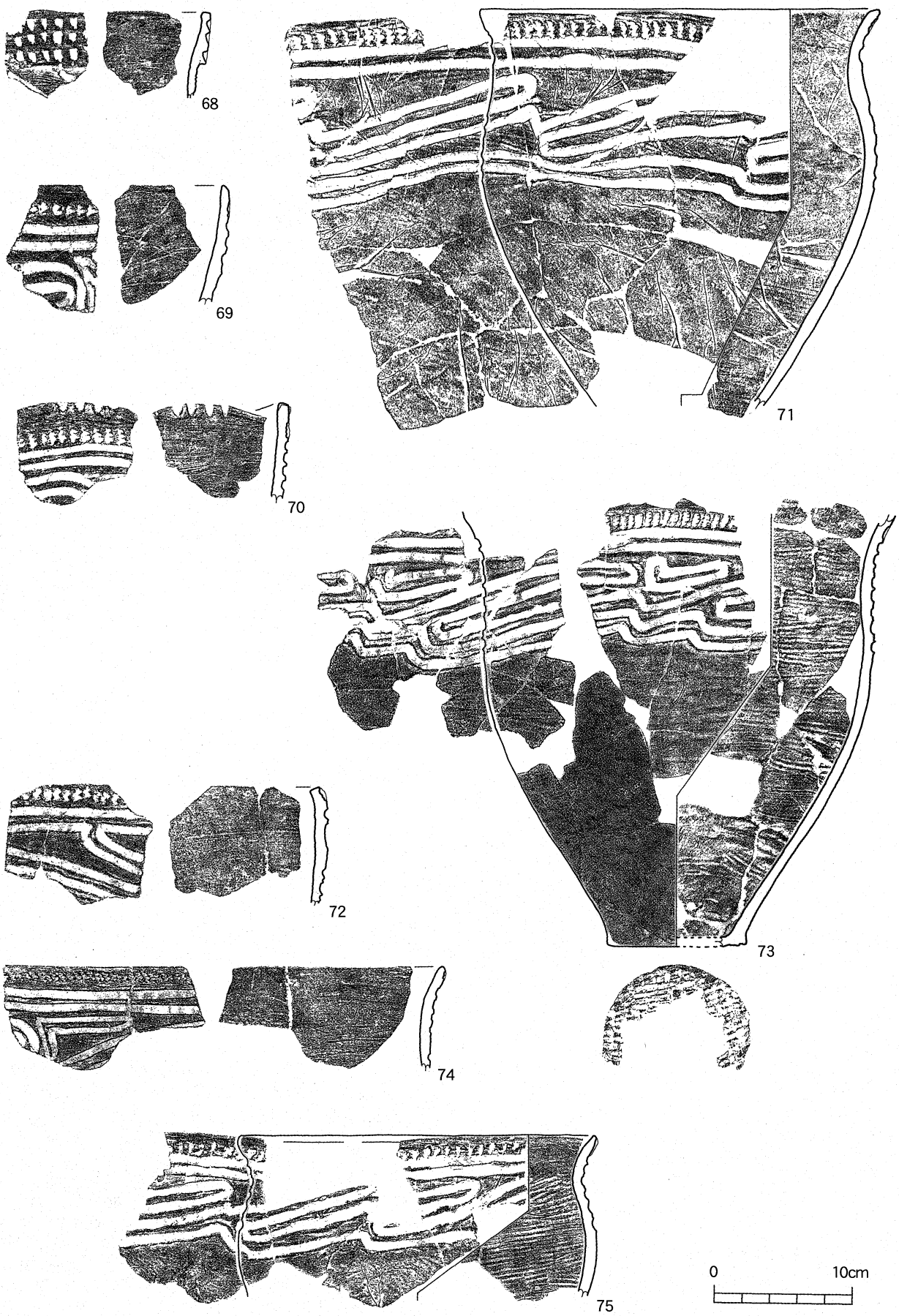


第12図　15類土器（2）

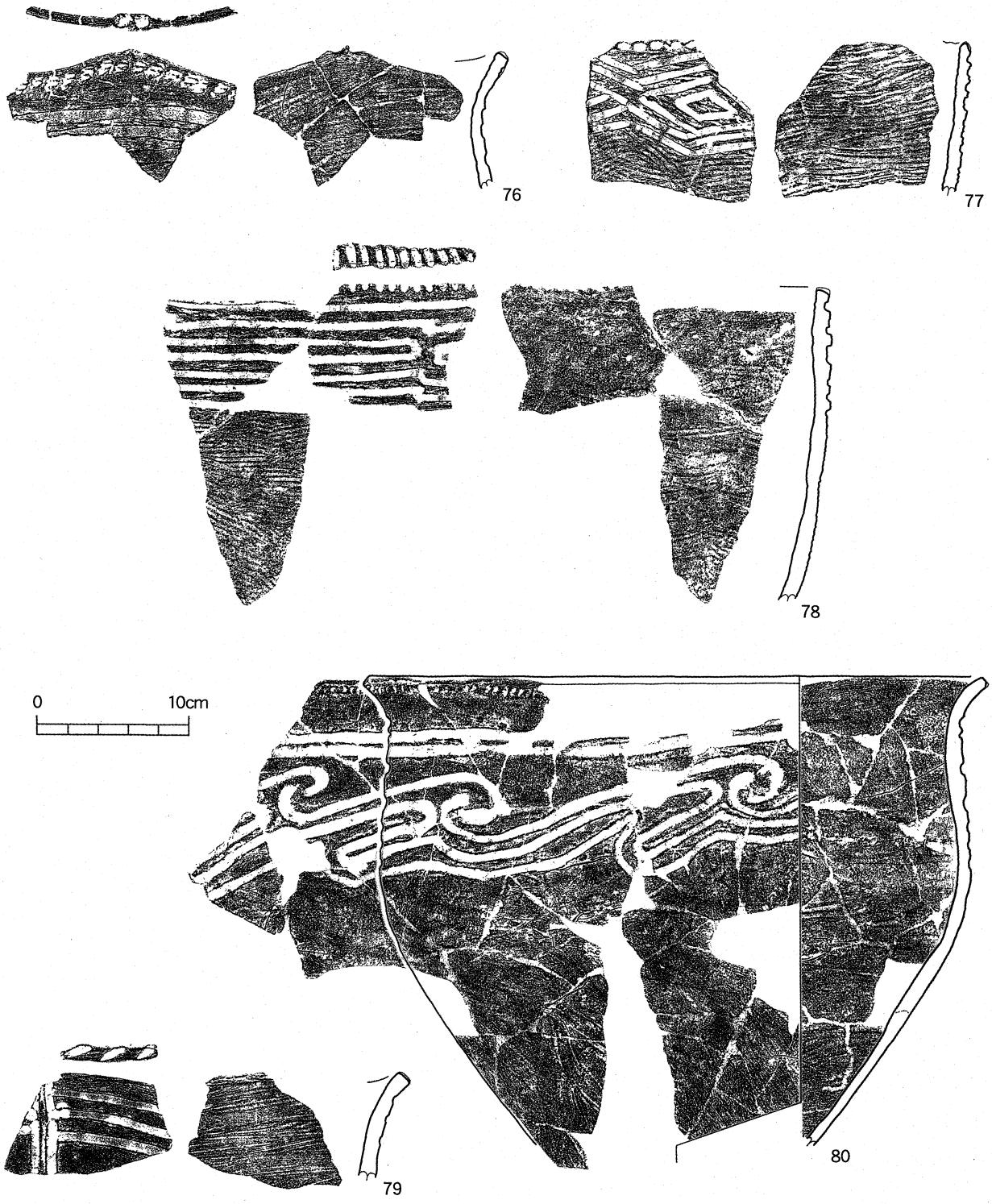
18類土器（第20～22図　148～182）

口縁部が肥厚し、断面形が三角形もしくは「く」字状を呈するもので、その部分に貝殻刺突文や爪形文、沈線文、連点文を施す。また、胴部や口縁部内面に施文されるものもある。平口縁と波状口縁が認められる。器形や文様により、４類に細分した。

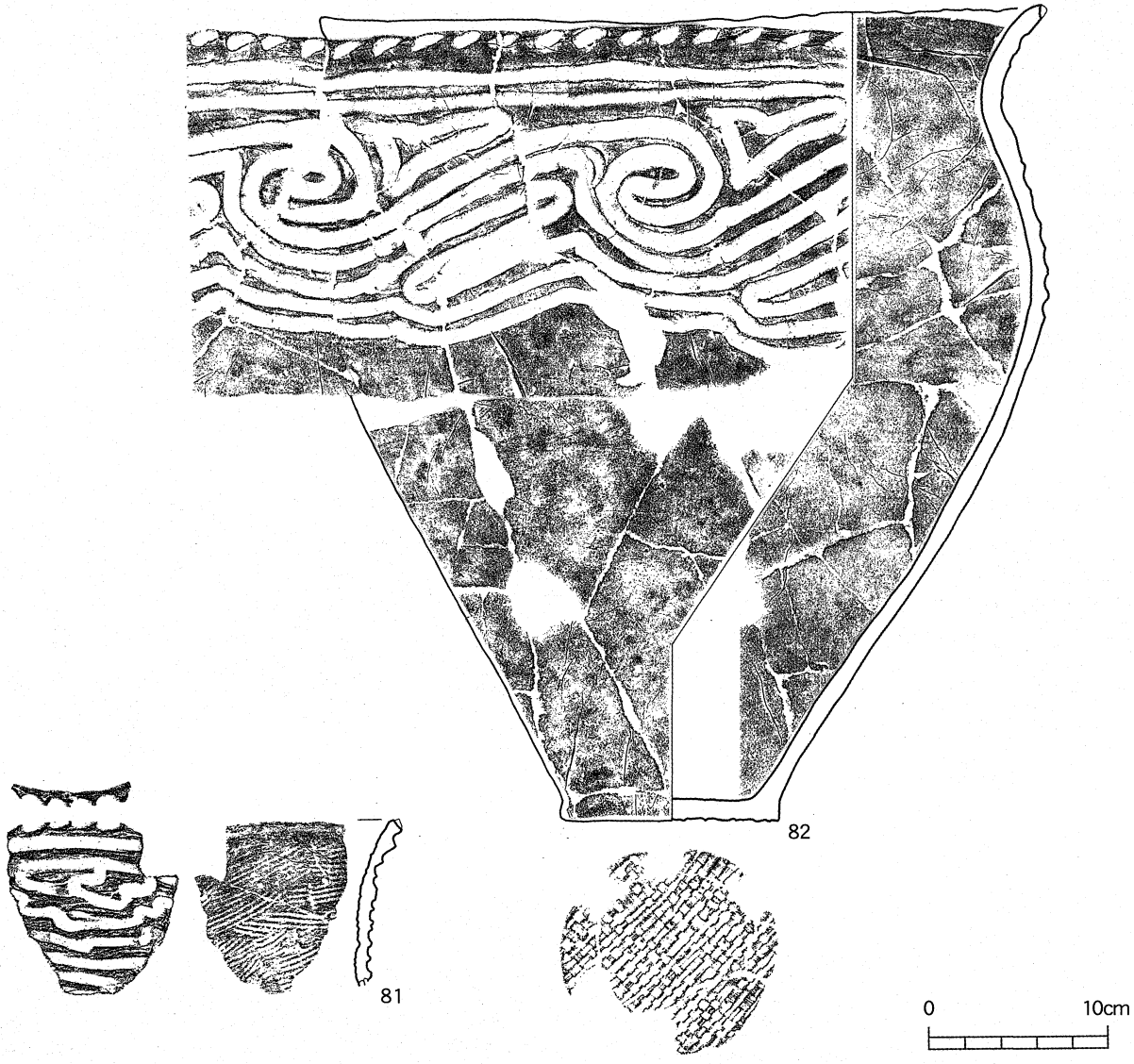
a類（148～157）：口縁部断面が三角形を呈するもの。肥厚部の上位にのみ施文されるものがほとんどであるが、下位にも施文されるものもある。



第13図　15類土器（3）



第14図　15類土器（4）



第15図　15類土器（5）

b類（158～166）：口縁部断面が「く」字状を呈し、肥厚部の下位に文様が認められないもの。

c類（167～181）：口縁部断面が「く」字状を呈し、肥厚部の下位にも施文されるもの。貝殻刺突文や沈線文、凹線文を施す。

d類（182）　　：口縁部断面が「く」字状を呈し、無文のもの。

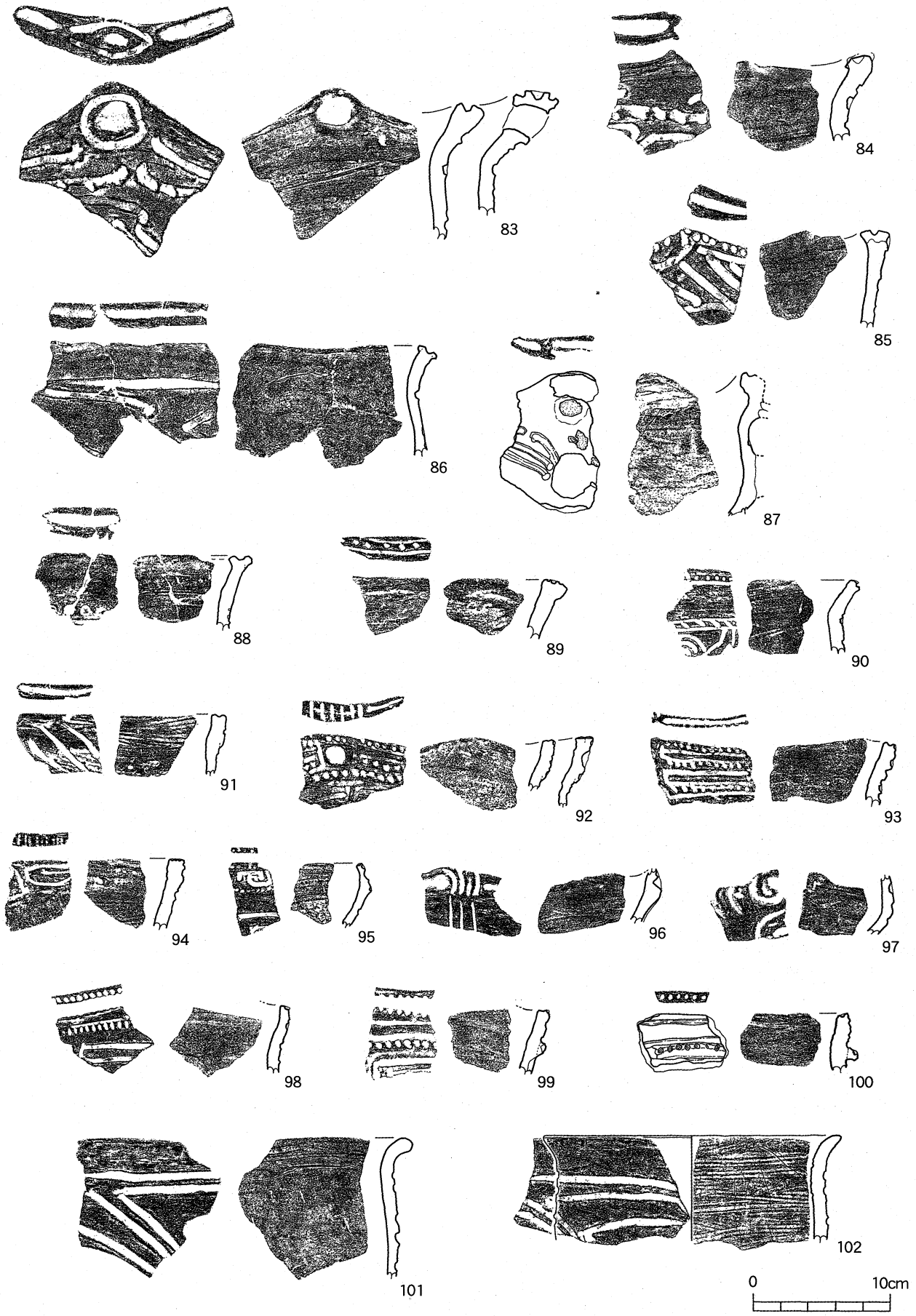
19類土器（第23～25図　183～205）

口縁部に斜位の貝殻刺突文を１段または２段巡らせるものである。波状口縁を呈するものが多い。内外面ともに貝殻条痕を施す。器形や文様により、２類に細分した。

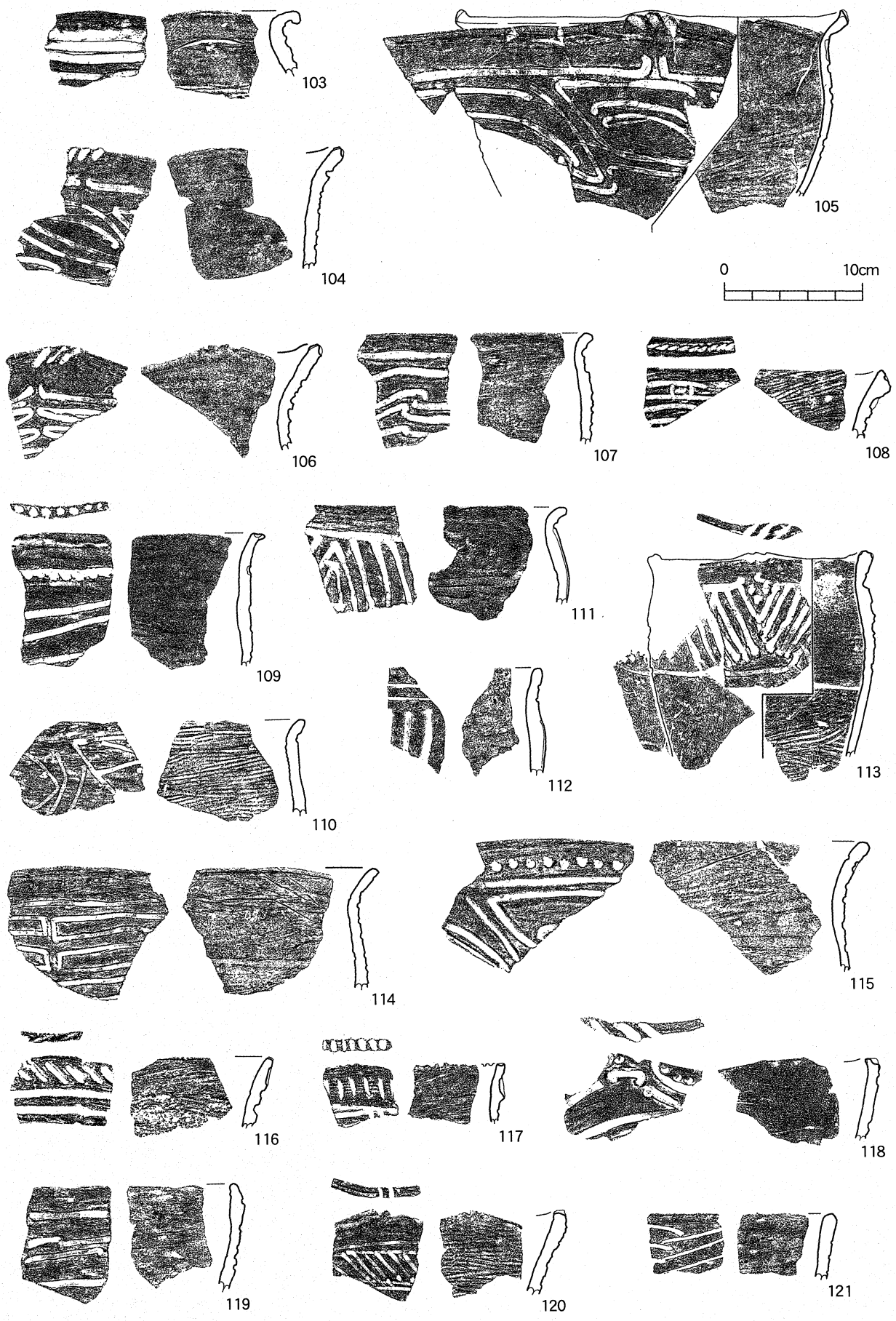
a類（183～192）：口縁部断面が「く」字状に屈曲するもの。沈線文や弧状の短沈線文を連続させるもの（連続弧状短沈線文）を付加するものもある。

b類（193～203）：口縁部が外反するもの。壺形を呈するものもある。

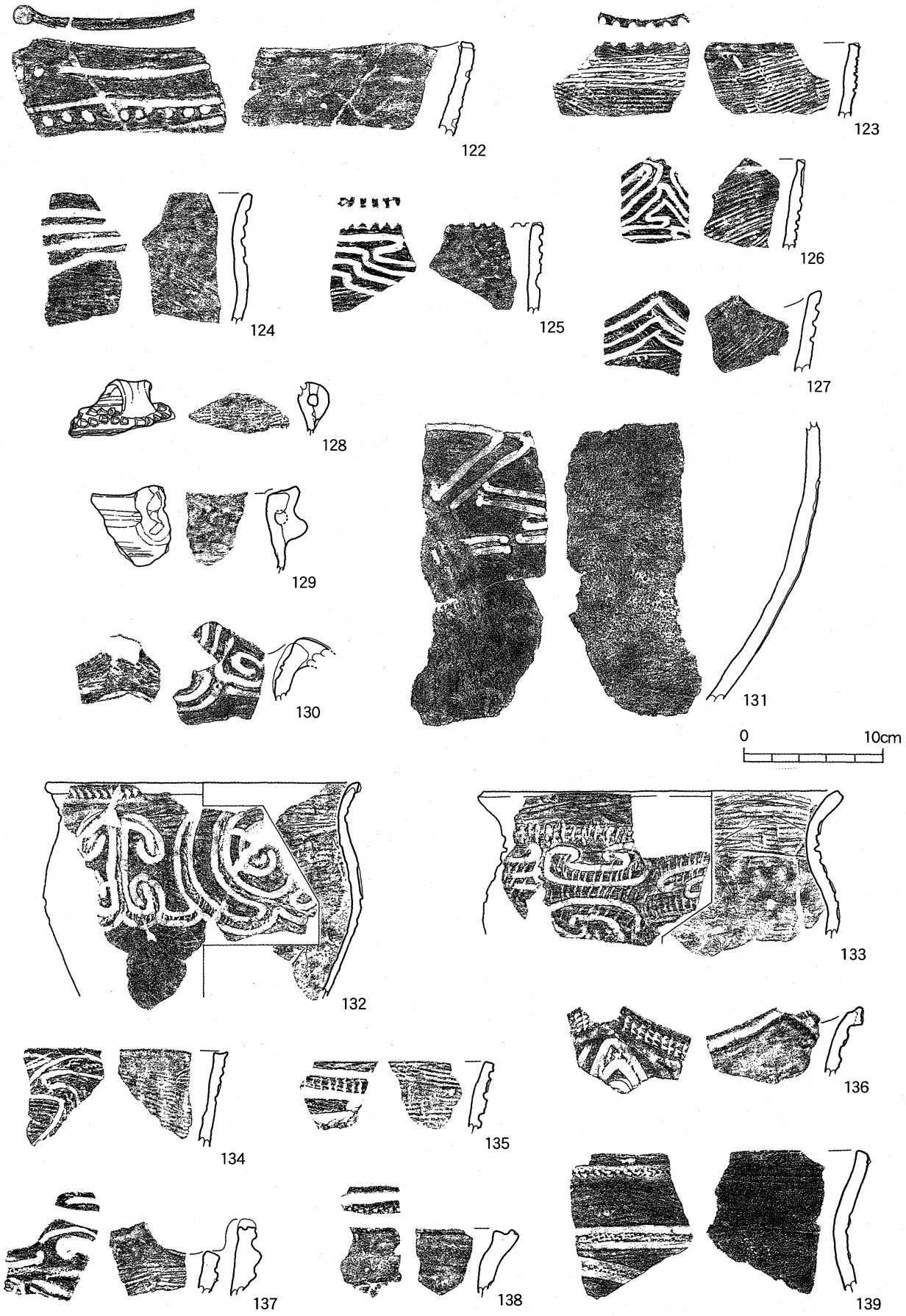
c類（204・205）：無文のもの。



第16図　16類土器（1）


103
105
104
0
10cm
106
107
108
109
111
113
112
110
114
115
116
117
118
119
120
121

第17図　16類土器（2）



第18図　16・17類土器

第19図　17類土器

20類土器（第25図　206～210）

口縁部が外反し、頸部で締まり、胴部が膨らむ器形を呈し、口縁～胴部上半に爪形文や沈線文、貝殻刺突文を施すものである。口縁端部がやや肥厚するものや口縁部に突起などの装飾をもつものも認められる。

21類土器（第25・26図　211～216・220）

口縁部が内湾もしくは直行し、胴部が張る器形を呈し、口縁部と胴部に貝殻刺突文と沈線文を施すものである。19類土器でみられるような連続弧状短沈線文を施すものもある。波状口縁を呈するものもあり、波頂部に刻みを有する。19類土器とは異なり、ナデ調整または貝殻条痕後ナデ調整を行う。

22類土器（第25・26図　217～219・221～226）

口縁部が内湾もしくは直行し、胴部が張る器形を呈し、口縁部や胴部に貝殻刺突文や沈線文、連続弧状短沈線文などを施す。沈線間に貝殻刺突文を施すような擬似縄文もみられる。ナデ調整、もしくはミガキに近いナデ調整を行っており、貝殻条痕は認められない。

23類土器（第26図　227～240）

いわゆる台付皿形土器を一括した。沈線文や貝殻刺突文を施しただけの平面的な装飾をもつものと、粘土紐などを貼付することで立体的な装飾をもつものが認められる。粘土紐貼付には「W」字状や「S」字状のものがある。器面に赤色顔料や白色顔料を塗布するものも認められる。

24類土器（第27・28図　241～275）

いわゆる磨消縄文土器を一括したものである。器形や文様により、９類に細分した。

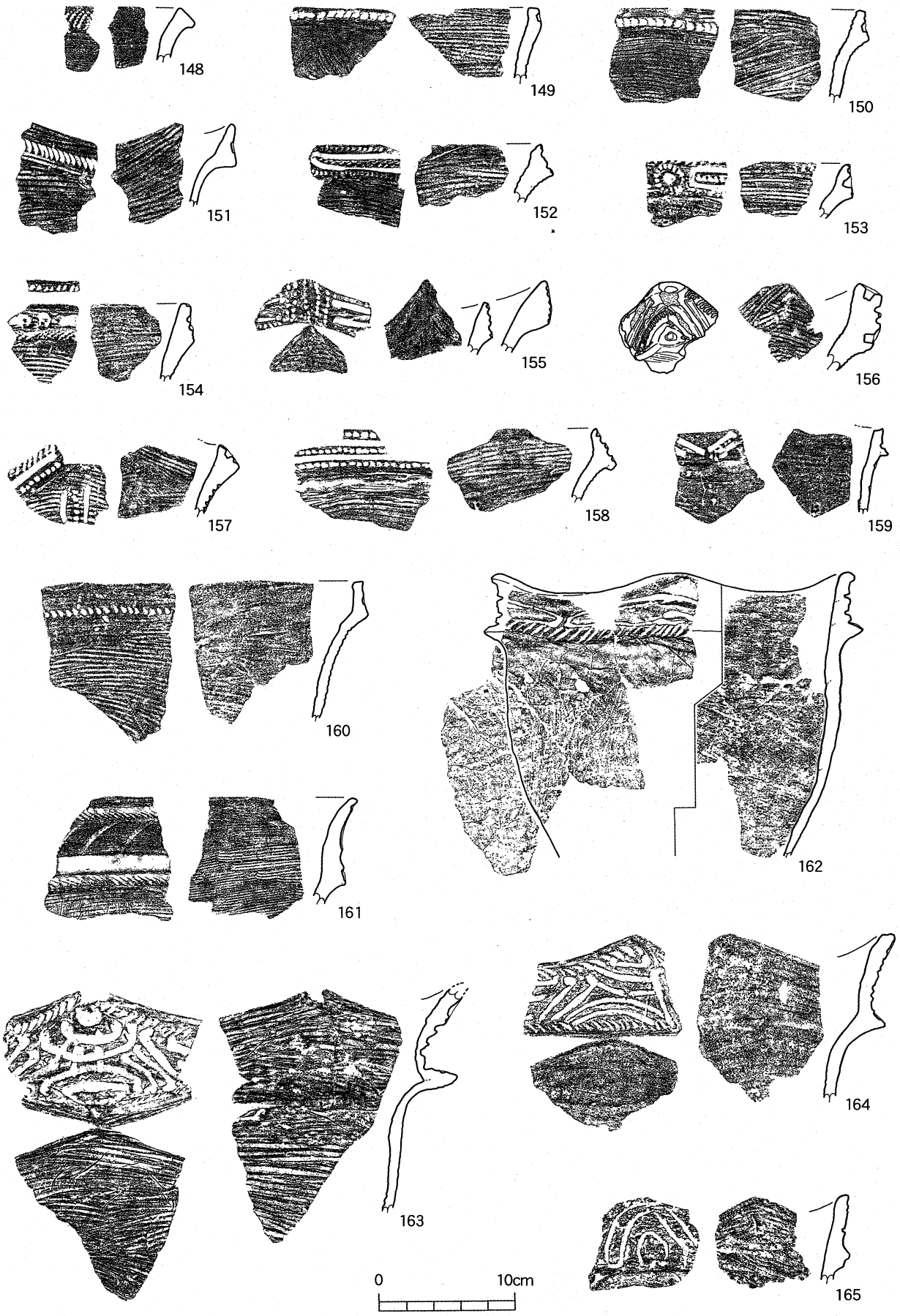
a類（241～244）：口唇部に太めの沈線を巡らせるもの。

b類（245・246）：胴部が大きく張る器形を呈し、幅広の平坦な口唇部に沈線文と刺突文を施すもの。

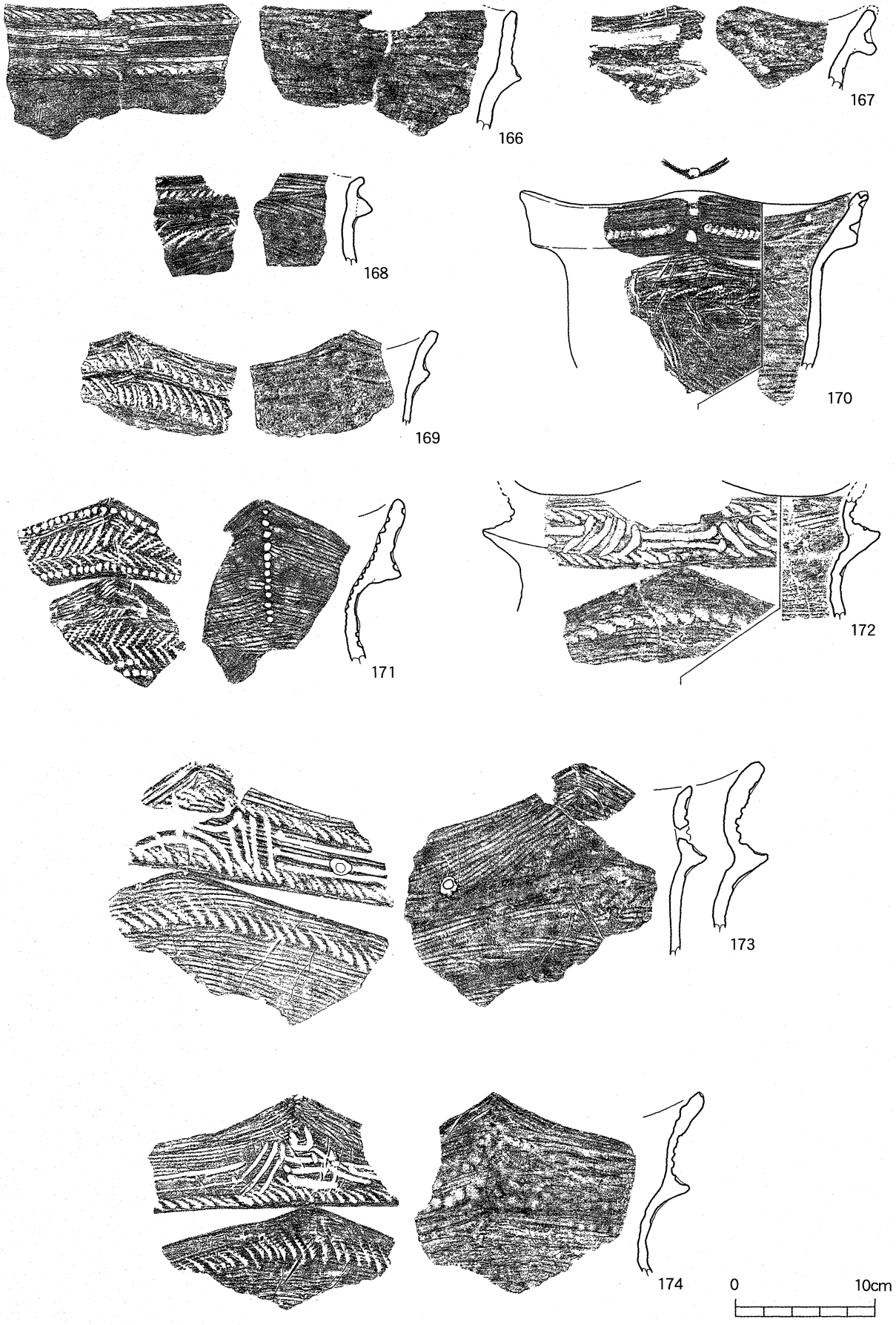
c類（247～254）：口縁部がやや肥厚し、口縁端部外面に貝殻刺突文（貝殻擬似縄文）や鋸歯状の文様を施すもの。大きく張り出す胴部をもつ鉢形土器もあり、口縁端部と胴部に縄文を施す。また、口縁部に「S」・「W」字状の粘土紐を貼付するものや複数の穿孔をもつ突起も認められる。

d類（255～259）：口縁部が緩やかに立ち上がり、頸部で緩やかに屈曲する器形を呈し、口縁部と胴部に磨消縄文を施すもの。沈線文のみのものもある。口縁部に３本の沈線文を、頸部屈曲部には刺突連点文を巡らせる。

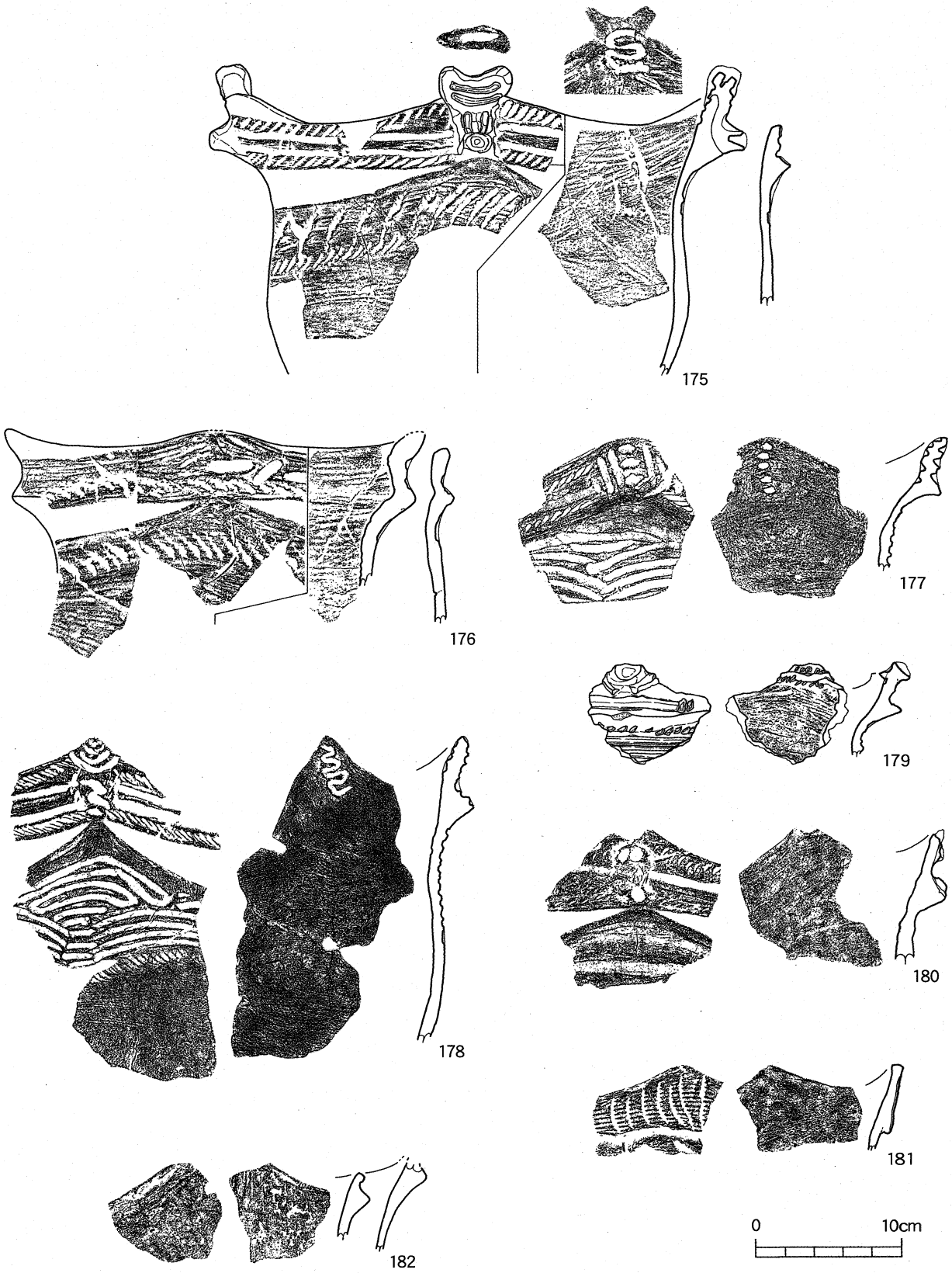
e類（260～265）：口縁部が「く」字状に立ち上がり、頸部が鋭く屈曲する器形を呈し、口縁部と胴部に磨消縄文を施すもの。沈線文のみのものもある。口縁部に２～３本の沈線文を巡らせる。口縁波頂部直下や胴部に対向孤文を付加する。波頂部に「V」字状の切り込みをもつ。


148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
0
10cm

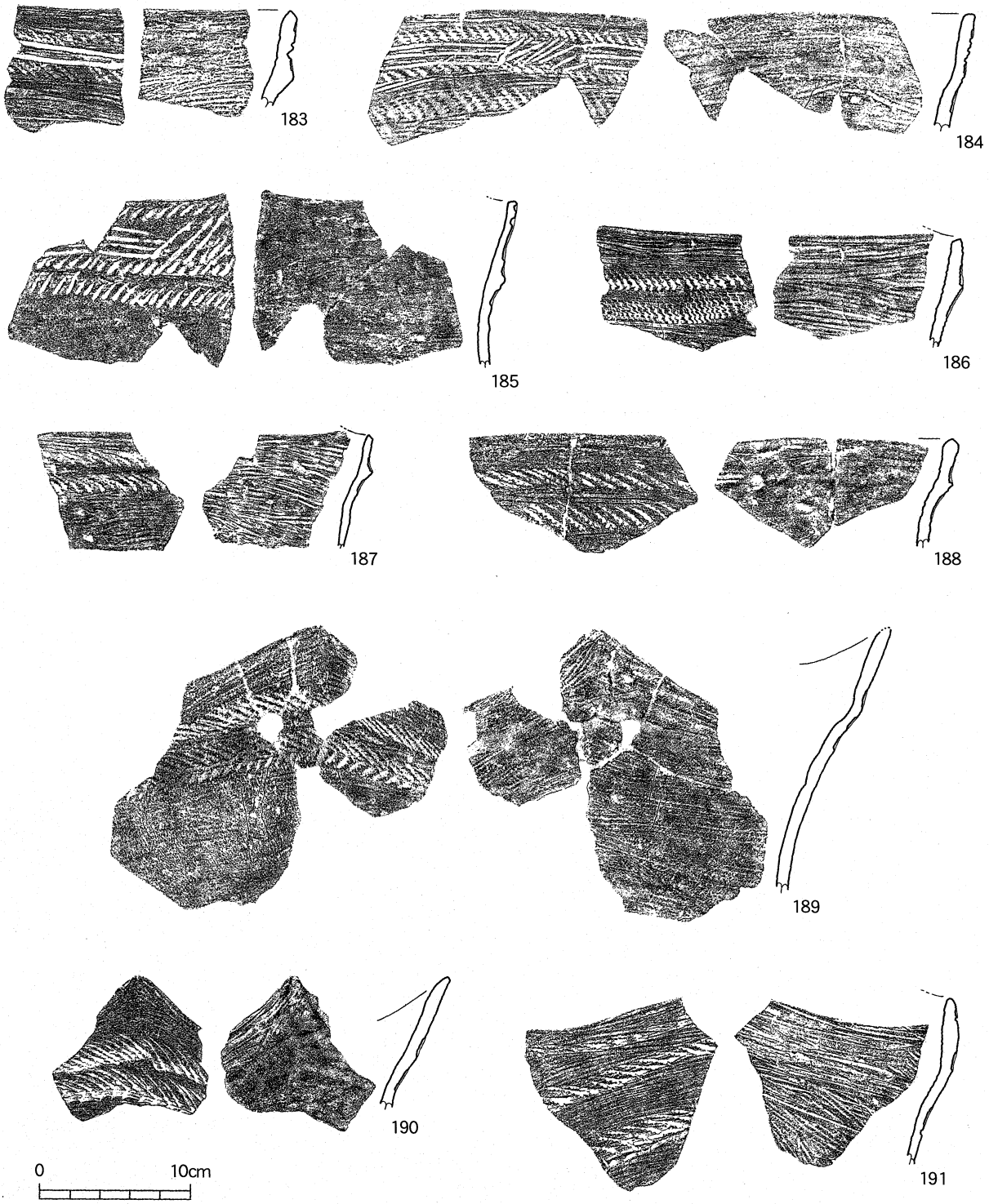
第20図　18類土器（1）



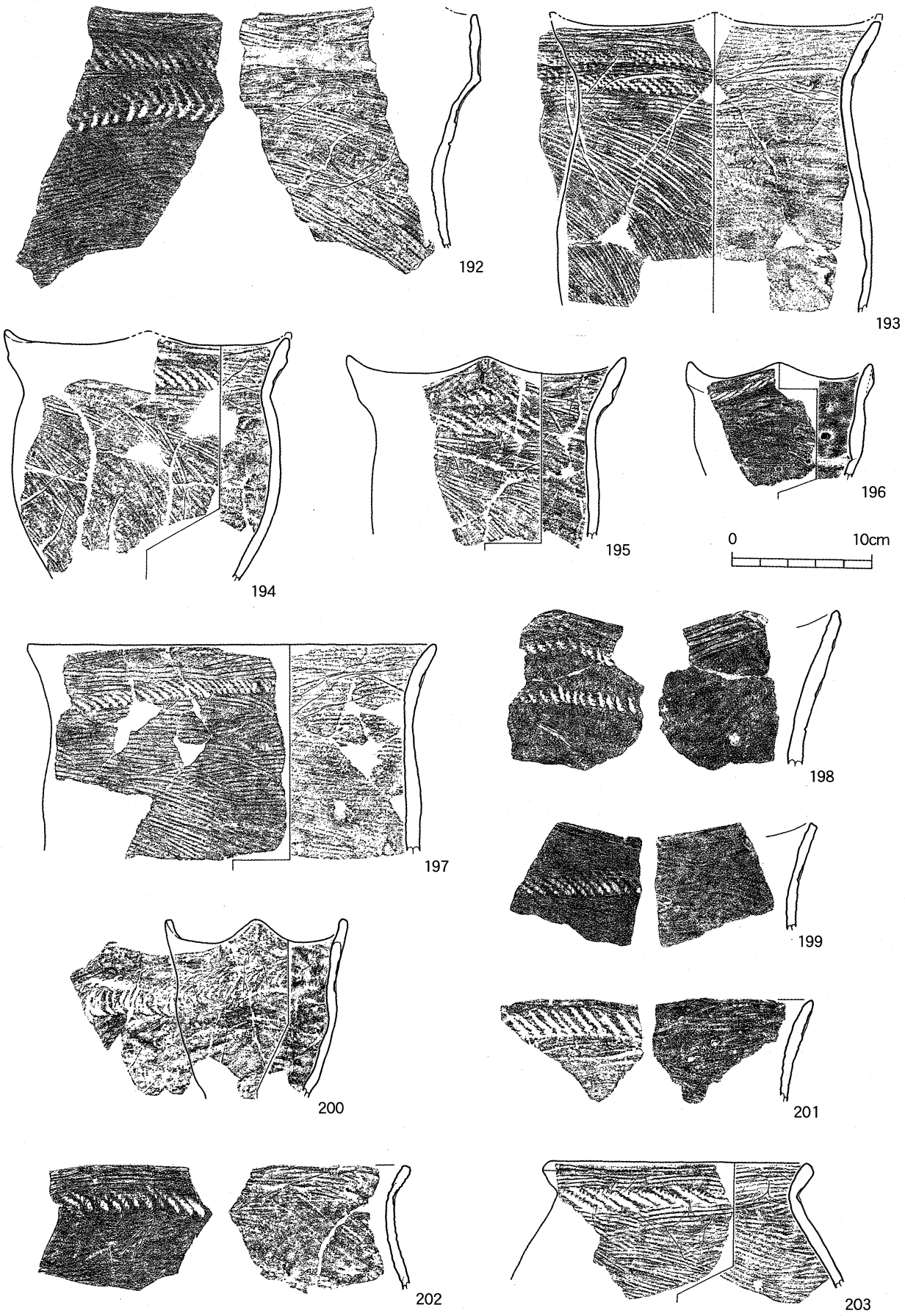
第21図　18類土器（2）



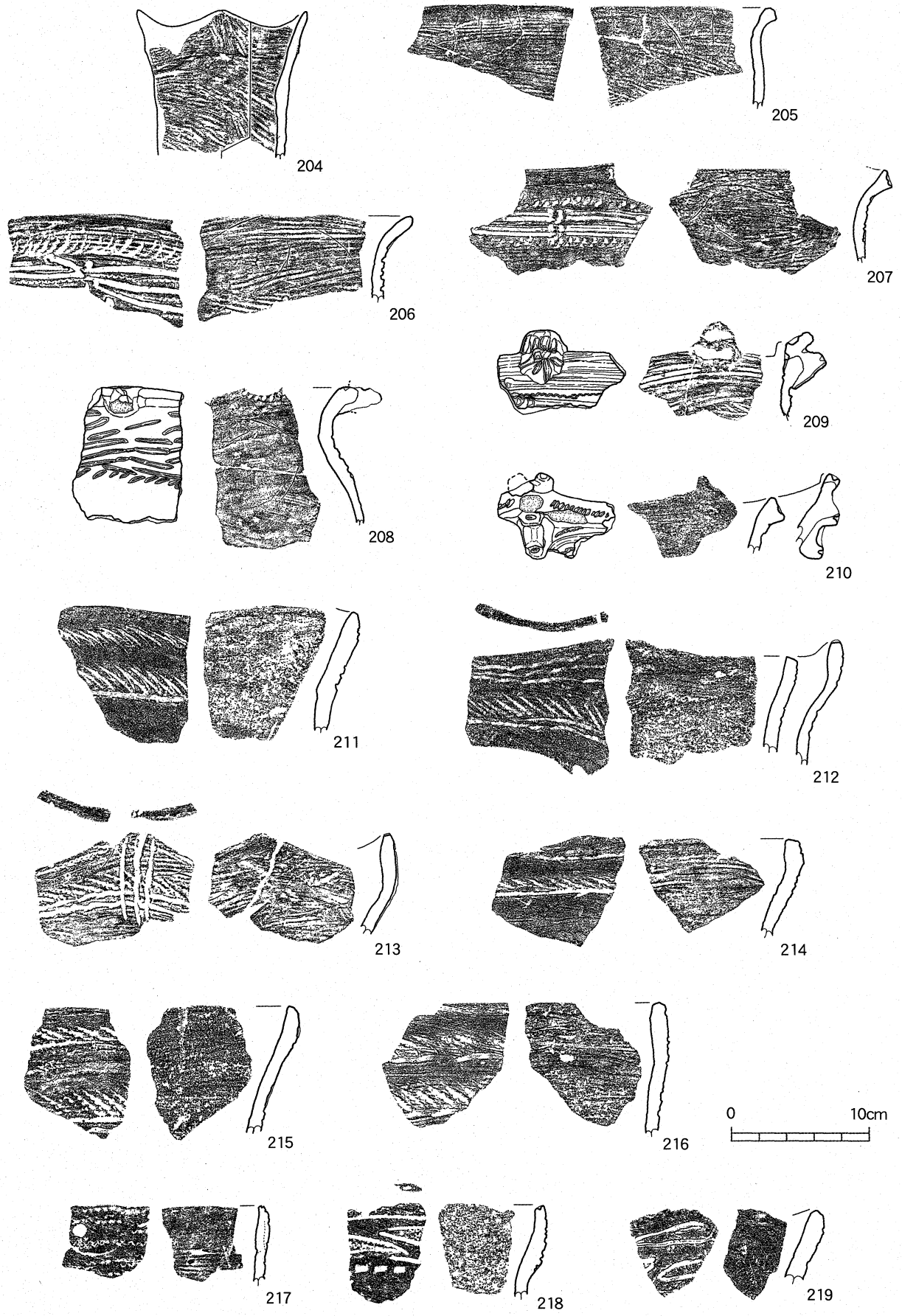
第22図　18類土器（3）



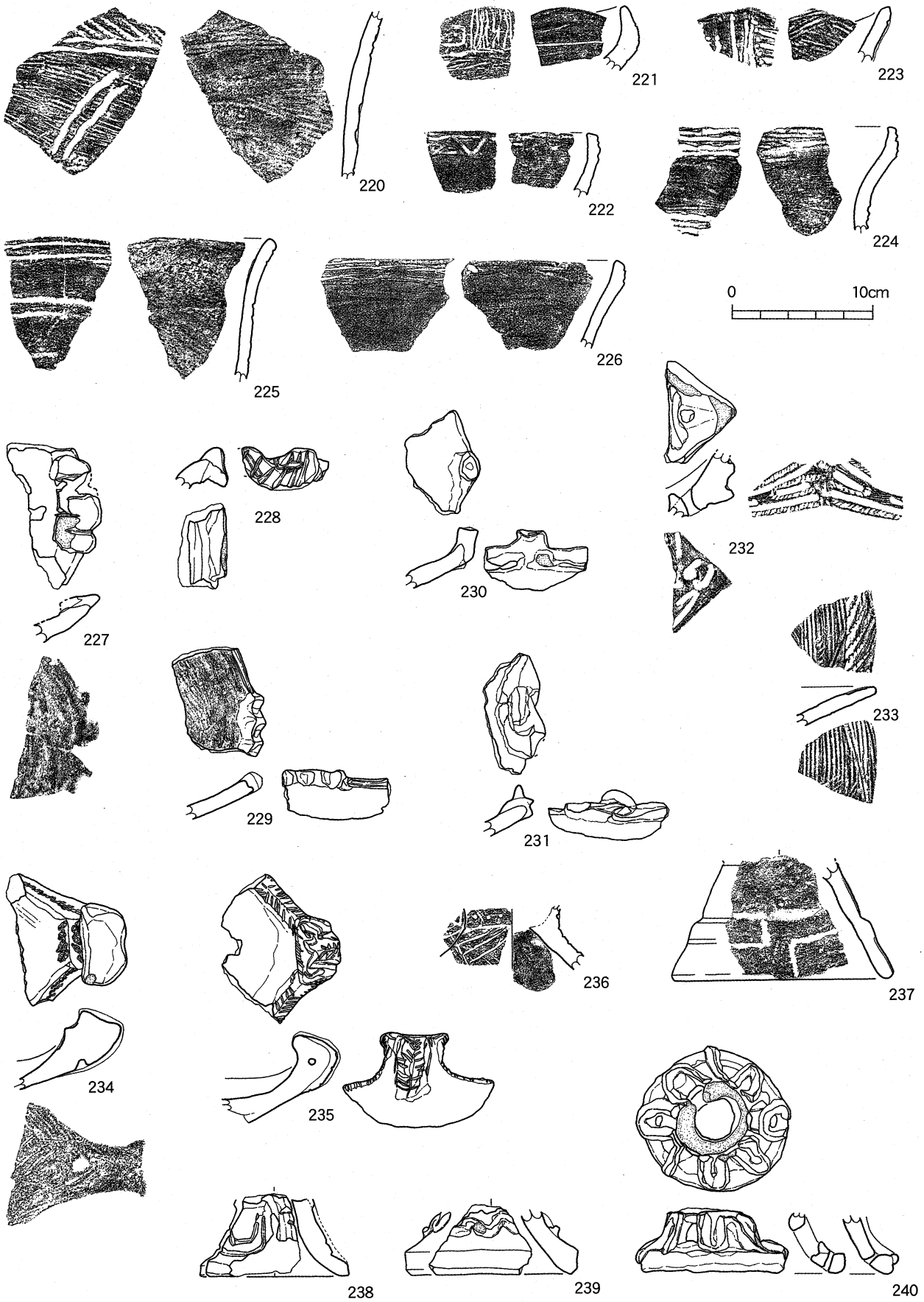
第23図　19類土器（1）



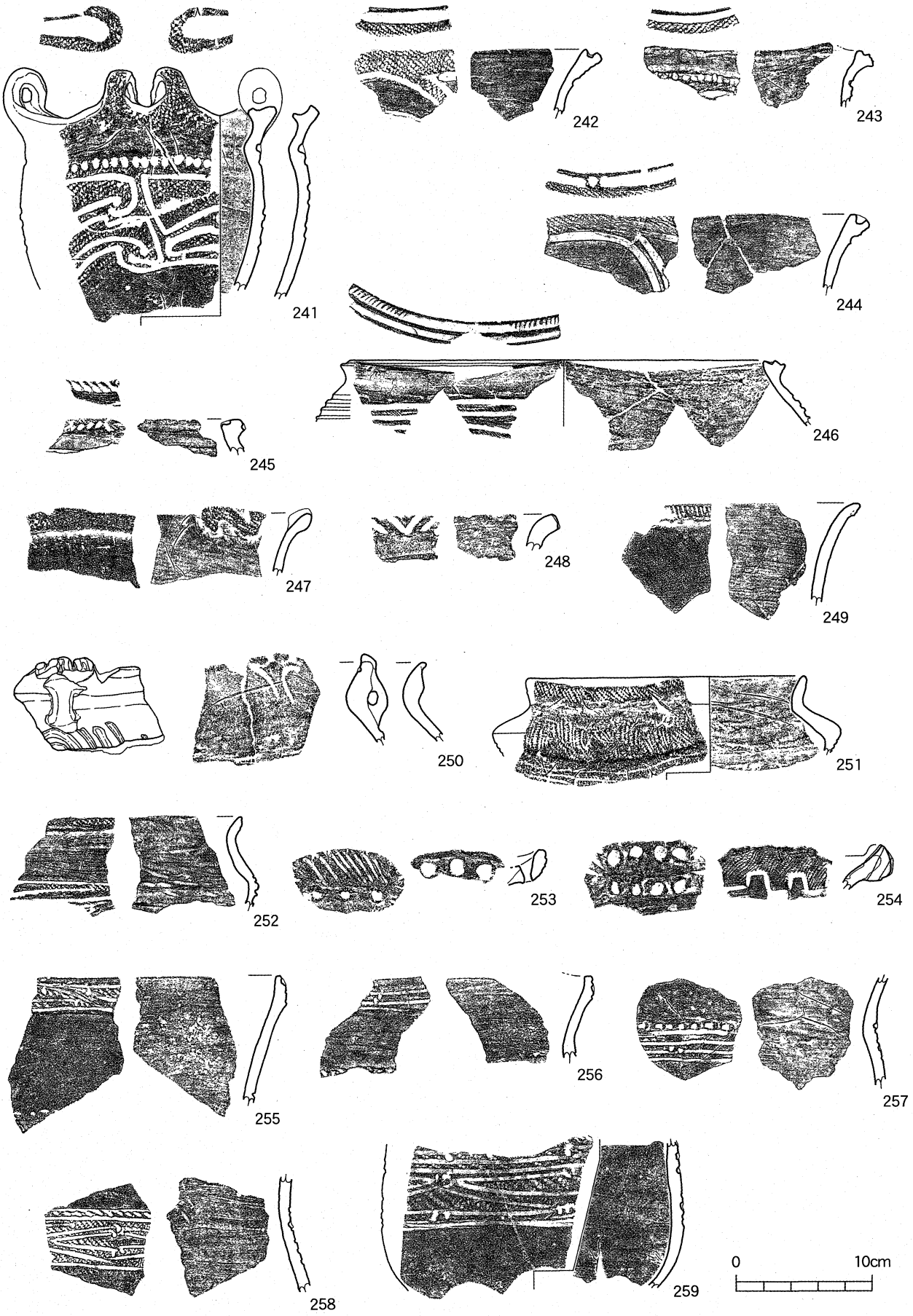
第24図　19類土器（2）



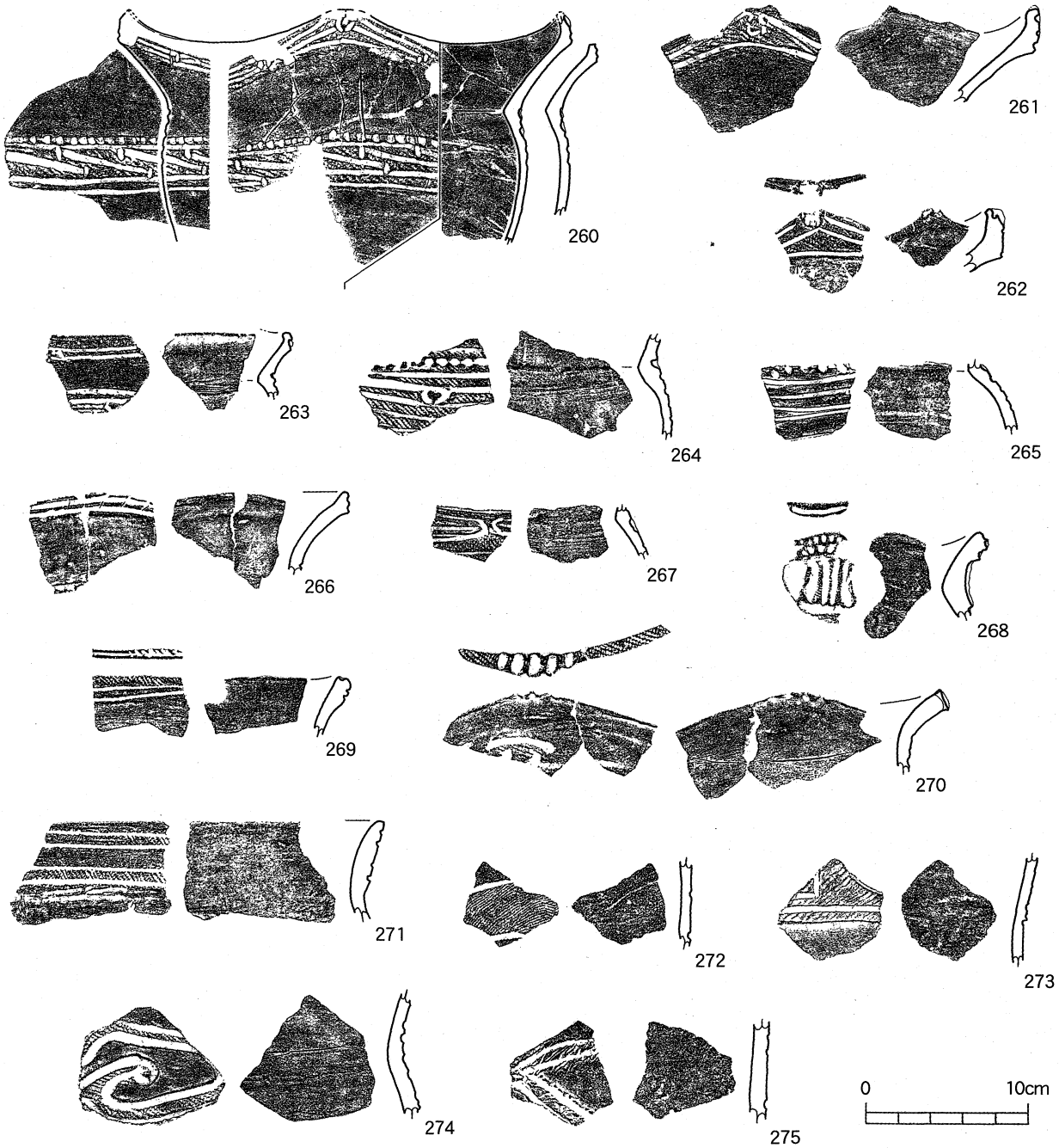
第25図　19～22類土器



第26図　22・23類土器


241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
0
10cm

第27図　24類土器（1）



第28図　24類土器（2）

f類（266・267）：口縁部が緩やかに立ち上がり、口縁部外面に２本の沈線文を巡らせ、胴部に「X」字状の刺突文を施すものである。

g類（269・271）：外反し、やや肥厚する口縁部に磨消縄文を施すものである。内外面ともにミガキ調整を行う。外面に赤色顔料が認められる。

h類（268・270）：ａ～ｇ類に含まれない口縁部を一括した。

i類（272～275）：磨消縄文が施される胴部を一括した。

25 類土器（第29～32図　276～328）

内外面ともにミガキまたは丁寧なナデ調整を行い、器壁が厚手のものである。主に口縁部が外傾し、胴部が張る器形を呈する。器形や文様により、８類に細分した。

ａ類（276～287）：口縁部が無文のもの。胴部に沈線文や凹線文を巡らせるものや施文されるものもある。

ｂ類（288～300）：口縁部に凹線文を巡らせ、内面に段を有するもの。凹点文や逆「U」字状凹線文を付加するものもある。口唇部は平坦なものと丸みをもつものが認められる。凹線の施文が浅いものもある。

ｃ類（301～309）：口縁部が凹線文を巡らせ、内面に段をもたないもの。ｂ類同様、凹点文や逆「U」字状凹線文を付加するものもある。

ｄ類（310～313）：口縁部に沈線文を巡らせるもの。

ｅ類（314・315）：口縁端部が肥厚し、凹線文や沈線文がみられないもの。

ｆ類（316・317）：口縁部が内湾し、無文のもの。

ｇ類（318～326）：胴部を一括した。凹線文を巡らせるだけのものや沈線文や連点文、逆「U」字状の凹線文を付加するものもある。

ｈ類（327・328）：外傾する口縁部からそのまま底部に至る、砲弾形を呈するもの。

26 類土器（第32図　329～336）

口縁部が「く」字状に屈曲し、屈曲部上位に沈線文や凹線文を数条巡らせるもの。口縁部形態には直行するものと内傾するものとが認められる。凹線文間は稜線状となる。胴部に数条の沈線文を巡らせるものや浅鉢形を呈するものも認められる。

27 類土器（第33～35図　337～381）

後期に属すると考えられる底部を一括した。器形や底部圧痕の有無などにより、６類に細分した。

ａ類（337～342）：平底で、底部圧痕が認められないもの。

ｂ類（343～359）：平底で、底部圧痕が認められるもの。底部圧痕には編物や木の葉、貝殻条痕がある。なお、底部圧痕をナデ消すものもある。

ｃ類（360～365）：上げ底、または脚台をもつもの。

ｄ類（366・367）：ａ～ｃ類に含まれると考えられるもので、製作技法が分かるもの。

ｅ類（368～376）：内外面にミガキ調整または丁寧なナデ調整を行い、平底や小平底、上げ底を呈するもの。器壁が厚く、重量感がある。

ｆ類（377～381）：内外面にミガキ調整または丁寧なナデ調整を行い、平底や上げ底を呈するもの。ｅ類よりも器壁が薄く、平べったい感がある。

28 類土器（第36図　382～401）

晩期に属すると考えられるもので、器面調整により、３類に細分した。

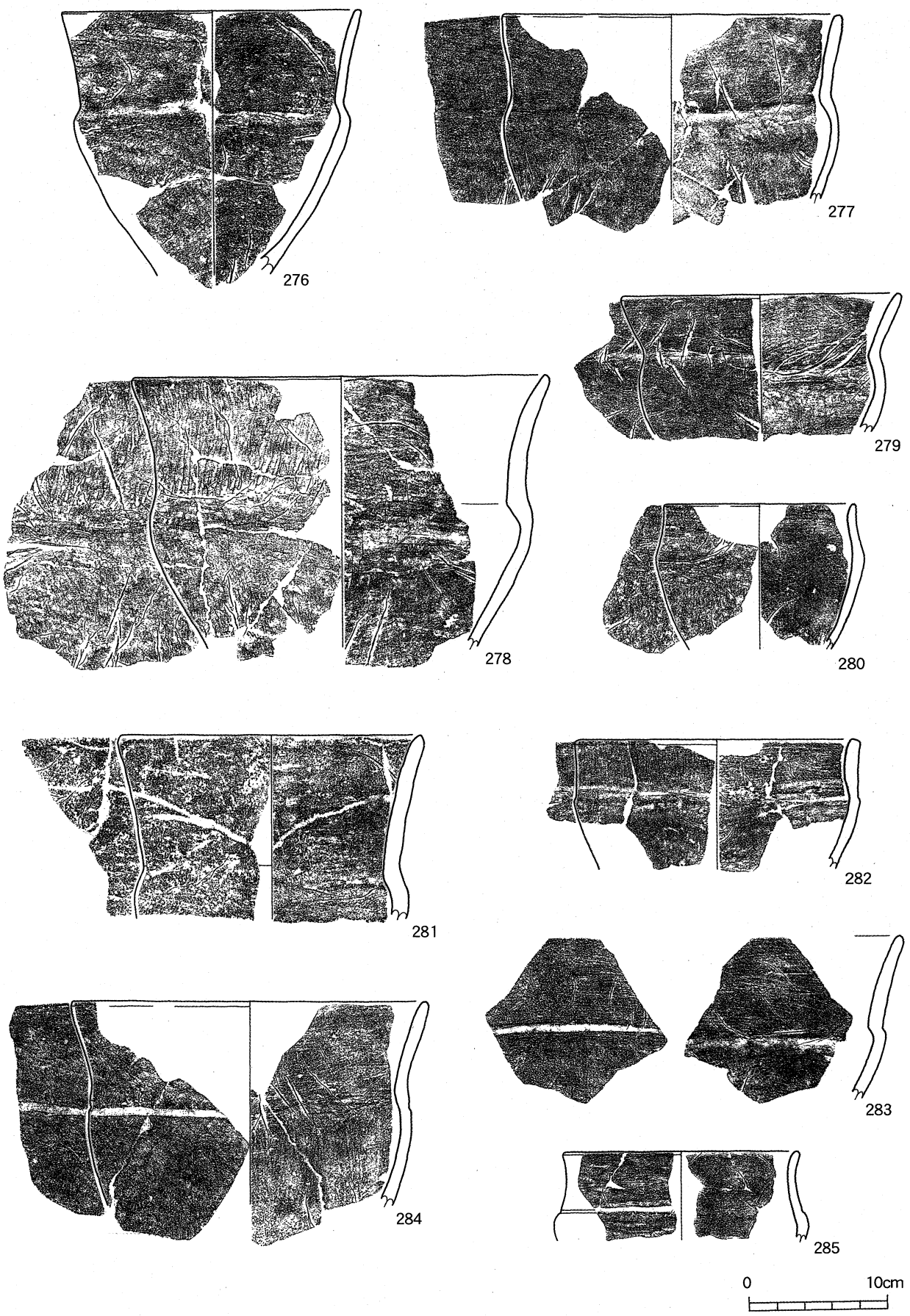
ａ類（382～390）：内外面ともに条痕調整やナデ調整を行うもので、深鉢形を呈する。口縁端部が肥厚するものや口縁端部に突帯を巡らせるものも認められる。底部は張り出しをもつ。

ｂ類（391～396）：胴～底部外面に組織痕が認められるもの。内面はミガキまたは丁寧なナデ調整を行う。組織痕には網目や編布がみられる。

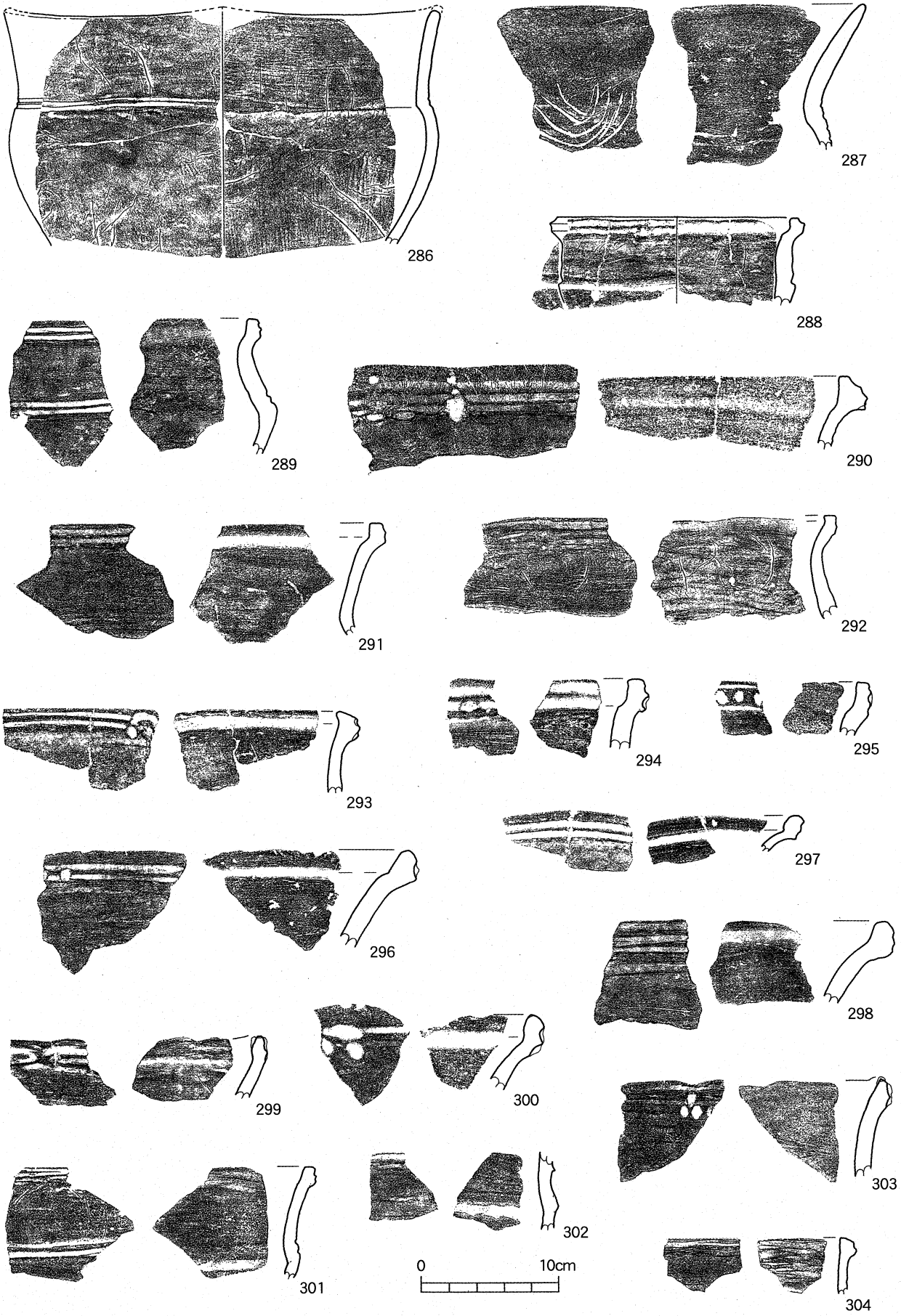
ｃ類（397～401）：内外面ともにミガキ調整を行うもので、浅鉢形を呈する。

29 類土器（第36・37図　402～405）

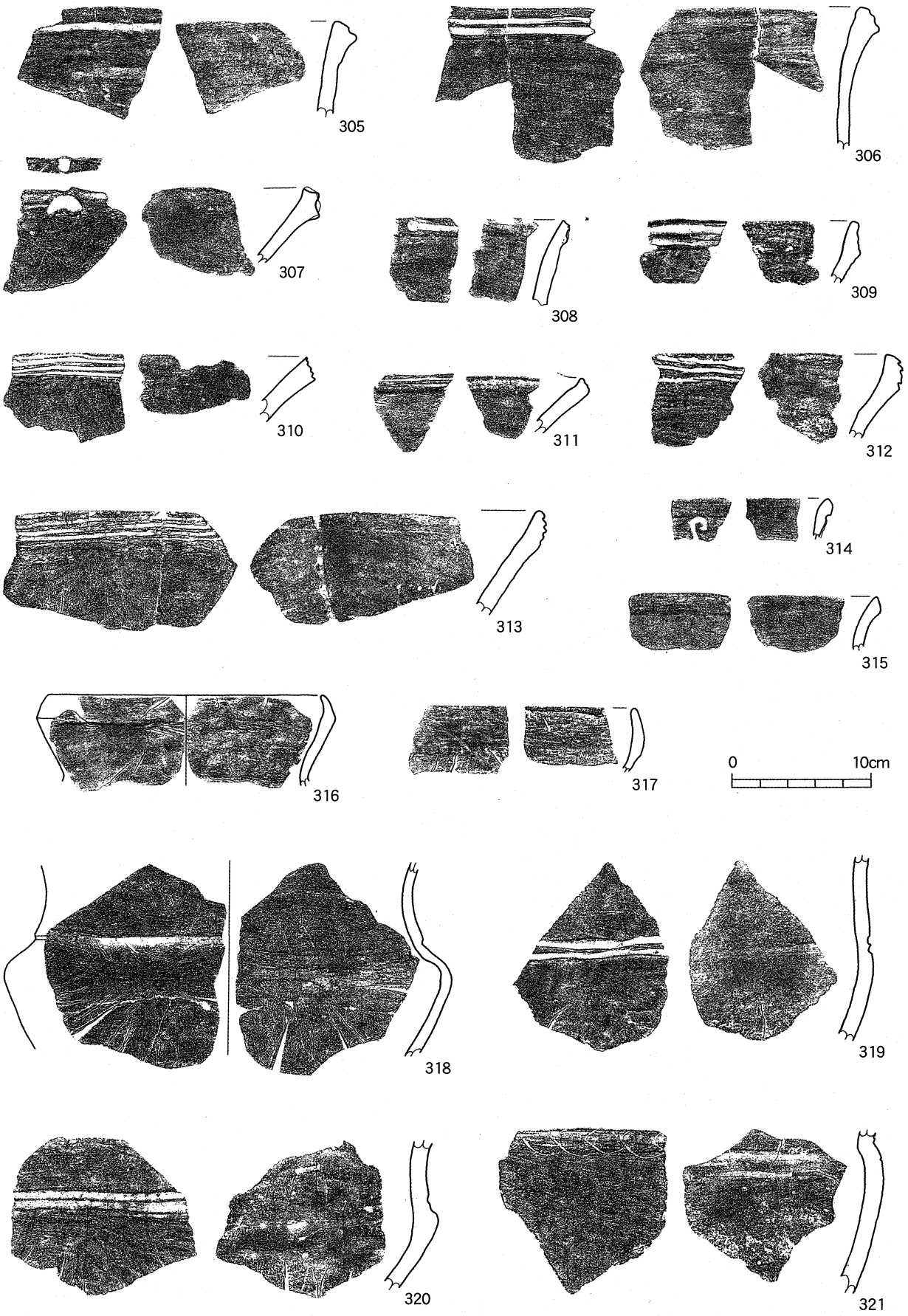
口縁端部と胴部屈曲部に刻目突帯を巡らせるもの。口縁端部のみに施すものもある。突帯は断面三角形を呈している。



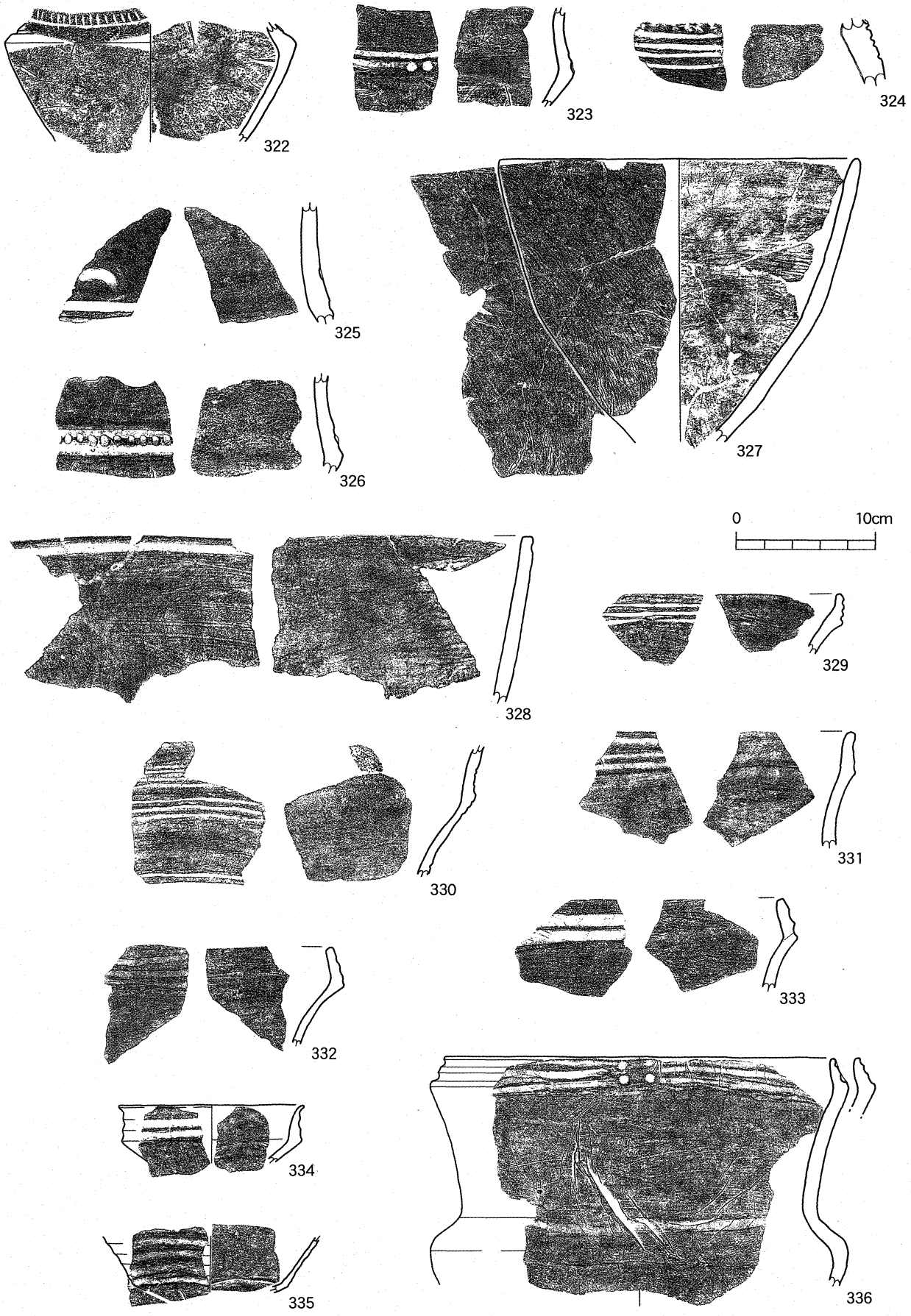
第29図　25類土器（1）


286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
0
10cm

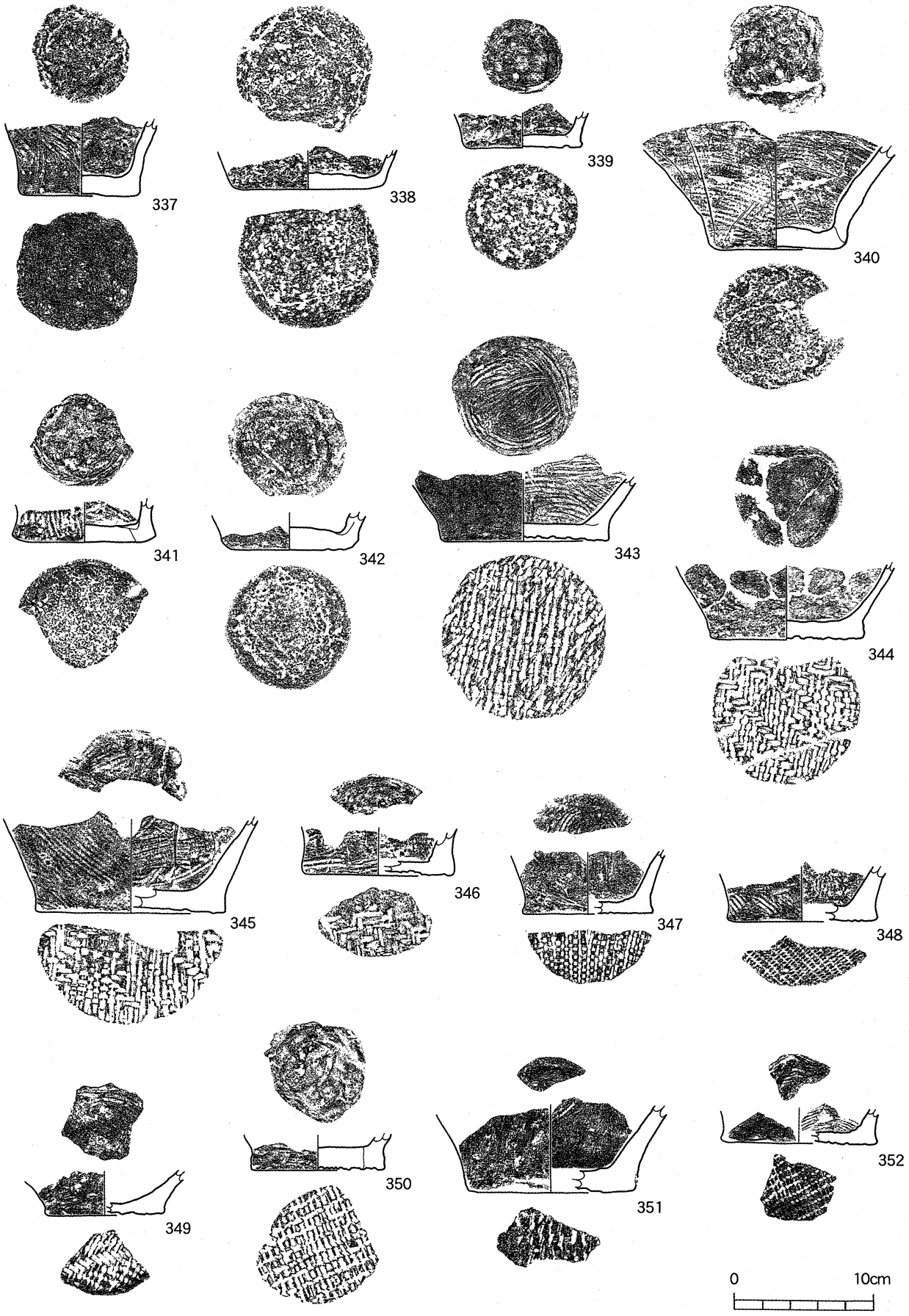
第30図　25類土器（2）


305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
0
10cm
318
319
320
321

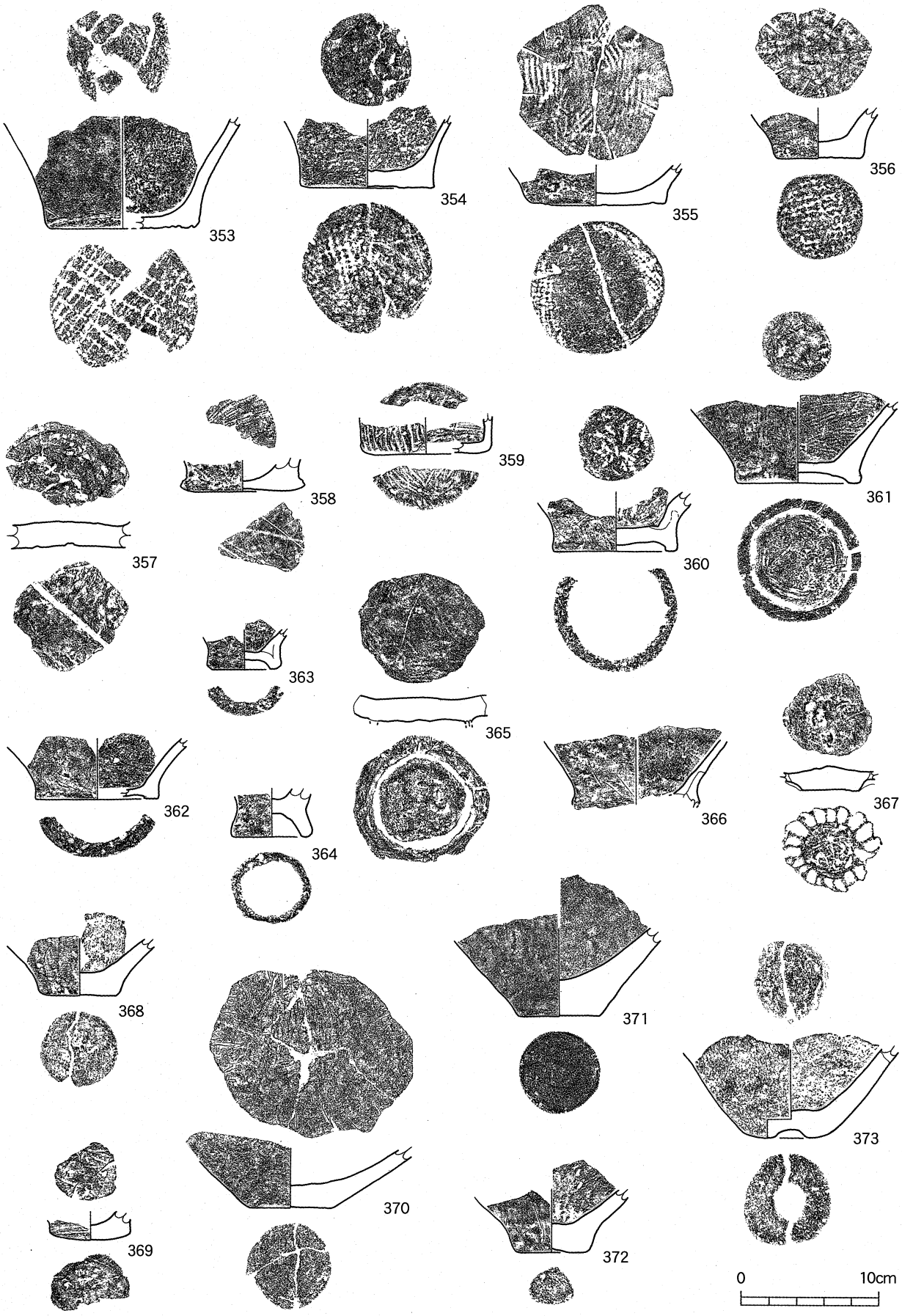
第31図　25類土器（3）



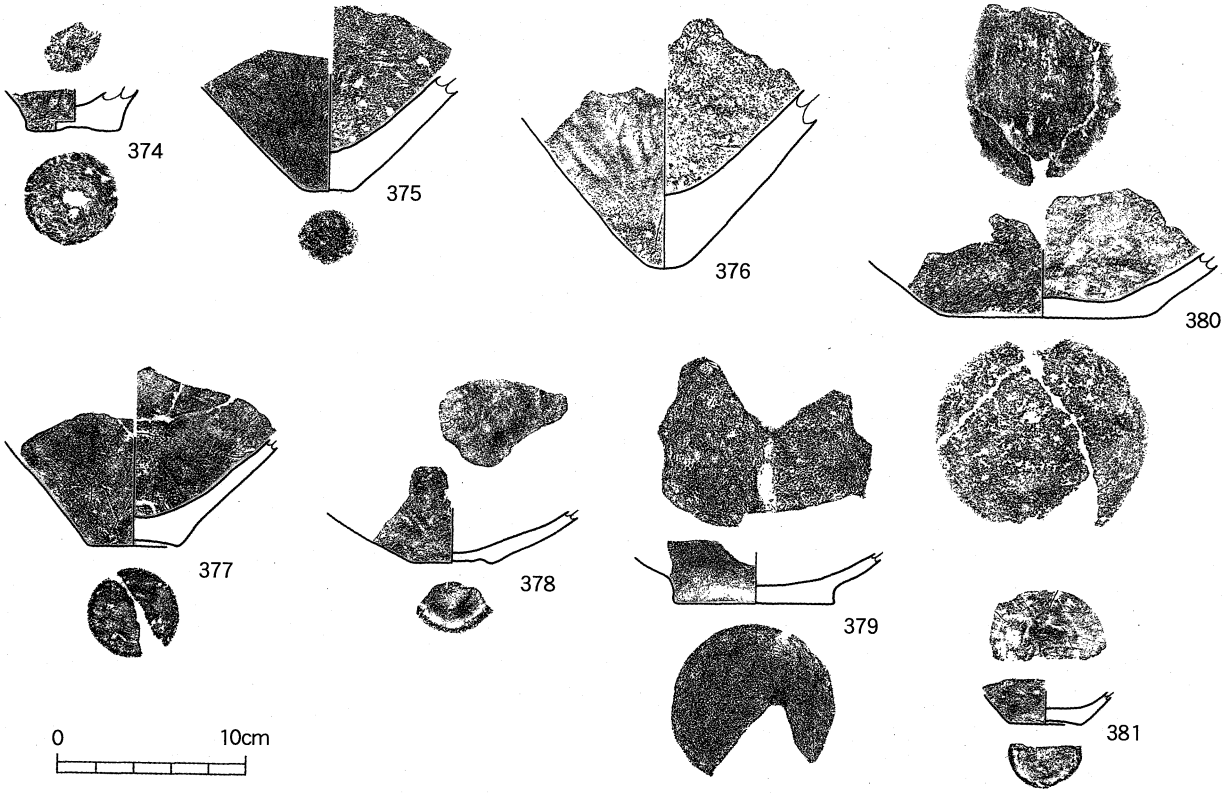
第32図　25・26類土器


337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
0
10cm

第33図　27類土器（1）


353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
0
10cm

第34図　27類土器（2）



第35図　27類土器（3）

30 類土器（第37図　406～409）

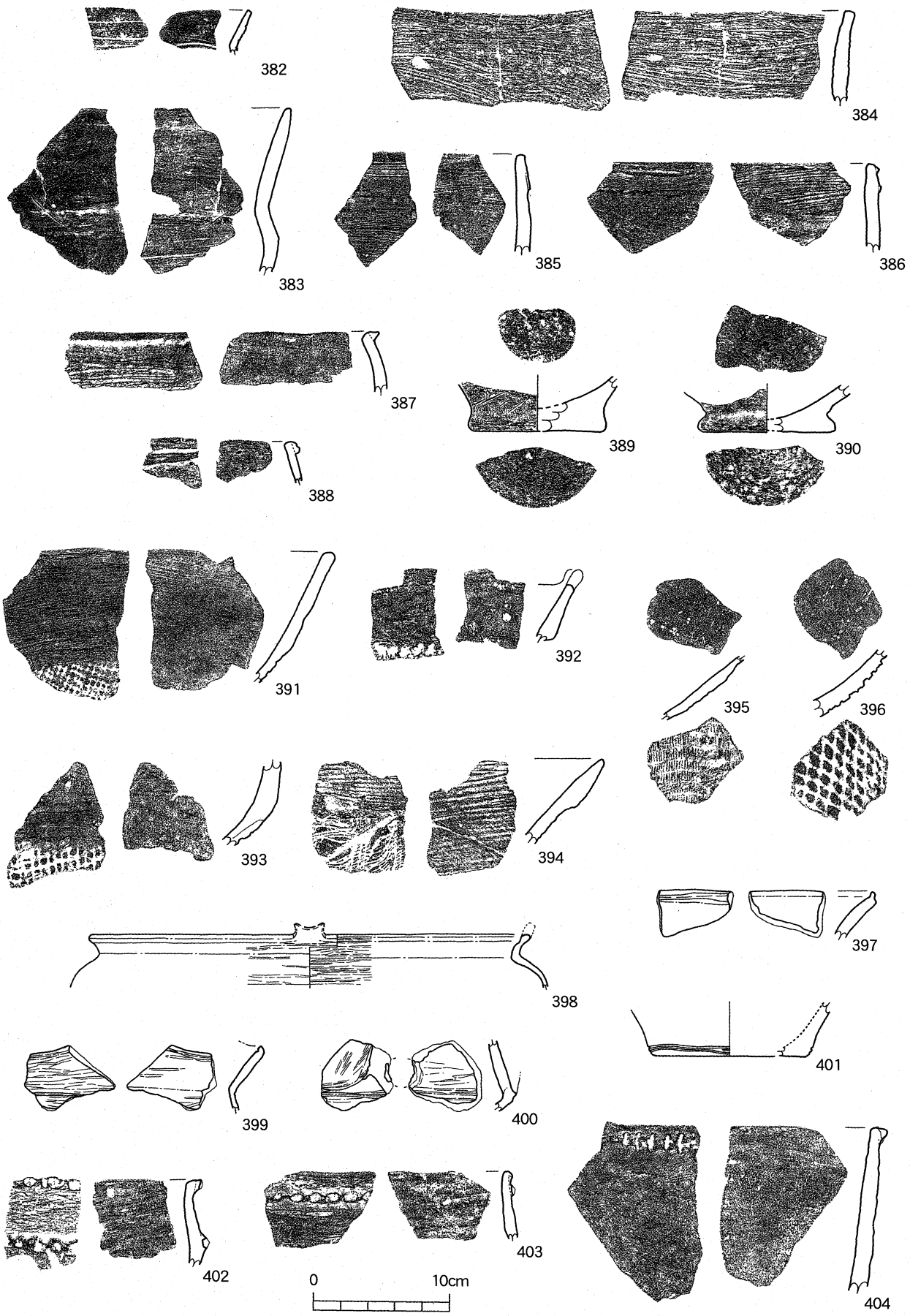
型式不明の土器を一括したものである。

円盤状土製品（第37図　410～426）

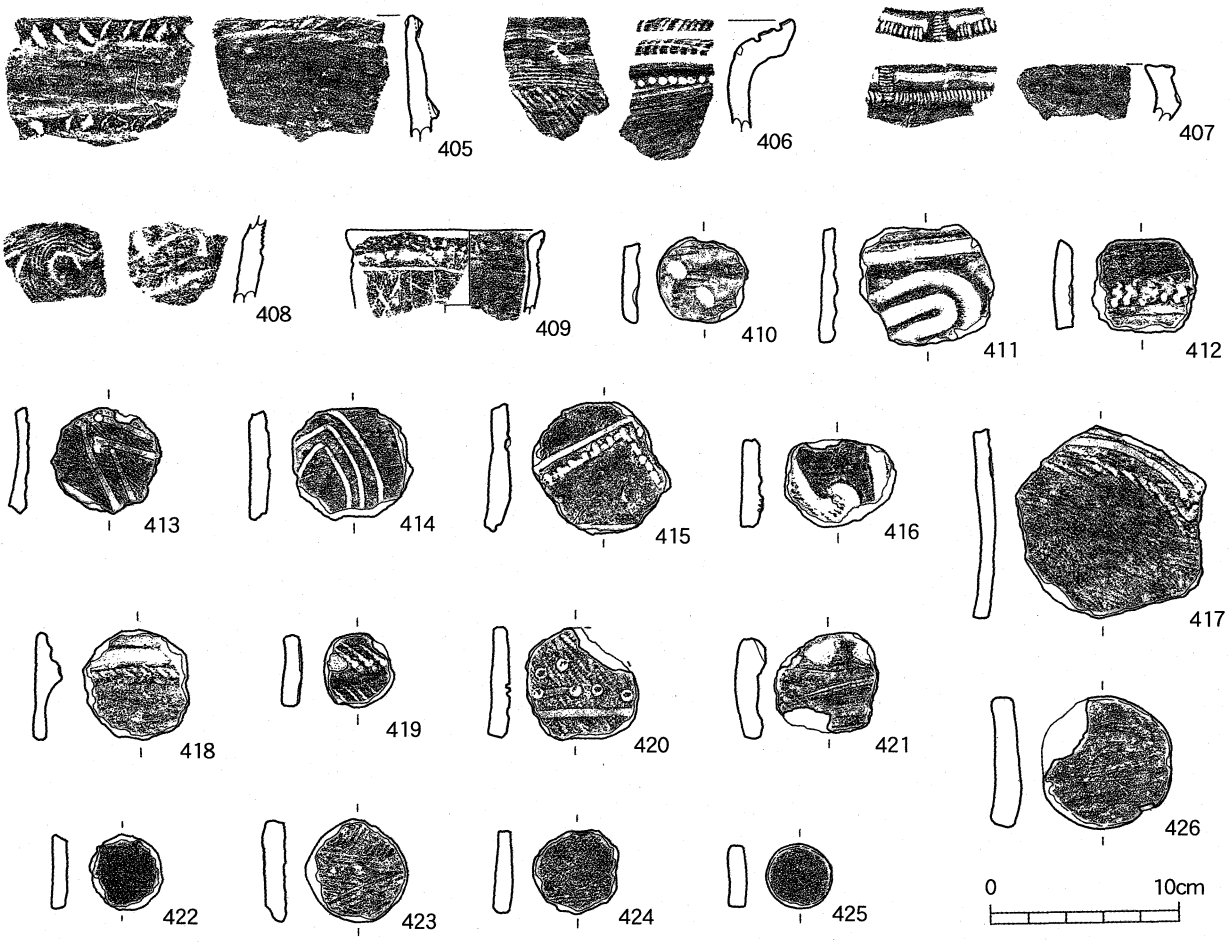
土器片を円形に加工したものである。周縁部を打欠いただけのものが多いが、側面を面取りしたものも認められる。15～19・24・25・29類土器が利用されている。

第１表　円盤状土製品観察表

挿図	報No.	地区	層	長径(cm)	短径(cm)	重量(g)	調整		胎土						備考
							外面	内面	石/長	角/輝	雲母	白礫	赤礫	他	
37	410	C	3b	4.0	3.8	16.8	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					側面打欠　凹線文土器
	411	C	3b	4.5	4.4	22.9	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○			○		側面打欠　凹線文土器
	412	2T	3a	5.4	5.4	38.3	ナデ	ヨコナデ	○		○				側面打欠（一部面取）　凹線文土器（口縁部）
	413	C	3b	7.0	6.8	70.5	粗いヨコナデ	粗いヨコナデ	○	○	○				側面打欠　指宿式
	414	C	3	4.8	4.5	20.4	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			側面打欠　指宿式
	415	C	3b	5.7	5.6	26.6	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		側面打欠　指宿式
	416	C	3	6.3	5.9	51.2	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○				側面打欠　擬似縄文土器
	417	B	3b	7.2	7.0	65.2	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○				側面打欠　市来式
	418	B	3	5.4	4.9	36.3	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○		○		側面打欠　市来式
	419	18T	3a	5.9	4.7	32.4	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		側面打欠（一部面取）　丸尾式
	420	C	3b	6.0	5.9	42.1	ナデ	ナデ	○	○	○		○		側面打欠　磨消縄文土器
	421	B	3b	5.4	5.3	40.5	粗いヨコナデ	ヨコナデ	○	○					側面打欠　刻目突帯文土器
	422	C	3b	5.8	5.5	33.6	丁寧なナデ	ヨコミガキ	○		○				側面打欠　晩期土器?
	423	C	3b	3.9	3.7	16.8	貝条	貝条	○		○				側面打欠　後期土器？
	424	C	3	7.0	6.4	46.8	ナデ	ヨコナデ	○		○				側面打欠　晩期土器？
	425	B	3b	3.4	3.4	12.0	ナデ一部ミガキ	ナデ	○	○			○		側面丁寧な面取　中岳式？
	426	C	3	10.2	9.8	99.9	ヨコミガキ	ナデ	○	○		○			側面打欠　中岳式



第36図　28～29類土器



第37図　29・30類土器、円盤状土製品

第２表　土器観察表（1）

挿図	No.	地区	層	分類	色調 外面	色調 内面	調整 外面	調整 内面	胎土 石/長	胎土 角/輝	胎土 雲母	胎土 白礫	胎土 赤礫	胎土 他	備考
8	1	A	7	1	明黄褐(10YR7/6)	黒(2.5Y2/1)	ヨコ条痕	ヨコ・ナナメケズリ	○	○					外面スス付着　口縁端部にタテ貝殻刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	2	A	7	1	明黄褐(10YR7/6)	明黄褐(10YR7/6)	ヨコ・ナナメ貝条	ナデ・ナナメケズリ	○	○			○		穿孔(未貫通)　口縁端部にタテ貝殻刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	3	A	7	2	オリーブ黒(5Y3/1)	浅黄(2.5Y8/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコナデ	○	○			○		外面にナナメ貝殻刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	4	A	7	2	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR7/2)	ヨコ・ナナメ貝条	ナナメ貝条・タテケズリ	○	○			○		口径12.8cm　口縁端部にナナメ貝殻刺突文
	5	A	7	2	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(7.5YR6/6)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ・ナナメケズリ	○	○			○		外面スス付着　口縁端部にナナメ刻み
	6	A	7	2	浅黄橙(10YR8/4)	浅黄橙(10YR8/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ・ナナメケズリ	○	○			○		口縁端部に幅広の刻み
	7	A	7	2	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい黄橙(10YR6/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ・タテケズリ	○	○		○	○		外面スス付着　口縁端部にナナメ貝殻刺突文
	8	A	7	2	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(7.5YR7/6)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ・ナナメケズリ	○	○		○			口縁端部に幅広の刻み
	9	A	7	2	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(7.5YR6/6)	ヨコ貝条	ナデ・ナナメケズリ	○	○		○	○		口縁端部にナナメ貝殻刺突文
	10	A	7	2	橙(5YR6/6)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ナナメケズリ	○	○		○	○		口縁端部にナナメ貝殻刺突文
	11	A	7	2	黄橙(10YR8/6)	黄橙(10YR8/6)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ・ナナメケズリ	○	○		○	○		口縁端部に２段の幅広刻み
	12	A	7	2	黄褐(2.5Y5/3)	浅黄(2.5Y7/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ貝条・ナナメケズリ	○	○					口径10.6cm　口縁端部に２段の貝殻刺突文
	13	A	7	2	黒褐(10YR3/1)	明褐(7.5YR5/6)	ヨコ・ナナメ貝条	マメツにより不明	○	○		○	○		外面スス付着　口縁端部に２段の大きな刻み
	14	23T	7a	2	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	胴：ナナメ・ヨコ貝条 底：ナデ	ナデ	○	○		○			角筒形土器
	15	A	7	2	橙(7.5YR6/6)	にぶい黄橙(10YR6/4)	胴：ナナメ貝条 底：貝条	ナナメ・ヨコ貝条	○	○			○		内面炭化物付着　底径14.6cm
	16	A	7	2	橙(5YR6/6)	橙(7.5YR6/6)	胴：ヨコ貝条　底：ナデ	貝条	○	○		○	○		底径10.4cm
	17	A	7	2	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	胴：ナナメ貝条 底：ナデ	貝条	○	○		○			底径15.2cm
	18	A	5	2	浅黄(2.5Y7/4)	浅黄橙(10YR8/4)	胴：ヨコ・ナナメ貝条 底：ナデ	ナデ	○	○		○	○		底径24.8cm　８と同一個体

第Ⅲ章　まとめにかえて

1　遺構

遺構は集石遺構が８基検出された。１号集石のそばから前平式土器口縁部片が出土していることや、遺構検出層であるＡ地区のⅦ層からは前平式土器が多く出土していることなどから、１～３号集石は前平式期に位置づけられる可能性が高い。

４・６～８号集石は、その検出層であるＡ地区のⅢ層では晩期土器、特に口縁端部が肥厚する深鉢形土器や組織痕土器が認められることから、黒川式期に位置づけられる可能性が高い。

2　土器

家野遺跡で出土した土器を既存の型式・タイプにあてはめると、以下のとおりである。

１類：岩本タイプ（長野1984）・岩本式土器（新東1989）　２類：前平式土器　３類：加栗山タイプ（長野1984）・加栗山式土器（前迫1983）　４類：吉田式土器　５類：加栗山式または吉田式の底部　６類：下剥峯式土器　７類：桑ノ丸式土器　８類：押型文土器　９類：塞ノ神Aa式土器　10類：曽畑式土器　11類：深浦式土器　12類：春日式土器　13類：協和式土器　14類：南福寺式土器　15類：阿高式系土器・岩崎式土器・宮ノ前式土器（新東1988）　16類：指宿式土器　17類：擬似縄文土器　18類：市来式土器　19類：丸尾式土器（前迫1992）　20類：草野式土器　21類：納屋向タイプ（前迫1992）　22類：納曽式土器　23類：台付皿形土器　24類：磨消縄文土器　25類：中岳式土器（河口1980）　26類：三万田式・鳥井原式・御領式土器　27類：後期底部一括　28類：入佐式～黒川式土器　29類：夜臼式土器　30類：型式不明土器

16類の指宿式のうち、ａ類とした口唇部に沈線文を施すものは中原ＶＡ類タイプ（水ノ江1993）、17類の擬似縄文土器のうち、二枚貝による貝殻擬似縄文を施すものは中原ⅣＢ類タイプ（水ノ江1993）である。

24類の磨消縄文土器のうち、ａ類は中原ⅣＡ類タイプ（水ノ江1993）、ｂ類は鐘崎式、ｃ類は北久根山式、ｄ類は辛川式、ｅ類は西平式、ｆ類は太郎迫式である。

25類の中岳式のうち、ａ・ｂ類は中岳Ⅰ式、ｃ～ｅ類は中岳Ⅱ式である。また、ｈ類とした砲弾形を呈するものは従来の型式概念にあてはまらないものの、胎土・色調などがａ～ｇ類に類似していることから、中岳式の器種の1つと考えられる。

27類の後期底部一括のうち、ａ～ｄ類は阿高式系土器・指宿式・市来式・丸尾式に、ｅ類は中岳式に、ｆ類は鐘崎式～太郎迫式に伴う可能性が高い。

家野遺跡では縄文早期後半から中期後半にかけて出土量が少なくなるものの、早期から晩期にかけての各型式が認められることから、ほぼ継続的にこの地が利用されてきたことが分かる。そのなかでも、中期末から後期にかけての資料が多く、本遺跡の中心となる時期をなす。

また、縄文後期の遺物がＢ・Ｃ地区のような狭い調査範囲から多量に出土していることは特徴的であろう。一方、前平式を中心とする早期土器と黒川式を中心とする晩期土器がＡ地区から認められるというように、後期土器と分布域が分かれていることは興味深い。

以上、縄文土器について触れてきたが、当然のことながら家野遺跡からは土器だけではなく、石器も数多く出土している。しかし、膨大な遺物量と限られた整理期間のため、まずは多種多様な土器についてしっかりとした分類・選別を行い、なるべく多くの資料を掲載することを優先した。そのため、石器については今回報告することができなかった。機会をあらためて報告を行いたいと思う。

（引用・参考文献）

河口貞徳　1980 『中岳洞穴』末吉町教育委員会

新東晃一　1988 「縄文土器－九州地方南九州（２）－」『考古学ジャーナル』296

新東晃一　1989 「早期九州貝殻文系土器様式」『縄文土器大観』１

長野眞一　1984 「第Ⅴ章まとめ」『上祓川遺跡群』鹿屋市埋蔵文化財発掘調査報告書（１）

前迫亮一　1992 「異系統土器文化の一接点」『南九州縄文通信』６

前迫亮一　1993 「倉園Ｂ遺跡の再検討Ⅰ」『南九州縄文通信』７

水ノ江和同　1993 「九州の縁帯文土器―九州における縄文後期前・中葉土器研究の現状と課題」『古文化談叢』30（上）

第３表　土器観察表（2）

挿図	No.	地区	層	分類	色調 外面	色調 内面	調整 外面	調整 内面	胎土 石/長	胎土 角/輝	胎土 雲母	胎土 白礫	胎土 赤礫	胎土 他	備考
9	19	23T	7a	3	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ナナメ貝条	ナナメケズリ	○	○			○		外面スス付着
	20	A	7	4	にぶい褐(7.5YR5/4)	橙(7.5YR6/6)	ナデ	ナデ	○	○		○			
	21	23T	7a	4	にぶい橙(5YR6/4)	明赤褐(5YR5/6)	ナデ	ナデ	○	○					
	22	A	7	4	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	ナデ	丁寧なヨコナデ	○	○					外面スス付着
	23	A	7	4	にぶい黄(2.5Y6/3)	浅黄橙(10YR8/4)	胴：貝殻押引文 底：ナデ	ナデ	○	○			○		内面スス付着　底径10.0cm
	24	A	7	5	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	胴：ナデ　底：ナデ	ナデ	○	○			○		底径10.8cm
	25	A	7	6	橙(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR6/4)	ナデ	タテミガキ	○	○		○	○		底径20.0cm
	26	A	7	7	浅黄(2.5Y7/3)	浅黄(2.5Y7/3)	ナデ	ナデ	○	○	○				
	27	15T	7a	7	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナデ	丁寧なヨコナデ	○	○	○				
	28	15T	7a	7	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナデ	ナナメミガキ	○	○	○				外面スス付着　27と同一個体
	29	A	7	8	橙(5YR6/6)	橙(7.5YR7/6)	ナデ	ナデ	○	○	○		○		補修孔あり　外・内：楕円押形文
	30	A	7	8	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ	ナナメナデ	○	○			○		口径15.0cm　外：タテ後ヨコの条線押形文　内：原体条痕＋条線押形文
	31	A	7	8	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ	ナデ・ヨコケズリ	○	○			○		外・内：山形押形文？
	32	A	7	8	にぶい橙(7.5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコミガキ	○	○	○		○		連点状の押形文
	33	A	7	8	橙(5YR6/6)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ナデ	丁寧なナデ	○	○	○				縄文
	34	A	7	8	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	胴：ナデ　底：ミガキ	ミガキ	○	○			○		底径8.0cm　撚糸文
	35	6T	7	9	にぶい橙(7.5YR7/4)	灰黄(2.5Y6/2)	タテナデ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着
10	36	9T	7a	10	にぶい黄橙(10YR6/3)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着
	37	A	3b	11	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着
	38	11T	2	11	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着
	39	11T	2	12	浅黄(2.5Y7/3)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○				外面スス付着
	40	C	3	13	にぶい黄褐(10YR5/3)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			外面スス付着
	41	C	3	13	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナナメ貝条後ヨコナデ	ナナメ貝条	○	○	○				内面スス付着
	42	C	3b	14	明赤褐(5YR5/6)	明赤褐(5YR5/6)	ナデ	工具によるヨコナデ	○				○	滑石	
11	43	4T	3	15a	にぶい赤褐(2.5YR4/3)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条後ヨコナデ・ 粗いヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ・ タテ貝条後ナデ	○	○		○			外面スス付着　補修孔あり　口径17.8cm 内面に粘土貼付による補修痕あり
	44	4T	3a	15a	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着
	45	2T	3b	15a	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR7/3)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着　口唇部に突起（凹みあり）
	46	4T	3a	15a	橙(7.5YR7/6)	明黄褐(2.5Y6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ヨコナデ	○	○					外面スス付着　波頂部直下にナナメ突起
	47	B	3b	15a	黄褐(2.5Y5/6)	明黄褐(2.5Y6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			内外面スス付着　２又状突起あり
	48	2T	3a	15a	黒褐(7.5YR3/1)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ナナメ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○					
	49	4T	3a	15c	灰赤(2.5YR5/2)	橙(2.5YR6/6)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着
	50	2T	3a	15a	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ナナメ貝条後ナデ	ヨコ・ナナメ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着
	51	C	3b	15a	橙(7.5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○			○		外面スス付着　口径8.4cm
	52	B	3b	15a	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条	○	○		○			クチバシ状突起　口縁部上端に刻み
	53	2T	3a	15a	にぶい赤褐(2.5YR5/3)	明赤褐(2.5YR5/6)	ナナメ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			外面スス付着　渦巻状突起
	54	4T	3a	15b	にぶい橙(5YR6/3)	にぶい褐(7.5YR6/3)	ヨコナデ	ヨコナデ・ヨコ貝条	○	○					山形突起あり
	55	C	3b	15b	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条後ナデ	○	○					２又状工具による凹点文
12	56	2T	3a	15b	灰褐(5YR5/2)	橙(2.5YR6/6)	ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○		○			外面スス付着　口径（16.0cm）　上段から下段へ押引状に凹点文を施文
	57	4T	3a	15b	にぶい黄橙(10YR6/4)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ナナメ貝条後ヨコナデ	ナナメ貝条後ナデ	○		○	○			内外面スス付着　口唇部に貝殻刺突文
	58	C	3	15b	オリーブ褐(2.5Y4/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			補修孔あり　凹線文間に半截竹管状工具による刺突文
	59	C	3	15b	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○				波頂部に縦位の刻目突帯
	60	4T	3a	15b	にぶい赤褐(2.5YR5/4)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着
	61	4T	3a	15b	灰褐(7.5YR4/2)	橙(5YR6/6)	ナナメ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○		○			外面スス付着
	62	B	3b	15c	橙(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着
	63	4T	3a	15c	黒褐(7.5YR3/1)	褐灰(7.5YR4/1)	ナナメ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面スス付着　口径21.4cm
	64	4T	3a	15c	にぶい黄橙(10YR7/3)	灰黄褐(10YR5/2)	ヨコ貝条・ナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○					外面スス付着　粘土貼付による小波状口縁
	65	4T	3a	15c	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコナデ	ナナメ貝条後ヨコナデ	○	○					内外面スス付着
	66	C	3	15c	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	粗いヨコナデ	ナナメ貝条	○	○					外面スス付着　半截竹管状工具による刺突文
	67	-	-	15c	明赤褐(2.5YR5/6)	橙(2.5YR6/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○					焼成前穿孔（２つ）あり
13	68	C	3	15c	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコ貝条後ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					
	69	C	3	15d	褐(7.5YR4/3)	にぶい赤褐(5YR5/3)	ナデ	ヨコナデ	○		○				外面スス付着
	70	B	3b	15d	橙(5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR7/3)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		
	71	C	3b	15d	橙(7.5YR6/6)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコ・ナナメ貝条後丁寧なナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○	○			口径29cm 凹線文間にヘラ状工具による細かい刺突文を施す箇所あり

第４表　土器観察表（3）

挿図	No.	地区	層	分類	色調		調整		胎土						備考
					外面	内面	外面	内面	石/長	角/輝	雲母	白礫	赤礫	他	
13	72	C	3	15d	橙(5YR6/6)	黒褐(7.5YR3/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			内外面スス付着
	73	C	3b	15d	にぶい橙(2.5YR6/3)	橙(2.5YR6/6)	胴：ヨコ貝条後ヨコナデ 底：網代底	胴：ヨコ貝条後ヨコナデ 底：ナデ	○	○					外面スス付着　底径10.1cm
	74	C	3b	15d	明赤褐(5YR5/6)	橙(7.5YR7/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○			○		外面スス付着
	75	C	3b	15d	黒(7.5YR2/1)	にぶい黄褐(10YR5/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○					口径26.0cm
14	76	C	3	15d	明赤褐(5YR5/6)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○		○	○		外面スス付着　波頂部に２列刻み
	77	B	3b	15e	にぶい橙(5YR6/3)	にぶい赤褐(5YR5/3)	ヨコ貝条	ヨコ条痕	○	○					外面スス付着
	78	C	3	15e	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条・ナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着
	79	C	3b	15e	灰褐(5YR5/2)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコ条痕後ナデ	○	○					
	80	C	3	15e	にぶい橙(7.5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ・ 板状工具によるナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			口径40.0cm　口唇部に貝殻刺突文 口縁部上端に貝殻腹頂押圧文あり
15	81	B	3b	15e	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナデ	ナナメ貝条	○	○					内外面スス付着
	82	C	3b	15e	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	丁寧なヨコ・ナナメナデ	胴：丁寧なヨコナデ 底：ナデ	○		○	○			外面スス付着 口径40.5cm　底径12.2cm
16	83	C	3b	16a	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(7.5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○	○		外面スス付着　大形の円孔
	84	2T	3a	16a	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○		○		外面スス付着
	85	C	3b	16a	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○				
	86	2T	3a	16a	にぶい橙(7.5YR7/4)	灰黄褐(10YR5/2)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○		○		端部内外に粘土紐貼付後沈線文
	87	C	3b	16a	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○		○	○	○		橋状把手あり　胴部内面に粘土貼付による補修痕あり(焼成前)
	88	2T	3a	16a	にぶい褐(7.5YR5/3)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着　１列の竹管文
	89	C	3	16a	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○			○		粘土貼付による肥厚
	90	B	3	16a	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			
	91	C	3	16a	褐(7.5YR4/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコ貝条後ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○					粘土貼付による肥厚
	92	B	3b	16a	浅黄橙(7.5YR8/4)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ナデ	○	○			○		粘土貼付による肥厚
	93	B	3	16a	にぶい褐(7.5YR6/3)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			波頂部内面に刻み
	94	C	3b	16b	橙(5YR6/6)	灰褐(7.5YR4/2)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○		○		口唇部に貝殻刺突文
	95	C	3b	16b	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					内外面スス付着
	96	C	3b	16b	橙(7.5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ナデ	○	○		○	○		
	97	C	3	16b	浅黄橙(10YR8/4)	浅黄橙(10YR8/4)	ナデ	丁寧なナデ	○	○					
	98	C	3b	16b	にぶい黄褐(10YR5/3)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ナデ	ナデ	○	○	○				外面スス付着
	99	-	-	16c	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			
	100	B	3b	16c	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ナデ	○		○				凹線文後突帯貼付
	101	-	-	16d	にぶい褐(7.5YR6/3)	橙(7.5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○		○		外面スス付着
	102	C	3b	16d	灰褐(5YR4/2)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条	○	○	○				外面スス付着　口径21.6cm
17	103	C	3b	16d	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○		○	○			
	104	C	3b	16d	にぶい褐(7.5YR5/3)	灰黄褐(10YR5/2)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○		○		内外面スス付着
	105	2T	3	16d	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○	○				口径27.4cm　波頂部に３列刻み
	106	C	3b	16d	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい褐(7.5YR6/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○	○	○		外面スス付着　波頂部に３列刻み
	107	C	3b	16d	明褐灰(7.5YR7/1)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○	○	○		外面スス付着
	108	C	3	16d	にぶい褐(7.5YR5/3)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			
	109	2T	3a	16d	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○		○		外面スス付着　口縁端部粘土紐貼付後円形刺突　凹線上に円形刺突文
	110	C	3b	16d	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコ貝条後ヨコナデ	ヨコ貝条	○		○				外面スス付着
	111	2T	3	16d	橙(7.5YR7/6)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○	○			外面スス付着
	112	B	-	16d	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコナデ	○		○	○			
	113	C	3b	16d	にぶい橙(7.5YR6/4)	灰褐(7.5YR5/2)	ナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○		○				内外面スス付着　口径16.4cm
	114	B	3b	16d	橙(5YR6/6)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			
	115	C	3	16e	黄橙(7.5YR7/8)	橙(7.5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			工具不明の刺突文
	116	B	3	16e	橙(5YR7/6)	浅黄橙(7.5YR8/6)	ヨコナデ	ヨコナデ・ヨコケズリ	○	○		○	○		
	117	19T	3a	16e	にぶい橙(7.5YR6/4)	浅黄橙(10YR8/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○					外面スス付着
	118	2T	3a	16f	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○	○			外面スス付着　竹管状工具による刺突文
	119	C	3b	16f	浅黄橙(10YR8/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○			○			内外面スス付着
	120	B	3	16f	にぶい黄橙(10YR7/2)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条	○	○					内面スス付着　波頂部に２列刻み
	121	18T	3a	16f	灰褐(7.5YR4/2)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○	○		
18	122	C	3b	16f	灰褐(7.5YR4/2)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○	○			外面スス付着
	123	C	3b	16g	灰褐(7.5YR4/2)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					
	124	B	3b	16g	褐(7.5YR4/3)	褐(7.5YR4/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					
	125	-	-	16g	橙(5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ貝条後ナデ	ナデ	○	○		○			
	126	C	3b	16g	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○					
	127	-	-	16g	にぶい赤褐(5YR4/4)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○					
	128	B	3b	16h	灰褐(7.5YR4/2)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			橋状把手に焼成前穿孔(２つ)
	129	B	-	16h	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコ貝条後ナデ	ナデ	○	○					クチバシ状突起あり
	130	C	3b	16h	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ナデ	○	○		○			橋状把手？あり
	131	2T	3	16i	灰黄褐(10YR5/2)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○	○	○				外面スス付着　粘土貼付による補修痕（焼成前）
	132	B	3	17	にぶい黄褐(10YR4/3)	にぶい黄褐(10YR4/3)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ条痕	○		○	○			内外面スス付着　口径22.4cm　凹線間に貝殻刺突文 口縁部上端に１条の突帯（突帯上に貝殻刺突文）
	133	B	3	17	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○		○				口径25.2cm　沈線間に貝殻刺突文
	134	C	3	17	橙(5YR6/8)	橙(5YR6/8)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ・ ユビオサエ痕残る	○	○	○	○			沈線間に貝殻刺突文
	135	B	3	17	橙(5YR6/6)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			凹線間に貝殻刺突文
	136	B	3	17	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR6/6)	ナデ	ナデ	○	○					肥厚部に貝殻腹縁押引文　凹線間に貝殻刺突文
	137	C	3	17	褐灰(10YR5/1)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条・ナデ	○	○			○		凹線文間に貝殻刺突文
	138	C	3	17	灰褐(7.5YR4/2)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○	○		沈線内に円形刺突文　口唇部に貝殻刺突文と凹線文
	139	2T	3a	17	褐灰(7.5YR4/1)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○		○	○	○		凹線間に貝殻刺突文　口縁部上端に１条の突帯（突帯上に貝殻刺突文）
19	140	A	3b	17	にぶい橙(5YR7/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ・ケズリ	○	○		○	○		沈線間に貝殻刺突文
	141	B	3b	17	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコナデ	○		○	○			凹線間に貝殻刺突文
	142	B	3b	17	にぶい赤褐(5YR5/4)	黒(10YR2/1)	ナデ	粗いナデ	○		○				内面スス付着　沈線間に刺突文
	143	B	3b	17	にぶい褐(7.5YR6/3)	黒(7.5YR2/1)	丁寧なヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○	○					沈線間に貝殻刺突文

第５表　土器観察表（4）

挿図	No.	地区	層	分類	色調		調整		胎土						備考
					外面	内面	外面	内面	石/長	角/輝	雲母	白礫	赤礫	他	
19	144	C	3b	17	褐灰(7.5YR4/1)	黒褐(7.5YR3/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○		○				沈線間に貝殻刺突文
	145	B	3	17	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条	○	○					凹線間に円形刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	146	－	－	17	にぶい褐(7.5YR6/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ナデ	ヨコナデ	○	○	○				内面ススト付着　凹線間に円形刺突文
	147	C	－	17	暗灰黄(2.5Y4/2)	暗灰黄(2.5Y4/2)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○	○			凹線間に刺突文
20	148	9T	－	18a	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい黄橙(10YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○				ナナメ貝殻刺突文
	149	C	3	18a	にぶい褐(7.5YR5/4)	にぶい黄褐(10YR5/3)	ナナメ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					内外面ススト付着　先端が３叉状の工具による刺突文
	150	C	3b	18a	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条	ヨコ・ナナメ貝条	○	○	○				貝殻腹縁押引文
	151	C	3	18a	にぶい橙(2.5YR6/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					ヘラ状工具による刺突文
	152	C	3	18a	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		半截竹管状工具による刺突文後２条沈線文
	153	B	3b	18a	にぶい褐(7.5YR5/3)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○		○			円文＋沈線文＋刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	154	C	3	18a	にぶい橙(7.5YR7/3)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコ貝条後一部ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			円形刺突文＋凹線文＋貝殻刺突文　口唇部に貝殻刺突文
	155	C	3b	18a	灰褐(5YR4/2)	橙(5YR7/6)	ナデ	ナデ	○	○		○	○		沈線文＋円形刺突文
	156	C	3b	18a	橙(5YR7/6)	明赤褐(5YR5/6)	ヨコ貝条後ヨコナデ	ヨコ貝条	○	○			○		沈線文＋貝殻刺突文　竹管状工具による刺突文(2ヶ所)
	157	C	3b	18a	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ナデ・ヨコ貝条	ヨコ貝条後ナデ	○	○					凹線文＋刺突文
	158	C	3b	18b	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコ貝条	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○	○			棒状工具による刺突文＋沈線文
	159	5T	3a	18b	にぶい橙(7.5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	粗いヨコナデ	○	○					外面ススト付着　凹線文＋貝殻刺突文
	160	C	3b	18b	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコ貝条後一部ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○				外面ススト付着　半截竹管状工具による刺突文
	161	B	3b	18b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後一部ナデ	ヨコ貝条	○	○		○			外面ススト付着　沈線文＋刺突文
	162	B	3b	18b	明赤褐(5YR5/6)	明赤褐(5YR5/6)	ヨコナデ・タテナデ	ヨコナデ・ナナメケズリ	○	○		○			口径25.0cm　沈線文＋刺突文
	163	B	3b	18b	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ナデ・ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○		○			外面ススト付着　凹線文＋刺突文（凹線文間に貝殻刺突文）
	164	B	3b	18b	橙(7.5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ナデ	ナデ	○		○	○			外面ススト付着　沈線文＋貝殻刺突文
	165	C	3b	18b	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条	○		○				外面ススト付着　沈線文
21	166	B	3b	18b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○		○				沈線文＋貝殻刺突文
	167	C	3b	18c	橙(5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR7/3)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			外面ススト付着　凹線文
	168	C	3	18c	にぶい赤褐(5YR5/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ・ナナメ貝条後ナデ	○	○					外面ススト付着　刺突文
	169	B	3b	18c	浅黄橙(7.5YR8/4)	黒(7.5YR2/1)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○						内外面ススト付着　貝殻刺突文
	170	C	3	18c	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/3)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					内外面ススト付着　口径24.6cm 刺突文、凹線文＋押引文　波頂部に刺突文
	171	C	3	18c	橙(5YR6/6)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○		○			外面ススト付着　貝殻刺突文＋刺突文　内面は押引連点文
	172	C	3b	18c	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○	○		○		外面ススト付着　口径(24.6)cm　凹線文＋貝殻刺突文
	173	B	3b	18c	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		外面ススト付着　補修孔あり　凹線文＋貝殻刺突文
	174	C	3	18c	黒褐(7.5YR3/1)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		外面ススト付着　凹線文＋貝殻刺突文　波頂部に刺突文
22	175	B	3b	18c	にぶい橙(5YR6/4)	浅黄橙(7.5YR8/6)	ヨコ貝条後ヨコナデ	ヨコ貝条	○	○					外面ススト付着　凹線文＋貝殻刺突文　クチバシ状突起あり 内面に「W」字状沈線文
	176	C	3b	18c	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○		○			外面ススト付着　口径28.4cm　凹線文＋貝殻刺突文
	177	B	3b	18c	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○		○				凹線文＋刺突文　内面に連点文
	178	B	3b	18c	灰褐(7.5YR4/2)	褐(7.5YR4/3)	板状工具ナデ後ナデ	板状工具によるナデ	○		○				外面ススト付着　沈線文＋刺突文　外面波頂部直下に「S」字状沈線
	179	C	3b	18c	褐(7.5YR4/3)	褐(7.5YR4/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条・ヨコナデ	○	○					外面ススト付着　凹線文＋刺突文　波頂部に粘土紐を巡らせる
	180	B	3b	18c	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○				凹線文＋刺突文　豚鼻状突起あり
	181	C	3b	18c	にぶい黄橙(10YR7/2)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					貝殻押引文
	182	C	3	18d	にぶい褐(7.5YR5/4)	にぶい褐(7.5YR5/4)	ナデ	ヨコナデ	○		○	○			外面ススト付着
23	183	C	3	19a	黒褐(7.5YR3/1)	橙(7.5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					２条のヨコ沈線文を付加
	184	C	3b	19a	にぶい褐(7.5YR5/3)	橙(7.5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			外面ススト付着　ナナメ・ヨコ沈線文を付加
	185	C	3b	19a	褐(7.5YR4/3)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○				外面ススト付着　ナナメ・ヨコ沈線文を付加
	186	B	3b	19a	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○					
	187	B	3b	19a	にぶい橙(5YR7/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○		○		○		内面ススト付着
	188	B	3b	19a	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコナデ	○	○					
	189	C	3b	19a	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			
	190	B	3	19a	にぶい赤褐(2.5YR5/3)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○						外面ススト付着
	191	C	3b	19a	にぶい黄橙(10YR6/4)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○		○			連続弧状短沈線文を付加
24	192	C	3b	19a	橙(2.5YR6/6)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○			○			
	193	C	3	19b	灰褐(5YR5/2)	橙(5YR7/6)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面ススト付着　口径23.6cm
	194	C	3	19b	にぶい赤褐(5YR5/3)	浅黄橙(10YR8/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ貝条後粗いナデ	○	○					内外面ススト付着　口径(20.4)cm
	195	C	3b	19b	橙(5YR6/6)	灰褐(5YR4/2)	ヨコ貝条後一部ナデ	ヨコ貝条	○	○					内外面ススト付着　口径20.2cm
	196	B	3b	19b	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ナデ	○	○					口径13.2cm
	197	B	3b	19b	にぶい赤褐(5YR4/3)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○					外面ススト付着　口径29.6cm
	198	B	3b	19b	黒褐(5YR3/1)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○	○		○		外面ススト付着
	199	B	3b	19b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面ススト付着
	200	C	3b	19b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	粗いヨコナデ	○	○			○		外面ススト付着　口径13.2cm
	201	C	3	19b	橙(5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR7/4)	粗いヨコナデ	粗いヨコナデ	○	○			○		内外面ススト付着
	202	C	3b	19b	にぶい黄褐(10YR4/3)	にぶい黄橙(10YR7/2)	ヨコ貝条後ナデ	ナデ	○	○					外面ススト付着
	203	C	3b	19b	橙(2.5YR6/8)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○			○		外面ススト付着　口径18.4cm
25	204	C	3b	19c	にぶい褐(7.5YR5/4)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後一部ナデ	ヨコ貝条	○	○					外面ススト付着　口径12.0cm
	205	C	3b	19c	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			外面ススト付着
	206	B	3b	20	にぶい橙(7.5YR7/3)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後一部ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○					外面ススト付着
	207	C	3b	20	黒褐(10YR2/2)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ条痕	○		○		○		内外面ススト付着
	208	C	3	20	明赤褐(2.5YR5/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○	○		外面ススト付着
	209	B	3b	20	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○		○			凹線文間に貝殻刺突文
	210	C	3	20	にぶい赤褐(5YR4/3)	にぶい黄褐(10YR5/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○		○				凹線文＋貝殻刺突文　クチバシ状突起あり
	211	B	3b	21	黒褐(10YR3/1)	橙(7.5YR6/6)	ナデ	ケズリ	○	○			○		外面ススト付着
	212	C	3	21	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			内外面ススト付着　波頂部に刻み　口縁部上位は３列の連続短沈線文
	213	B	3b	21	灰褐(5YR4/2)	橙(5YR6/8)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条	○	○					外面ススト付着　波頂部に刻み ナナメ貝殻刺突文→ヨコ連続弧状短沈線文→タテ連続弧状短沈線文
	214	C	3c	21	黒褐(7.5YR3/1)	橙(5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○			
	215	C	3b	21	黒褐(5YR3/1)	橙(5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		外面ススト付着
	216	C	3b	21	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコケズリ	○	○		○	○		
	217	A	3b	22	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○		○	○		外面ススト付着　外面はヨコ貝殻刺突文
	218	C	3	22	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ナデ	マメツにより不明	○	○					外面は擬似縄文　肥厚部下に２叉状工具刺突文

第6表　土器観察表（5）

挿図	No.	地区	層	分類	色調		調整		胎土						備考
					外面	内面	外面	内面	石/長	角/輝	雲母	白礫	赤礫	他	
25	219	18T	3	22	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい橙(7.5YR7/3)	ミガキ状のナデ	ミガキ状のナデ	○	○		○	○		外面は沈線文　波頂部に刺突
26	220	C	3	21	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ナナメ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○			○		
	221	C	3b	22	橙(5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ・ヨコケズリ	丁寧なナデ	○	○			○		外面は沈線文　内面に沈線文あり
	222	C	3	22	褐(7.5YR4/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ナデ	ヨコナデ	○		○				外面スス付着　外面は沈線文
	223	C	3	22	にぶい赤褐(5YR4/3)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条後ナデ	ナナメ貝条後ナデ	○	○					外面は沈線文＋円形刺突文
	224	C	3	22	にぶい赤褐(5YR4/3)	にぶい赤褐(5YR4/3)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○		○				外面スス付着　外面は連続弧状短沈線文
	225	B	3b	22	黒褐(7.5YR3/1)	黒(10YR2/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○			○			内面スス付着　外面は連続弧状短沈線文
	226	C	3b	22	黒褐(5YR3/1)	にぶい橙(2.5YR6/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面は連続弧状短沈線文
	227	C	-	23	橙(5YR7/6)	にぶい橙(5YR7/4)	ナデ	ナデ	○	○		○			内面に白色顔料　「W」字状貼付文
	228	C	3b	23	赤(10R5/8)	褐(10YR4/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコナデ	○			○	○		内外面に赤色顔料　「S」字状貼付文
	229	C	3b	23	にぶい赤褐(5YR5/4)	灰褐(5YR6/2)	粗いヨコナデ	粗いヨコナデ	○	○					外面に白色顔料・内面に赤色顔料　鶏冠状突起あり
	230	-	3b	23	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	粗いヨコナデ	ヨコナデ	○	○					口唇部に煙突状突起あり
	231	C	3b	23	灰褐(5YR5/2)	にぶい橙(5YR7/4)	ナデ	ナデ	○	○		○			粘土紐貼付による立体的装飾
	232	B	3b	23	橙(5YR7/6)	橙(2.5YR6/6)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ貝条後ナデ	○	○		○	○		内外面に赤色顔料　穿孔あり
	233	B	3b	23	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコ貝条	ヨコ貝条	○	○					
	234	C	3b	23	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	貝条後ナデ	貝条後ナデ	○		○	○			内面に白色顔料
	235	C	3b	23	橙(2.5YR6/6)	にぶい赤褐(5YR4/3)	丁寧なナデ	丁寧なナデ	○	○	○				内外面に白色・赤色顔料
	236	18T	3a	23	明赤褐(5YR5/6)	明赤褐(5YR5/6)	ナデ	ナデ	○	○					
	237	C	3b	23	橙(5YR7/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	ユビオサエ後ナデ	○	○					底径15.6cm　外面に赤色顔料
	238	C	3a	23	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ナデ	ユビオサエ・ 粗いヨコナデ	○			○			底径10.8cm　「S」字状(？)沈線文＋「J」字状突帯文
	239	B	3b	23	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ヨコナデ	工具によるヨコナデ	○	○					底径11.4cm　「W」字状貼付文
	240	B	3b	23	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○					外面に白色・赤色顔料　3ヶ所に透かし有　「W」字状貼付文
27	241	C	3b	24a	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○			○	○		外面スス付着　口径19.4cm　縄文(LR？)　環状の突起あり
	242	C	3b	24a	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○		○		○		外面スス付着　縄文(RL)
	243	C	3b	24a	にぶい赤褐(5YR5/3)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○	○			縄文(LR)　凹線内に円形刺突文
	244	B	3	24a	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○	○	○				外面スス付着　縄文(RL)
	245	C	3b	24b	黒(2.5Y2/1)	黒(2.5Y2/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○	○	○			縄文(RL)
	246	B	3b	24b	灰褐(7.5YR4/2)	灰褐(7.5YR4/2)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○		○	○		口径31.0cm　縄文(RL)
	247	C	3	24c	浅黄(2.5Y8/4)	黒褐(2.5Y3/1)	タテミガキ	ヨコミガキ					○		「S」字状貼付文（貼付文上に貝殻擬似縄文？）
	248	B	3b	24c	黒(10YR2/1)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○	○		縄文(RL)を鋸歯状に押圧
	249	C	3b	24c	黒褐(2.5Y3/1)	黒褐(2.5Y3/1)	ナナメミガキ後ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○			○		肥厚部に貝殻擬似縄文
	250	C	3b	24c	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄橙(10YR8/4)	ナデ	ナデ	○	○		○			「W」字状貼付文　橋状把手あり　内面に沈線
	251	C	3b	24c	浅黄(2.5Y7/3)	黄灰(2.5Y5/1)	ナデ	ヨコナデ	○	○			○		口径20.0cm　縄文(RL)　胴部屈曲部下位に沈線を巡らせる
	252	B	3b	24c	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					縄文(RL)
	253	C	3	24c	にぶい黄橙(10YR6/4)	灰黄褐(10YR5/2)	ナデ	ヨコナデ	○		○				3つの穿孔あり　貝殻擬似縄文後ナナメ沈線
	254	C	3b	24c	黄灰(2.5Y4/1)	黄灰(2.5Y4/1)	ヨコナデ	ナデ	○	○		○			4つの穿孔あり　突起の付かない口縁端部外面に縄文(RL)
	255	B	3	24d	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			縄文(RL？)
	256	C	3b	24d	黒(10YR2/1)	黒褐(10YR3/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					内外面スス付着　縄文なし
	257	C	3b	24d	黒褐(10YR3/1)	灰黄褐(10YR4/2)	丁寧なヨコナデ	ヨコミガキ	○	○		○			外面スス付着　縄文なし
	258	C	3b	24d	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ナデ	粗いヨコナデ	○			○			縄文(RL)
	259	C	3	24d	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい黄橙(10YR6/3)	ナデ	丁寧なナデ	○	○	○				内面スス付着　縄文(RL)
28	260	C	3b	24e	黒褐(7.5YR3/2)	にぶい赤褐(5YR5/3)	丁寧なナデ	ヨコミガキ・ 工具によるナナメナデ	○	○		○			外面スス付着　口径27.0cm　縄文(RL) 屈曲部に1条の沈線（沈線内に刺突文）
	261	C	3	24e	黒褐(10YR3/1)	黒褐(10YR3/1)	丁寧なヨコナデ	ヨコミガキ	○			○			縄文(RL)　波頂部に「V」字状の切り込み
	262	C	3	24e	浅黄橙(10YR8/3)	灰黄褐(10YR6/2)	ヨコミガキ	丁寧なヨコナデ	○	○			○		縄文(RL)　波頂部に「V」字状の切り込み
	263	C	3b	24e	黒(10YR2/1)	褐灰(10YR4/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			縄文(RL？)　頸部屈曲部に1条の沈線（沈線内に刺突文） 胴部に対向孤文
	264	-	-	24e	灰褐(7.5YR5/2)	黒褐(10YR3/1)	ナデ	ヨコナデ	○	○					内面スス付着　縄文(RL)
	265	C	3b	24e	にぶい橙(5YR6/4)	黒褐(10YR3/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○		○		○		縄文なし　屈曲部に1条の沈線（沈線内に刺突文）
	266	C	3b	24f	灰黄(2.5Y7/2)	灰黄(2.5Y6/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○			○		縄文なし　屈曲部に1条の刺突列
	267	-	-	24f	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	丁寧なナデ	ヨコ条痕後ナデ	○	○	○				外面スス付着　縄文(RL？)
	268	-	-	24h	灰褐(5YR5/2)	橙(5YR6/6)	ナデ	ヨコナデ	○	○		○			縄文(RL？)
	269	C	3b	24g	にぶい黄橙(10YR7/3)	黄灰(2.5Y4/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面に赤色顔料　縄文(RL)
	270	-	-	24h	黒(2.5Y2/1)	黒(10YR2/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					凹線間・口唇部に縄文(RL)
	271	C	3b	24g	暗赤褐(5YR3/2)	暗赤褐(5YR3/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○	○				外面に赤色顔料　縄文(RL)
	272	C	3b	24i	にぶい黄橙(10YR7/4)	灰黄褐(10YR6/2)	ミガキ	ミガキ	○	○					縄文(LR)
	273	C	3	24i	灰褐(5YR5/2)	灰褐(5YR6/2)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○		○				縄文(Lr)　肥厚部直下に1条の沈線
	274	C	3	24i	橙(5YR6/6)	灰褐(7.5YR5/2)	ヨコナデ	ヨコ貝条後ヨコナデ	○		○				縄文(RL)
	275	19T	3a	24i	にぶい黄橙(10YR6/4)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○				撚糸文？
29	276	B	3b	25a	灰褐(5YR4/2)	灰褐(5YR4/2)	ヨコミガキ・ ナデ後ナナメミガキ	丁寧なヨコナデ	○	○		○			口径21.2cm
	277	B	3b	25a	黒褐(5YR2/1)	灰褐(7.5YR5/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ・ヨコナデ	○	○					外面スス付着　口径24.0cm
	278	C	3b	25a	灰白(10YR8/2)	灰白(10YR8/2)	タテミガキ・ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			外面スス付着　口径29.4cm
	279	B	3b	25a	橙(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR6/4)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着　口径19.6cm
	280	B	3b	25a	にぶい橙(5YR6/4)	灰黄褐(10YR5/2)	ヨコミガキ・タテミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面スス付着　口径13.5cm
	281	B	3b	25a	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	マメツにより不明	ナデ	○	○		○			口径21.4cm
	282	B	3b	25a	黒褐(5YR2/1)	黒褐(5YR2/1)	タテミガキ	ヨコ条痕後ヨコミガキ	○	○					外面スス付着　口径19.6cm　屈曲部に1条の沈線
	283	B	3b	25a	黒褐(7.5YR3/2)	灰黄褐(10YR4/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			外面スス付着
	284	B	3b	25a	暗赤褐(5YR3/2)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコ・タテミガキ	ヨコミガキ・タテナデ	○	○			○		外面スス付着　口径25.2cm　屈曲部に1条の凹線
	285	B	3b	25a	にぶい橙(5YR6/4)	灰褐(5YR5/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○		○				外面スス付着　口径16.6cm　屈曲部に1条の沈線
30	286	B	3b	25a	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(5YR7/6)	ヨコ・ナナメミガキ	ヨコミガキ・タテナデ	○		○	○			(口径31.4cm)　屈曲部に2条の沈線
	287	B	3b	25a	橙(5YR6/6)	灰黄褐(10YR4/2)	ミガキ	ヨコミガキ	○	○					屈曲部に逆「U」字状沈線
	288	C	3b	25b	黒褐(5YR2/1)	黒褐(5YR2/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					口径17.4cm　2条の凹線　胴部に1条の沈線
	289	B	3b	25b	黒褐(5YR2/1)	明赤褐(2.5YR5/6)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○		○			2条の凹線　屈曲部上位に2条の凹線
	290	B	3b	25b	褐灰(10YR5/1)	褐灰(10YR5/1)	マメツにより不明	ミガキ	○	○		○			3条の凹線＋凹点
	291	C	3	25b	浅黄橙(7.5YR8/6)	褐灰(5YR5/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			2条の凹線

第７表　土器観察表（6）

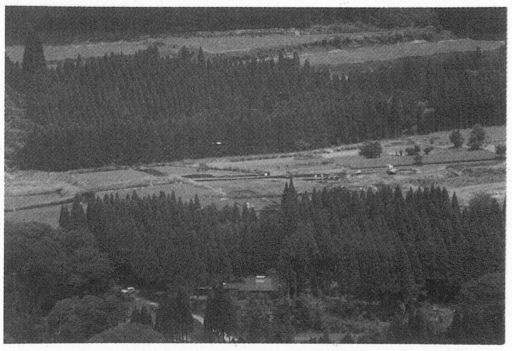
挿図	No.	地区	層	分類	色調 外面	色調 内面	調整 外面	調整 内面	胎土 石/長	胎土 角/輝	胎土 雲母	胎土 白礫	胎土 赤礫	胎土 他	備考
30	292	B	3	25b	黒褐(5YR2/1)	黒褐(5YR2/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					1条の凹線　胴部に1条の凹線
	293	B	3	25b	黒褐(5YR2/1)	黒褐(5YR2/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○	○		2条の凹線＋逆「U」字状凹線＋凹点
	294	B	3b	25b	橙(5YR6/8)	橙(2.5YR6/8)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			2条の凹線＋凹点　粘土貼付による肥厚
	295	B	3	25b	橙(5YR6/6)	にぶい赤褐(5YR5/3)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					2条沈線＋沈線内に凹点
	296	B	3	25b	灰褐(5YR4/2)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					2条の凹線＋凹点
	297	C	3b	25b	にぶい赤褐(2.5YR4/3)	暗赤褐(5YR3/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					2条の凹線
	298	B	3	25b	橙(5YR7/6)	褐灰(5YR5/1)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○		○	○		3条の凹線
	299	C	3	25b	黒褐(7.5YR3/1)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面スス付着　2条の凹線＋凹点　波頂部に凹み
	300	B	3	25b	橙(5YR6/6)	灰褐(5YR6/2)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○		○			2条の凹線＋凹点　口唇部に凹みあり
	301	－	－	25c	にぶい赤褐(5YR5/4)	にぶい赤褐(5YR5/4)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					2条の凹線　屈曲部に2条の凹線
	302	2T	3a	25c	灰褐(7.5YR5/2)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					胴部を粘土貼付により肥厚させる
	303	B	3b	25c	褐灰(5YR4/1)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○	○	○			外面スス付着　2条の凹線　粘土貼付による波状口縁　波頂部に凹みあり
	304	C	3	25c	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					1条の凹線
31	305	C	3b	25c	黒褐(5YR2/1)	橙(5YR6/6)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					1条の凹線
	306	C	3b	25c	黒褐(5YR2/1)	橙(5YR6/6)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着　2条の凹線
	307	B	3b	25c	黒(7.5YR2/1)	褐灰(7.5YR4/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					1条の凹線　口唇部に凹みあり
	308	A	3b	25c	灰褐(7.5YR4/2)	黒褐(7.5YR3/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着　1条の凹線＋凹点　粘土貼付による肥厚
	309	C	3	25c	橙(5YR6/6)	にぶい橙(5YR7/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					2条の凹線
	310	C	3b	25d	にぶい褐(7.5YR5/3)	褐灰(7.5YR4/1)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○		○			外面スス付着　4条の沈線
	311	C	3b	25d	橙(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○			○		2条の沈線
	312	B	3b	25d	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○			○		3条の沈線
	313	C	3b	25d	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着　4条の沈線
	314	B	3b	25e	にぶい褐(7.5YR5/3)	黒(7.5YR2/1)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○					鉤状の沈線
	315	B	3	25e	にぶい赤褐(5YR5/4)	橙(7.5YR6/6)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○					
	316	B	3b	25f	黒褐(5YR2/1)	暗赤褐(5YR3/3)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着　口径19.6cm
	317	A	3b	25f	黒(2.5Y2/1)	浅黄(2.5Y8/4)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					
	318	18T	3a	25g	浅黄橙(10YR8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○		○			屈曲部に1条の凹線（段状）
	319	C	3b	25g	黒褐(5YR2/1)	黒褐(10YR3/1)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					屈曲部に2条の凹線
	320	B	3b	25g	黒褐(5YR2/1)	黒褐(5YR2/1)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○					屈曲部に2条の凹線
	321	C	3b	25g	にぶい赤褐(5YR5/4)	褐灰(5YR5/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面スス付着　ヨコ2条沈線後ナナメ沈線、その下位に「U」字状沈線
32	322	B	3	25g	橙(5YR7/6)	黄橙(10YR8/6)	ナデ	マメツにより不明	○	○		○			屈曲部にヨコ沈線＋タテ刺突列
	323	B	3	25g	灰褐(5YR4/2)	黒褐(10YR3/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○						下段の凹線上に凹点
	324	B	3	25g	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○						外面スス付着　凹点列＋4条の沈線
	325	C	3b	25g	黒褐(5YR2/1)	黒褐(10YR3/2)	ナナメミガキ	ヨコミガキ	○	○					凹線＋逆「U」字状凹線
	326	B	3b	25g	灰褐(5YR4/2)	にぶい褐(7.5YR5/3)	ヨコミガキ	マメツにより不明	○	○		○			外面スス付着　2条の凹線＋凹線間に凹点
	327	C	3b	25h	浅黄橙(10YR8/4)	灰黄褐(10YR5/2)	タテ・ナナメミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			外面スス付着　口径25.6cm
	328	B	3b	25h	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい褐(7.5YR5/3)	タテミガキ後ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○	○				外面スス付着
	329	C	3b	26	灰黄褐(10YR4/2)	黒褐(10YR3/1)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○			○		外面スス付着　3条の沈線
	330	B	3b	26	黒褐(5YR2/1)	橙(5YR7/6)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○		○				外面スス付着　数条の沈線
	331	C	3	26	にぶい赤褐(5YR5/4)	褐灰(5YR4/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					外面スス付着　3条の凹線
	332	B	3b	26	黒褐(5YR3/1)	黒褐(5YR2/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ・ヨコナデ	○	○		○			3条の凹線
	333	18T	3a	26	褐(7.5YR4/3)	灰黄褐(10YR4/2)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○				2条の凹線
	334	C	3b	26	橙(2.5YR6/8)	橙(5YR6/6)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					口径13.0cm　3条の凹線
	335	B	3b	26	灰褐(5YR4/2)	灰褐(5YR4/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○					4条の凹線
	336	C	3b	26	黒褐(2.5Y3/1)	暗灰黄(2.5Y4/2)	ヨコミガキ	ヨコナデ	○	○		○			外面スス付着　口径27.6cm　3条の凹線
33	337	C	3	27a	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR7/4)	胴：ナナメ条痕 底：ナデ	胴：ヨコナデ 底：ナデ	○	○	○				内面スス付着　底径8.6cm
	338	C	3b	27a	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	胴：ナデ　底：ナデ	胴：ナデ　底：ナデ	○			○			底径11.0cm
	339	C	3b	27a	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(5YR6/6)	胴：ナデ 底：外周のみナデ	胴：ヨコナデ 底：ナデ	○	○		○			底径8.1cm
	340	C	3b	27a	橙(5YR7/6)	橙(7.5YR7/6)	胴：ナナメ貝条後ナデ 底：外周のみナデ	胴：ヨコ条痕 底：ユビオサエ後ナデ	○	○		○	○		底径9.8cm
	341	B	3b	27a	橙(5YR7/6)	にぶい橙(7.5YR7/4)	胴：タテ貝条 底：外周のみナデ	胴：ナデ 底：外周のみナデ	○	○					底径10.3cm
	342	C	3b	27a	橙(5YR6/6)	橙(5YR7/6)	胴：ナデ 底：外周のみナデ	胴：ナデ 底：ナデ	○	○			○		底径9.9cm
	343	C	3	27b	橙(5YR6/6)	にぶい橙(2.5YR6/4)	胴：ヨコナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条 底：貝条	○	○		○			底径12.0cm　網代
	344	B	3b	27b	橙(5YR7/6)	橙(5YR7/6)	胴：丁寧なヨコナデ 底：網代	胴：ヨコナデ 底：ナデ	○		○				外面スス付着　底径11.0cm 網代
	345	C	3	27b	にぶい褐(7.5YR6/3)	にぶい橙(5YR6/4)	胴：ナナメ貝条後ナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：ナデ	○		○				底径13.8cm 上げ底気味のため、中央部は網代痕が不明瞭
	346	19T	3a	27b	浅黄橙(10YR8/4)	にぶい黄橙(10YR7/2)	胴：ヨコ貝条後ナデ	胴：ヨコナデ　底：ナデ	○	○			○		外面スス付着　底径11.0cm　網代痕の上から粘土を塗り重ねる
	347	B	3b	27b	にぶい橙(7.5YR7/4)	橙(5YR7/6)	胴：ナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：貝条	○	○					底径9.4cm　網代
	348	B	3b	27b	にぶい橙(7.5YR6/4)	橙(5YR7/6)	胴：ナナメ貝条 底：網代	胴：ナデ　底：ナデ	○	○					外面スス付着　底径10.8cm　もじり編み
	349	2T	3a	27b	浅黄橙(10YR8/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	胴：ナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：ナデ	○	○					外面スス付着　底径8.6cm 網代
	350	B	3b	27b	にぶい黄橙(10YR7/4)	橙(7.5YR7/6)	胴：ヨコナデ　底：網代	胴：ヨコナデ　底：ナデ	○	○	○				底径9.6cm　もじり編み
	351	C	3b	27b	橙(7.5YR7/6)	にぶい黄橙(10YR7/4)	胴：タテナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：ナデ	○	○					底径12.2cm　もじり編み
	352	C	3b	27b	にぶい褐(7.5YR5/4)	明赤褐(2.5YR5/6)	胴：ヨコナデ 底：網代	胴：ヨコ貝条 底：貝条	○	○					底径11.2cm　もじり編み
34	353	C	3	27b	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	胴：ヨコナデ 底：外周一部ナデ	胴：ナデ 底：ナデ	○	○					底径11.0cm　もじり編み
	354	C	3b	27b	橙(5YR7/6)	にぶい橙(7.5YR7/3)	胴：ヨコナデ 底：網代後ナデ	胴：ナデ 底：ナデ	○	○					底径9.7cm　周縁部は圧痕（もじり編み）ナデ消し
	355	C	3b	27b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	胴：ヨコナデ 底：網代後ナデ	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：貝条後ナデ	○	○					底径9.7cm 中央部は圧痕ナデ消し
	356	B	3	27b	にぶい黄褐(10YR5/3)	にぶい黄橙(10YR6/4)	胴：ヨコナデ 底：網代後ナデ	胴：ナデ 底：ナデ	○		○				底径6.5cm 圧痕（もじり編み？）ナデ消し

第８表　土器観察表（7）

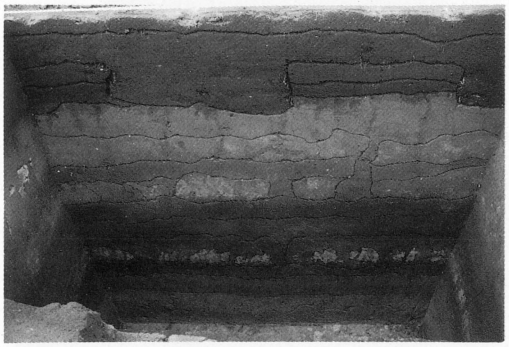
挿図	No.	地区	層	分類	色調		調整		胎土						備考
					外面	内面	外面	内面	石/長	角/輝	雲母	白礫	赤礫	他	
34	357	C	3b	27b	明赤褐(5YR5/6)	橙(5YR6/6)	ナデ	ナデ	○	○	○				木の葉（オオタニワタリ？）
	358	B	3b	27b	橙(5YR6/6)	褐灰(10YR4/1)	胴：ナナメ条痕 底：ナデ	底：条痕	○	○			○		底径9.0cm　木の葉
	359	C	3b	27b	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR7/6)	胴：タテ条痕 底：条痕	胴：ヨコナデ　底：ナデ	○	○					底径9.4cm　貝殻条痕
	360	C	3b	27c	にぶい橙(7.5YR7/4)	にぶい黄橙(10YR6/3)	胴：ナデ　底：ナデ	胴：ナデ　底：ナデ	○	○	○	○	○		底径9.0cm
	361	C	3b	27c	にぶい橙(5YR6/4)	橙(5YR6/6)	胴：タテ条痕 底：条痕	胴：ヨコ貝条後ナデ 底：ナデ	○		○				底径9.0cm
	362	2T	3	27c	にぶい褐(7.5YR5/3)	橙(5YR7/6)	胴：ナデ　底：ナデ	胴：丁寧なナデ 底：ナデ	○		○	○			底径9.0cm
	363	C	3b	27c	にぶい橙(5YR6/4)	にぶい橙(5YR7/4)	胴：ヨコナデ 底：ナデ	胴：ナデ　底：ナデ	○		○				底径5.4cm
	364	B	3b	27c	橙(5YR6/6)	橙(5YR6/6)	ユビオサエ	胴：ユビオサエ 脚：ナデ	○			○	○		底径5.9cm
	365	C	3	27c	橙(5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ナデ	ナデ	○	○					
	366	C	3b	27d	にぶい褐(7.5YR5/3)	褐灰(7.5YR4/1)	ヨコナデ	ナデ	○	○	○				内面スス付着
	367	B	3b	27d	にぶい橙(7.5YR6/4)	橙(5YR6/6)	ナデ	ナデ（工具痕残る）	○	○	○				接合部に刻みあり
	368	B	3b	27e	浅黄橙(10YR8/4)	灰白(2.5Y8/2)	胴：タテミガキ 底：ナデ	ナデ	○	○		○			底径5.8cm
	369	B	3b	27e	橙(7.5YR6/6)	暗灰黄(2.5Y4/2)	胴：ヨコナデ 底：丁寧なナデ	ナデ	○	○			○		底径5.8cm
	370	C	3	27e	橙(5YR6/6)	にぶい黄橙(10YR6/3)	胴：ミガキ 底：ミガキ	ナデ	○	○		○			底径6.0cm
	371	B	3b	27e	橙(5YR6/6)	褐灰(10YR4/1)	胴：タテミガキ 底：ミガキ	ナデ	○	○		○	○		底径5.8cm
	372	B	3b	27e	橙(7.5YR7/6)	黒褐(2.5Y3/1)	胴：タテケズリ 底：ナデ	ナデ	○	○		○			底径5.2cm
	373	B	3b	27e	浅黄(2.5Y8/4)	黄(2.5Y8/6)	胴：ナデ 底：マメツにより不明	ナデ	○	○		○	○		底径3.4cm
35	374	B	3b	27e	にぶい黄橙(10YR6/3)	にぶい黄橙(10YR6/3)	胴：タテミガキ 底：ナデ	マメツにより不明	○	○		○			底径5.0cm
	375	C	3b	27e	にぶい橙(7.5YR6/4)	にぶい褐(7.5YR6/3)	胴：タテミガキ 底：ナデ	工具によるヨコナデ	○	○			○		底径2.4cm
	376	C	3b	27e	にぶい橙(7.5YR7/4)	褐灰(10YR4/1)	タテナデ	ナデ	○	○		○	○		
	377	B	3b	27f	浅黄橙(7.5YR8/4)	褐灰(7.5YR5/1)	胴：タテミガキ 底：ミガキ	ミガキ	○	○		○			底径4.6cm
	378	B	3b	27f	にぶい黄橙(10YR7/3)	灰黄褐(10YR5/2)	胴：ミガキ　底：ナデ	ヨコミガキ	○	○					底径4.2cm
	379	C	3b	27f	浅黄(2.5Y8/3)	浅黄(2.5Y8/3)	胴：丁寧なナデ 底：ナデ	マメツにより不明	○			○			底径12.5cm
	380	C	3b	27f	橙(7.5YR6/6)	黒褐(2.5Y3/1)	胴：ミガキ 底：ミガキ	胴：ミガキ 底：ミガキ	○		○				底径11.0cm
	381	B	3b	27f	にぶい黄橙(10YR6/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	胴：ミガキ 底：ミガキ	ミガキ	○	○		○			底径4.0cm
36	382	3T	3	28a	橙(7.5YR7/6)	にぶい褐(7.5YR5/4)	ミガキ	ミガキ	○	○					外面に３条沈線
	383	B	3b	28a	にぶい橙(7.5YR7/4)	褐灰(10YR4/1)	ヨコナデ	ヨコミガキ	○	○					外面スス付着
	384	A	3b	28a	黒褐(10YR3/1)	にぶい橙(7.5YR6/4)	ヨコ条痕	ヨコ条痕	○	○			○		
	385	A	3	28a	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ条痕	ヨコ条痕	○	○					粘土組貼付による肥厚
	386	A	3b	28a	にぶい黄橙(10YR7/4)	浅黄(2.5Y8/4)	ヨコナデ	ヨコ条痕	○	○					外面スス付着　口縁端部とその下位に粘土組貼付
	387	C	3	28a	浅黄橙(10YR8/4)	にぶい橙(7.5YR7/4)	ヨコ貝条後ナデ	ヨコ条痕後ナデ	○	○			○		
	388	A	3b	28a	にぶい褐(7.5YR5/3)	にぶい橙(5YR6/4)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○	○				外面スス付着　粘土組貼付後１条沈線
	389	-	-	28a	浅黄(2.5Y8/4)	灰黄(2.5Y6/2)	胴：ヨコナデ 底：ナデ	ナデ	○	○			○		底径9.2cm
	390	A	3b	28a	橙(7.5YR6/6)	灰黄(2.5Y6/2)	胴：ヨコナデ 底：ナデ	ミガキ	○			○	○		底径9.0cm
	391	A	3b	28b	暗灰黄(2.5Y5/2)	暗灰黄(2.5Y5/2)	ヨコ条痕・組織痕	ヨコ条痕後ナデ	○	○		○			外面スス付着　網目
	392	A	3b	28b	灰黄褐(10YR4/2)	浅黄橙(10YR8/4)	ナデ・組織痕	ミガキ	○	○			○		外面スス付着　網目？
	393	A	3b	28b	にぶい黄橙(10YR7/4)	浅黄(2.5Y7/3)	ヨコナデ・組織痕	ナデ	○	○		○	○		内外面スス付着　網目
	394	A	3b	28b	にぶい褐(7.5YR5/4)	橙(7.5YR6/6)	ヨコ条痕・組織痕	ヨコ条痕後ナナメナデ	○			○	○		外面スス付着　編布
	395	A	3b	28b	浅黄(2.5Y8/4)	浅黄(2.5Y8/4)	組織痕	ナデ	○	○			○		編布
	396	5T	3	28b	にぶい黄橙(10YR7/3)	にぶい黄橙(10YR7/3)	組織痕	ナデ	○	○		○			網目
	397	C	3	28c	浅黄橙(10YR8/4)	浅黄橙(10YR8/4)	マメツにより不明	丁寧なナデ	○	○					
	398	-	-	28c	黒褐(7.5YR3/2)	黒褐(7.5YR3/2)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○		○			口径32.0cm
	399	B	3b	28c	にぶい黄褐(10YR5/3)	黒褐(10YR3/1)	ヨコミガキ	ヨコミガキ	○	○	○				
	400	C	3	28c	黒(10YR2/1)	にぶい褐(7.5YR5/4)	ミガキ	ヨコミガキ	○	○					「ノ」字状の突帯　焼成前穿孔あり
	401	C	3	28c	にぶい黄橙(10YR7/4)	褐灰(10YR4/1)	丁寧なナデ	マメツにより不明	○	○		○			
	402	C	3	29	にぶい赤褐(5YR4/4)	明赤褐(5YR5/6)	ヨコ条痕	粗いヨコナデ	○	○		○			外面スス付着　先端が不規則に割れた工具による刻み
	403	B	3	29	黄橙(10YR8/6)	橙(7.5YR7/6)	ヨコ条痕後ナデ	ナデ	○	○			○		外面スス付着　指頭による刻み　口縁端部外面折り返し
	404	C	3b	29	黒褐(10YR3/1)	にぶい黄褐(10YR5/4)	粗いヨコナデ	ヨコ条痕後ナデ	○	○		○	○		外面スス付着　ヘラ状工具による刻み
37	405	C	3b	29	浅黄橙(10YR8/4)	にぶい黄橙(10YR7/3)	ヨコナデ	丁寧なヨコナデ	○	○		○			外面スス付着　ヘラ状工具による刻み　口縁端部内面に刻み
	406	-	-	30	灰黄褐(10YR4/2)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ヨコ・ナナメ貝条	ヨコ貝条	○	○					沈線後貝殻刺突文
	407	C	3	30	にぶい褐(7.5YR5/4)	橙(7.5YR7/6)	ヨコナデ	ヨコナデ	○	○					外面スス付着
	408	12T	3	30	橙(7.5YR6/6)	にぶい橙(7.5YR6/4)	マメツにより不明	マメツにより不明	○	○					貝殻腹縁(？)による曲線状文様
	409	C	3b	30	にぶい黄橙(10YR7/4)	にぶい黄橙(10YR7/4)	ナデ	ヨコナデ	○	○					粘土組貼付後円形刺突文、胴部は格子状沈線

（凡例）　石/長：石英・長石類　　角/輝：角閃石・輝石類　　雲母：金雲母　　白礫：白色の礫　　赤礫：赤色の礫

① 遺跡遠景（北より）



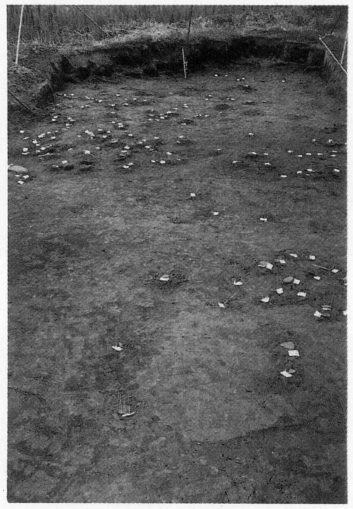
② 遺跡遠景（北より）



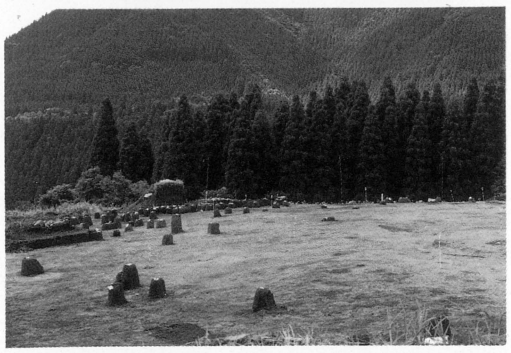
③ 土層断面図（12トレンチ 北壁）

④ 土層断面図（16トレンチ 西壁）

⑤ A地区調査風景（北東より）



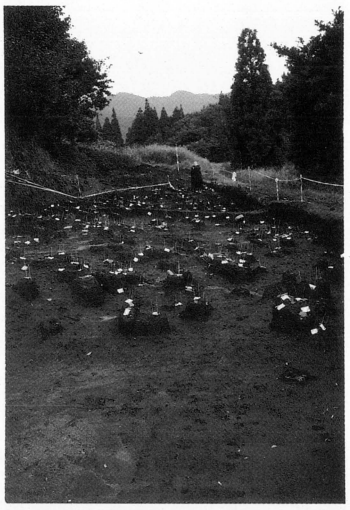
⑦ B地区遺物出土状況（北より）



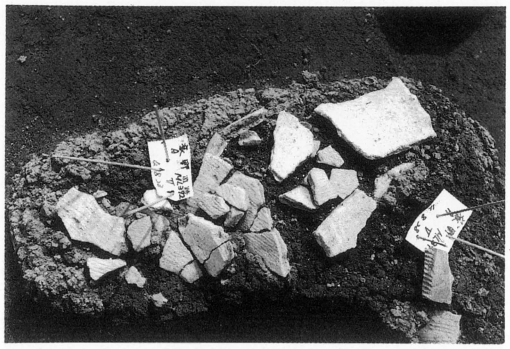
⑥ A地区遺物出土状況（南西より）

図版2

① C地区調査風景（東より）

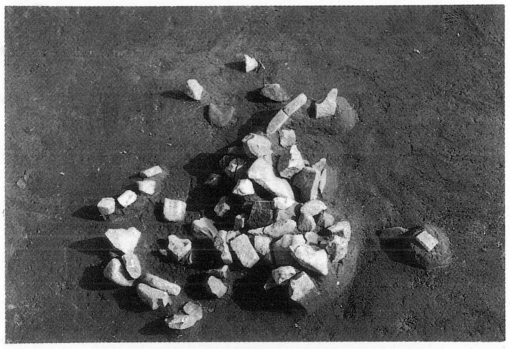


② C地区Ⅲ層遺物出土状況（西より）

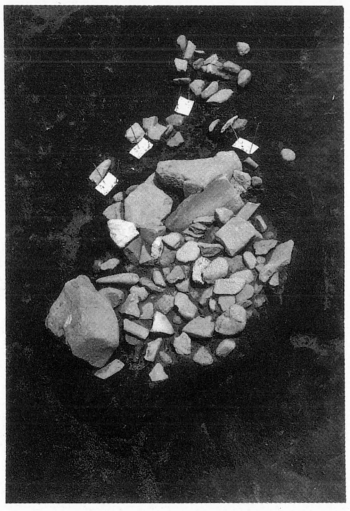


③ 前平式土器出土状況

④ 阿高式系土器（No.73と82）出土状況



⑤ 1号集石遺構検出状況



⑦ 4号集石遺構検出状況（北より）

⑥ 6～8号集石遺構検出状況（西より）

あとがき

“目映い日差し”の中での緊急全面発掘調査は、予想通り期間に追われるものとなった。調査を進めると、その膨大な遺物量に驚かされる毎日であった。すぐに遺物取上げをしないと、作業員さんが発掘できなくなるため、次から次へと測量を実施しないと調査が進まない……。工事は差し迫ってくる……。次の現場は待っている……。

結果、町内有数の資料を提供する遺跡の調査は、慌しく終了しなければならなかった。これほど、期間と測量に追われた現場があっただろうか……。

そして、整理作業も膨大な遺物量と限られた期間に追われることになった。報告書ではなるべく多くの資料を掲載することに努めたが、満足できる内容には至らなかった。そのため、多種多様な遺物をもつ家野遺跡の特徴を、報告書として十分に復元できたとは思えない。今後、報告書の不十分な内容については、機会あるごとに少しずつでも補っていきたい。

最後になりましたが、炎天下の中での発掘作業を、要領の悪い調査員とともに、一生懸命こなしていただいた作業員の皆様に、心より感謝申し上げます。また、発掘調査及び報告書作成にあたり、ご指導・ご協力いただいた方々にも心より感謝を申し上げます。

志布志町埋蔵文化財発掘調査報告書(24)

家　野　遺　跡

発行日　1994年3月
発　行　志布志町教育委員会(鹿児島県曽於郡志布志町志布志2542番地)
印刷所　志布志印刷有限会社(鹿児島県曽於郡志布志町安楽1966－2)